

第七十六回帝國議會
衆議院

借地法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第四回

付託議案
借地法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第八三號)
借地法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第八四號)
借地法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第八七號)

會議

昭和十六年二月二十四日(月曜日)午前十時
十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長代理 理事江原 三郎君

理事山本 条吉君

青木 作雄君

牧野 良三君

野口 喜一君

牧野 賤男君

佐竹 晴記君

菊地養之輔君

仲井間宗一君

福田關次郎君

松永 東君

同日二十四日委員菊地養之輔君辭任ニ付其ノ補闕トシテ佐竹晴記君ヲ議長ニ於テ選定セリ

二月二十日刑法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

司法次官

司法省民事局長

內務省地方局長

內務省計畫局長

司法省調查部長

司法書記官

司法書記官

大竹武七郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

借地法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

借地法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

借地法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

借地法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

借地法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

刑法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○江原委員長代理 是ヨリ會議ヲ開キマス、借地法中改正法律案ノ質疑ニ併セテ、刑法中改正法律案ノ質疑ヲモ許シマス——牧野君

○牧野(良)委員 刑法中改正法律案ニ付キマシテ御質疑ヲ致シマス、先ヅ第一ニ九十六條ノ三ヲ新クニ御加ヘニナリマシタ立法ノ趣旨ヲ御説明願ヒマス

○大竹政府委員 今回ノ改正案ハ刑法改正調査委員會ニ於テ作ラレマシタ所ノ改正刑法假案ノ内カラ、現在ノ情勢ニ鑑ミマシテ最モ必要ナル部分ノミヲ抽出シマシテ、一部改正ノ形ヲ以テ本案ヲ提出シタ次第デアリマス、只今御尋ネノ第九十六條ノ三ハ、改正刑法假案ノ中デハ「第三十九條信用、業務及競賣ニ關スル罪」ノ中、第四百十六條ニ掲ゲラレテ居ルモノデアリマス、此ノ犯罪ハ業務ノ妨害ト云フ趣旨ト、公ノ入札ノ場合ニ於キマシテハ公務ノ執行ノ適正ヲ害スルト云フ二ツノ趣旨ト併セテ有シテ居ル假案ニナツテ居ルと思フノデアリマス、其ノ中カラ現在最モ弊害アリト考ヘラレマス所ノ公ノ競賣又ハ入札ニ關スル分ノミヲ分離シマシテ、第九十六條ノ三ト云フモノヲ設ケ、隨テ條文ノ位置モ「第五章公務ノ執行ヲ妨害スル罪」ノ中ニ入レタ次第デアリマシテ、要スルニ公ノ競賣又ハ入札ノ公正ヲ害スル罪ト云フ本質ト見マシテ規定致シタ次第デゴザイマス

○牧野(良)委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ、最モ弊害アリト考ヘラレル公ノ競賣又ハ入札ニ關シテ公正ヲ維持スル爲ニ、本條ヲ規定シタト云フ御答辯デゴザイマシテ、其ノ點ハ洵ニ能ク分リマシタ、サウ致シマス、現在最モ弊害アリト考ヘラレル點ハドウ云フ所ニゴザイマス、ソレヲ承リタイノデアリマス

○大竹政府委員 競賣ニ關シマシテハ、偽計又ハ威力ヲ用ヒ又ハ談合ニ依リマシテ、不當ニ安イ申出ヲスルト云フコトニ依リマシテ、其ノ競賣ノ公正ヲ害スルト云フコトヲ考ヘラレマス、入札ノ公正ハ偽計、威力ヲ用ヒ、又ハ談合ニ依リマシテ實際ノ適正ナ價格ヨリ以上ノ額ヲ以テ入札ラシ、其ノ結果トシテ非常ニ高イモノトナリマシテ、豫算ガ濫費セラレルト云フヤウナ弊害ガアルト考ヘテ居リマス

○牧野(良)委員 只今ノ御話デ大體意圖サレテ居ル所ハ分リマス、サウシマス、本條ハ適正價格ヲ標準トセラレルモノデアルト云フコトニ解シテ宜シウゴザイマス、カ

○大竹政府委員 其ノ適正價格ト云フ御言葉ノ趣旨ガ、實ハ私共ガ考ヘテ居ルモノト一致シテ居ルカドウカ分リマセヌガ、入札ノ行ハレマスノハ各入札者ヲシテ自由ニ競争ニ依ツテ入札セシメル、其ノ最低ノ入札ヲ致シタモノニ落札スルト云フコトガ、現在ノ制度ノ根本ヲ成シテ居ルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○牧野(良)委員 實ハ私ノ本日御質問致シタイト思ヒマス、本條ニ於キマシテ公正ヲ害スル行爲トアリマス、是ハ私ハ大變宜イ規定ノ方法ト存ジマス、就キマシテハ此ノ點ヲ明カニ致シマシテ、業界ノ實際及ビ一般國民ガ此ノ法律ニ依ツテドウ云フコトヲ保護サイルノカト云フ、其ノ内容ヲ明カニシタイト云フコトノ外ニハ、少シモ他意ガゴザイマセヌ、其ノ點豫メ申上ゲテ置キマス、ソコデ只今適正價格ト云フコトヲ申シマシタガ、適正價格ト云フモノハ、二三年前マデハ大變不明瞭ナモノノヤウニナツテ居リマシタガ、昨今以來統制經濟ニナリマシテカラ、適正價格ト云フコトハ大變明瞭ナ觀念ニナツタヤウニ存ジマス、今御答辯ノ中ニモ適正價格ト云フ御言葉ガアツタ爲ニ、其ノ御言葉カラ、取敢ズソレヲ私ガ用ヒテ、内容ヲ明カニシタイト思ツタノデアリマス、御承知ノ通り現行法ニハ本條ニ該當スル規定ガナイノデアリマス、舊刑法ニハ該當スル條文ガアツタノデアリマス、ソレニハ談合ト云フ文字ハ用ヒラレテ居リマセヌ、所ガ本條ニ至ツテ談合ト云フ文字ガ用ヒラレテ居ル、ソコデ「偽計若クハ威力ヲ用ヒ又ハ談合ニ依リ」トアルノデアリマシテ、偽計若クハ威力ト云フノハ、行爲ノ違法性ヲ表ハシテ居ルノダト思ヒマス、ソコデ談合ニ依リト云フノハ偽計若クハ威力ト同列ニアルノデハナクテ、是ハ文理解釋上カラモ、全然別ニ立ベテアルノデハナイカト思ヒマス、ソコデ談

合ト云フモノヲドウ云フ風ニ御解釋ニナリマスカ、只今御答辯デ現在最モ弊害アリト考ヘラレル公ノ競賣、又ハ入札ト言ハレマシタガ、是ハ何ガ弊害ガアルカト申シマス、私ハ競争入札ト云フ制度ガ弊害ガアルノダト存ジマス、此ノ點ヲ頭ニ置イテ、私ノ質問ヲ御理解ヲ請ヒタイト思ヒマス、競争入札制度ト云フノガ現在ノヤウナ状態ニ行ハナケレバ、談合ト云フモノモ行ハレナイノデアリマス、又同時ニ談合ガ問題ニナルト云フコトモナイト存ジマス、其ノ點ニ付テ御答辯ヲ請ヒタイノデアリマス

○大竹政府委員 會計規則ニ依リマス所ノ競争入札制度其ノモノノ適否トカ、是デ宜イノカドウカト云フヤウナ點ニ關シマシテハ、ドウモ實ハ私ガ意見ヲ申上ゲルト云フコトモ如何カト思ヒマスガ、此ノ刑法ノ案ト致シマシテハ、ソレヲ前提トシテ居ルコトハ、是ハ申上ゲルマデモナイト思ヒマス、其ノ前提ニ立ツテ立案サレテ居リマス爲ニ、此ノ條文ノ書き方モ偽計、威力、談合ト云フコトヲ「若クハ」又ハ「デ」結ビマシテ、同ジク違法性アルモノト云フ立案ノナツテ居ル次第デゴザイマス

○牧野(良)委員 サウシマスルト談合自身ガ違法ナノデアリマセウカ、談合ト云フ行爲ハドウ云フ風ニ御解釋ニナツテ居ルノデアリマス、ソレヲ承リタイ

○大竹政府委員 談合ト云フ手段自體ヲ違法ナモノト云フ立案ノ趣旨デゴザイマス

○牧野(良)委員 一寸其ノ御答辯ニハ困ツタノデアリマス、談合自體ガ違法デアリマスルト、談合ハ如何ナル場合ニモ違法ナノデアリマスルカ、談合自身ニハ許サルベキ談合ト、許サルベカラザル談合トアルモノ

ト思ヒマス、談合ト云フ言葉ニ拘泥スルノデハナイ、此處デ談合ト云フノハ許サルベカラザルモノヲ談合ト謂ヒ、私ノ質問スル言葉デ言ヒマスル正シイ談合ト云フノハ、協定行爲ト仰セラレルノカモ知レマセヌ、サウシマスレバ、廣イ意味ノ協定行爲ノ中ニハ、狹義ノ協定行爲ト談合ト二ツアル、斯ウ云フ風ニ御解釋ニナルノデスカ、其ノ點ニ關スル明瞭ナ御意見ヲ承リタイ

○大竹政府委員 只今御尋ネノ點ニ關シマシテハ、曩ニ牧野委員ノ御著ハシニナリマシタ所謂談合ニ關スル研究資料ト云フモノモ、實ハ篤ト拜見致シマシテ、御意見ノアル所ハ諒承致シテ居ル積リデゴザイマスケレドモ、此ノ第九十六條ノ三ハ先程申上ゲマシタヤウニ、改正刑法假案ノ中カラ引抜イタモノデアリマスガ、此ノ假案ガ作ラレル場合ニ於キマシテモ、談合ト云フコトニ依ル、即チソレヲ手段トスル場合ハ、ヤハリ違法性アルモノト云フ建前デ立案サレタモノト承知致シテ居リマス、此ノ第九十六條ノ三モ亦其ノ趣旨デゴザイマス

○牧野(良)委員 少シク問題ガ難カシクナツテ參リマシタノデ、觀點ヲ變ヘテ御伺ヒスルコトニ致シマス、現在競争入札制度ト云フモノガドウ云フ風ニ行ハレテ居ルカト云フ實情ハ、御承知ダラウト存ジマス、競争入札ニ關スル各種ノ規則ハ、必ズシモサウ缺陷ハナイノデアリマス、自治體ノ規則ニ不行届ナモノガゴザイマスガ、一般官廳ノ制定サレテ居ル規則ノ中ニハ、餘リ失當ナモノハナイト思ヒマス、皆相當ナ用意ハシテアルノデアリマス、ニモ拘リマセズ官廳ガ——主トシテ官廳ガ競争入札制度ト云フモノヲ濫用シテ居ルノデアリマ

ス、司法省モ濫用サレテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ私ハ篤ト御理解ヲ請ヒタイト思ヒマス、ト云フノハ、幾多ノ事例ガ地方ニ、司法省關係ノ土木建築ニアルノデアリマス、此ノ談合ト云フモノガ發生致シマスルノハ、競争入札制度ノ濫用カラ發生致シテ來タノデアリマシテ、競争入札制度ガ正シイ價額ヲ目標トシマセヌデ、常ニ唯最低價額ノ申出者ニ仕事ヲ與ヘルト云フ制度トセラレタ爲ニ、業界ノ人々ヲ殆ド鬭争的ニ相競ハシメテ、サウシテ其ノ結果トシテ請負業者ト云フモノガ向上ヲ抑止サレ、統制ヲ紊サレ、遂ニ業界内部ノ空氣ヲ頗ル低劣ナモノニ導イテ、其ノ損害ヲ蒙ルモノハ國家ト國民デアリマス、ソレニ對抗スル爲ニ談合ト云フモノガ出來マシテ——

出來マシタ此ノ理論的ナ根據ハ立派デアリマスガ、實際談合ト云フモノハ又弊害ガアリマス、デアリマスカラ茲ニ正シイ談合ト正シクナイ談合トガ出タト云フ言葉ヲ用ヒマスノハ、ソコデアリマス、顯著ナ事例ハ關西ノ風水害、アノ際ニ統計的ニ現ハレマシタ、最低價額ヲ落札サレタル土木建築工事ハ、原則トシテ全部非常ナ損害デアリマス、サウシテ競争入札制度ニ依ラズシテ施設サレマシタル土木建築工事ハ、其ノ害ガナカツタノデゴザイマス、サウシテ現ニ東京ニ於テハ東京區裁判所ノ工事竝ニ明治神宮ノ參道ノ工事スラガ、競争入札デ最低價額ヲ入札サレタモノハ皆イケナイノデアリマス、ソレハ何故カト言ヒマス、最低價額ヲ落札シナケレバナナイモノト云フ風ニ認メラレテ居リマスガ、競争入札ト云フモノハ、最低價額ニ落札サセルモノデナイト云フコトハ、競争入札ヲ行ヒマス場合ニ

ハ、官廳デ——技術部ニ於テ適正價額ニ對シテ豫定價額ト云フモノヲ作成スルコトニ法規上ナツテ居リマス、豫定價額ガアルニ拘リマセズ、豫定價額ヨリ著シク低イ額ノ入札ガ出マスルト、ソレニ落札サレルコトニナツテ居リマス、ソコデ仕事ヲ欲シイト思ヒマスル業者ハ、否ガ應デモ算盤ニ乗ラナイ最低價額ヲ申出ナケレバナラナイコトニナルノデアリマス、甚ダシイノハ鐵道省デゴザイマス、鐵道省ニ出入リニナルニハ、工事ヲ請ケナケレバナリマセヌ、工事ハ唯入札ノ資格ダケケデハイケマセヌ、其ノ上ニ落札シナケレバナリマセヌ、ソレデ法規ガ官廳ニ命ジテ居リマス豫定價額ノ、半額ノ價額ヲ入札シテ落札シタト云フ事例ガ現ニゴザイマス、ソレデハ工事ガ旨ク出來ル筈ハナイノデゴザイマス、ソコデ苦シミニ堪ヘテ其ノ工事ヲ濟マシテ、仍テ得タル損害ヲ將來ノ工事ニ依ツテ取返ヘサウトスルノデアリマス、ソレガ競争入札制度ノ實際ニ行ハレテ居ル現狀デゴザイマス、ソレデ其ノ爲ニ、初メ出入リニナル爲ニハ、大キナ損害ヲ覺悟デヤツテ行ツテ、一タビ出入リニナツテカラ、徐々トシテ回復シナケレバナラヌト云フ態度ヲ執ルノデアリマシテ、是ハドウモ官廳ガ惡イノデアリマシテ、本法ノ趣旨ガ、現在最モ弊害アリト考ヘラレル公ノ競賣又ハ入札ノ公正ヲ維持スル爲デアルトスルナラバ、談合ノ壓迫ハ目的ヲ達スル所以デナイ、競争入札制度ヲ本質通リニ行ハシメルヤウニシナケレバイカスト思ヒマス、ソコデ現狀ハ斯様デアアル、此ノ條文目的ヲ達シヨウトスルニハ少シク途ガ違フ、ソコデ談合ト云フモノヲ私ガ解スルヤウニ御取扱ヒニナリマスレバ、此ノ目

的ハ必ズ達スル、其ノ意味ニ於テ此ノ條文ハ用意周到ナ條文ダト思ヒマスノデ、本條ノ目的ハ公正ヲ害スベキ行為ヲ取締ルノミデアツテ、談合ヲ取締ルノデハナイノダト云フコトニナルノデハナイカト思ヒマスカラ、此ノ點ニ對スル當局ノ御意見ヲ承リタイ

○三宅政府委員 官廳ガ最低價額ヲ入札シヨウトスルコトバカリニ熱中スル餘リニ、其ノ工事ナリ或ハ工事シマシタモノナリノ品質等ニ付テ、後日ニ於テ非常ニ官廳自身ガ迷惑シテ居ルト云フ例ハ、洵ニ御言葉ノ通りデアリマシテ、現ニ司法省モ痛切ニソレヲ感じテ居ルモノデアリマス、デアリマスカラ將來唯安ケレバ宜イト云フコトハ、決シテ眞ニ官廳ノ事務ヲ執ル上ニ於テ、適切ダトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、唯問題ト致シマシテハ、入札ト云フ限リニ於テハ、大體ニ於テ先ツ成ベク安ク良イモノガ得ラルレバ、之ニ越シタコトハナイノデアリマシテ、又是ガ入札ノ目的ナノデアリマス、牧野委員ノ御言葉ニアリマスヤウニ、無暗ニ安物ヲ買ハウト思フ爲ニ損ヲスルト云フ其ノコトハ、官廳トシテモウ屢々懲リテ居ルコトデアリマスノデ、出來ルダケ其ノ入札ニミズミズシク弊害ハ、十分將來ニ於テ氣ヲ付ケマシテ、例ハバ落札スル者ノ資格ナリ、或ハ其ノ者ノ從來ノ工事ノ成績ナリト云フヤウナモノヲ檢シマシテ、出來ルダケ唯安ク落札シタ結果惡イモノヲ撰ムト云フヤウナ弊害ノナイヤウニ致シタイト思フノデアリマス、此ノ點ハ御注意洵ニ適切デアリ、吾々モ將來洵ニ氣ヲ付ケナケレバナラス點デアリマシテ、實ハ正直ニ申上ゲマス、吾々ガ日々使ツテ居リマス

官廳ノ入札ニ依ツテ取ツタ其ノ品物ガ、市場價買ヒマシタ品物ニ比ベマシテ、實ニ非常ニ惡イコトニ常々閉口シテ居ル次第ナノデアリマス、此ノ點ハ確ニモウ全然御同感ナノデアリマス、唯此ノ刑法ノ第九十六條ノ三ノ問題ト致シマシテハ、兎モ角モ競賣入札ト云フモノヲ以テ、官廳ガ物ヲ購入スルコトモ適正ナ方法ト考ヘテ居ルノデアリマス、何分ニモ官廳ノ事務當局ハ、十分ニ其ノ購入スベキ品物ニ付テノ知識ヲ持ツテ居ナイモノデアリマスルカラ、無暗ニ安イ物ヲ高ク買フト云フヤウナコトガアツテハ國家ノ爲ニイケンナイノデ、實ハ競賣又ハ入札ト云フ制度ヲ設ケタ譯デゴザイマセウ、之ヲ十分適正ニ守立テテ行クコトハ御言葉ノ通りデアリマスガ、唯此ノ趣旨ダケハ何處マデモ尊重致サナケレバナリマセヌ關係上、苟クモ競賣入札ト云フモノノ制度ヲ認メル限リニ於テハ、ヤハリ是ト相容レザル談合行為ハ取締ラナケレバナリナイカト思フノデアリマス、官廳ノ方ノコトニ付テノ御注意ハ十分諒承致シマスガ、ドウモ競賣入札ト云フコトヲ元來會計ノ諸規則ニ於テ決メラレ、ソレニ依ラザルヲ得ナイヤウニ吾々ハ與ヘラレテ居リマス關係上、ドウモ此ノ適正ヲ妨害サレルコトハ洵ニ困ルノデアリマスカラ、ソレデ此ノ第九十六條ノ三ヲ設ケタ次第デアリマス、何レニ致シマシテモ官廳ノ方ガ餘リニ安イコトニバカリ頼リマス、業者ノ方ハ又ソレニ對シテ一種ノ防衛的ニ今御言葉ノヤウナコトヲ致ス結果ニナルト云フコトモ確カニ考ヘラレルコトデアリマスガ、官廳ノ方モ注意致シマスシ、隨テ出來ルダケ競賣入札ガ公正ニ行ハレルト云フコトニ民間ノ業者モドウカ御協

力願ヒタイ、斯ウ云フコトニ御諒承願ヒタイノデアリマス

○牧野(良)委員 政府ノ本條ニ依ツテ目的ヲ達セントスル其ノ内容ノドウ云フモノデアるかト云フコトハ、能ク分ツテ居ルノデアリマスガ、今圖ラズモ談合ト云フモノハ、總テ不正ナモノトシテ本條ハ規定シテアルヤウナ御答辯デアリマシタノデ、ソレヲ改メテ戴ケルナラバコデ改メテ欲シイト思フノデアリマス、本條ノ目的ハ公正ヲ害スベキ行為ヲ取締ルノガ目的デアツテ、談合ヲ取締ルニアルノデハナイト思フノデアリマス、而シテ會計規則ハ只今政府委員ノ仰シヤツヤウニハ出來テ居ナイ、會計規則ハ九十七條其ノ二ニ「競争ニ際シ不當ニ價格ヲ競上ケ又ハ競下クル目的ヲ以テ連合ヲ爲シタル者」ト言ツテ居ルノデアリマス、此ノコトハ今期議會ニ於テハ治安維持法ニ於キマシテモ、國防保安法ニ於キマシテモ、本改正案ノ公安ヲ維持スル條文ニ於キマシテモ、同一趣旨デアリマシテ、目的ヲ以テスルト云フコトニ對シテ政府當局ハ御心配ガナイト云フコトデ、深く私共ニ懇切ナ御説明ガアリ、ヤハリ此ノ會計規則ニサウアルノデアリマス、ガカラ調停スルコトニ付テ必ズシモ之ヲ退ケルモノデハナイ、不當ニ價格ヲ競上ゲタリ競下ゲル目的ヲ以テシテハイカス、又各省ノ例ヲ見マシテモ、外地ノ各官廳ノ例ヲ見マシテモサウ云フ風ニナツテ居リマス、私ノ書キマシタモノ七十四頁カラ七十五頁、七十六頁ニ出シテ居リマス——唯後カラ申シマスガ、七十八頁ニ出シテ居リマス京都市ノ工事施行規程、是ハ一寸心配困ツタモノナノデアリマスガ、其ノ他ノモノハ大體私ガ全部調べマシ

タ所ニ依リマス、サウ云フ風ニナリマシテ、政府ガ凡ユル法律ニ付テ御説明ナサル際ニ其ノ目的違法性ヲ以テスルモノハイカスト云フコトガ明瞭ニナツテ居リマス、隨テ此ノ九十六條ノ三ニ於キマシテモ同様ニ御解釋ニナルモノト思ヒマス、此ノ點ヲ一ツ明瞭ニシテ戴キタイト思ヒマス

○大竹政府委員 第九十六條ノ三ハ、是ハ申上ゲルマデモナク、犯罪トシテ規定シタモノデアリマスカラ、違法性ノアル場合ニ限ルコトハ當然デアリマス、本條ノ目的ト致シテ居ル所ハ、公正ヲ害スルト云フ點ニアルコトハ御話ノ通りト考ヘマス、隨テ談合ニ依リ「公正ヲ害スベキ行為ヲ爲シタル者」ト云フノハ、公正ヲ害スルヤウナ談合ト云フコトニ解釋上ナツテ居ルコトハ當然ト考ヘマス

○牧野(良)委員 極メテ明瞭ニナリマシタ、其ノ御答辯ヲ初メカラ欲シカツタノデアリマス、公正ヲ害スベキ目的ヲ以テ談合スル、談合ニ依ツテ公正ヲ害スル、ソレデ談合其ノモノガ必ズシモ公正ヲ害スルノデヤナイト云フ御答辯ト承ツテ差支ゴザイマセスカ

○大竹政府委員 ソコハ私ノ言葉ガ不徹底デアツタノカモ知レマセマスガ、談合ト云フ言葉自體ト云フノデハナクテ、本條ニ書イテアル談合ハ結局公正ヲ害スル罪トシテノ談合デアルカラ、是ハ違法性ヲ持ツタ即チ公正ヲ害スルヤウナ手段トシテノ談合ト云フ風ニ申上ゲタ方ガ宜カツタノカモ知レマセマス

○牧野(良)委員 極メテ明瞭ニナリマシタ、政府ノ意圖セラレル所、政府ノ意ノアル所極メテ明瞭デ満足致シマス、ソコデ順序ニ依ツテ御質問申上ゲマス

本條ノ對象トナルモノハ公ノ競賣又ハ入札ニ限リノデアリマス、隨テ私ノ競賣又ハ入札ハ之ヲ含マナイモノト解シテ宜シイノデアリマス。

○大竹政府委員 御言葉ノ通りデアリマス。○牧野(良)委員 次ニ公ノ競賣トハ競賣法上ノ競賣ノ外民事訴訟法ノ強制執行編ニ記載セラレル強制競賣又ハ國稅徵收法上ノ所謂公賣等ノ場合ヲ含ムノデアリマセウカ承リタイト思ヒマス。

○大竹政府委員 含ム立案趣旨デアリマス。○牧野(良)委員 明瞭ニ分リマシタ、次ニ「公正ヲ害ス」ト云フ御趣旨ヲ承リタイト存ジマス、是ハ先程私が競争入札制度ガ現ニ如何ニ利用サレテ居ルカト云フコトニ關聯シ、違法ナル談合ト然ラザル談合ニ關聯スルコトト存ジマスカラ、此ノ點ハ言葉ハ成ベク少イ方ガ結構デアリマスガ、出來ルダケ適切ニ御答辯ヲ請ヒタイト思ヒマス、是ハ實際上ノ見地カラ申上ゲマスノデ、決シテ外ノ意味ハゴザイマセヌカラ……

○三宅政府委員 公正ヲ害スベキ行為ヲナシタ實際ノ場合々々ニ依ツテ判斷サルベキ事項ダト思フノデアリマスガ、何カ實際ノ事例ニ付テノ御質問デアリマスレバ御答ヘシテ宜イカト思ヒマス。

○牧野(良)委員 官廳ハ競争入札ノ場合ニ於テ、自ラ豫定價格ヲ法規上作ラナケレバナラナイコニナツテ居リマス、其ノ爲ニ技術家及ビ技術家ニ屬スル幾分カノ定員ハチャント持ツテ居リ、而シテ豫定價格ハチャント拵ヘテ居ルニモ拘ハラズ、豫定價格ヲ標準トシテ落札價格ヲ決定致シテ居リマセヌ、是ハ官廳ノ不正デアリマス、此ノ官廳ノ不正ヲ何故御取締リニナル規定ガア

リマセヌカ、本條ヲ御出シニナツテ、民間ノ不正ハ之ヲ體刑ヲ以テ御取締リニナルノデアリマスカラ、官廳ノ此ノ不正ハドウシテモ御取締リニナラナケレバイカスト思ヒマス、サウデナケレバ濱ノ眞砂ノ盡クル所ナク、此ノ不正談合ト云フモノガ出テ來ルコトヲ私ハ斷言致シマス、ソコデ此ノ對策ヲドウスルカト云フコトガ、私ノ十年位ノ一ツノ研究竝ニ調査項目デアリマシテ、商工省ト協議ノ結果五年掛リマシテ漸ク一ツノ組合法ノ適用ヲスルト云フコトニマデナリマシタ、サウシテ今組合組織デ一ツノ方法ハ執ラウト思ヒマスガ、是ハ適正ナル談合ノ形式内容ヲモ其ノ中ニ明カニシタイト思ツテ居リマス、談合ト云フ言葉ハ私ハ使ヒタクナイ、適正ナル協定行為ト今後ハ申シマスガ、ドウシテモ此ノ豫定價格ト云フモノニ準據シナイ落札價格ヲ決メラレマスト其ノ間ニドシナシテモ衝突ヲ起スノデアリマスガ、之ヲ司法當局ハ何ト御覽ニナリマスカ、是ハ極メテ大切ナコトデ、之ニ關スル法規ヲ御制定ニナラナケレバナラヌト思ヒマス、其ノ御意思ガアラレルカドウカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○三宅政府委員 私共ノ方ノ競賣ニハ最低競賣ガアリマス、今ノ御話ノ豫定價格ト云フモノガ果シテドウ云フ趣旨デ以テ作ラレルカ、又ドレダケノソレニ依ル所ノ拘束力ト言ヒマスカ、價值ガアルカ、是ハドウモ吾々一寸今研究ヲ致シマセヌト分リマセヌガ……

○牧野(良)委員 次官ノ仰シヤルコトハ其ノ通りデアリマス、實ハ豫定價格ト云フモノニ付テハ行政上ノ拘束力ガアルノデアリマス、恰モ原則トシテハ工事竝ニ官廳物件ノ賣却ニハ競賣又ハ競争入札ニ依ラナケレバナラナイト云フ規定ガアルト同様ノ拘束力ヲ外部ノニハ持ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ對スル詳細ナコトノ御承知ノナイノハ無理モゴザイマセヌ、ソレデ其ノ點ハ御注意ヲ喚起シテ、大藏省カラ當該關係ノ政府委員ノ出席ヲ希望致シマス、サウシテ此ノ點ヲ明カニシタイト思ヒマス、御出席ヲ請ヒマス。

續イテ質問ヲ繼續致シマス、只今政府ノ御答辯ニ依リマシテ、協定スルコト自體ガ公正ヲ害スルモノデハナイ、公正ヲ害スル協定、ソレヲ本條ニハ談合ト云ツテ居ルノデアアル、斯ウ云フ明瞭ナ御答辯ガアリマシタ、ソコデ是モ稍、專門的ニナルノデアリマスガ、談合金ノナイ談合ト、談合金ノアル談合トニ付テ當局者ハ談合ト云フモノニ關スル本質上ノ違法性ニ關シテ御意見デモアリマスレバ承リタイ。

○大竹政府委員 談合金ノナイ場合ニ於キマシテモ其ノ協定スル價格如何ニ依リマシテハ違法ナモノガアリ得ルヤウニ考ヘマス。○牧野(良)委員 大分問題ガ難カシクナリマシタガ、難カシクナイヤウニシタイト存ジマス、サウスルト談合トハ如何ナルモノカト云フコトハ本條デハ分ルデセウカ。

○大竹政府委員 結局公正ヲ害スルヤウナ協定行為ト云フヤウナコトニナルト思ヒマス。○牧野(良)委員 其ノ言葉ハ不正確ダト思ヒマス、體刑ヲ以テ當ツテ居リマスル條文デアリマスカラ、私ハ斯ウ云フコトデヤナイカト思フ、此ノ條文カラ申シマスト公正ヲ害スベキ行為ヲ目的トシテナサレル所ノ協定ヲ談合ト云フノデヤナイデセウカ、サ

ウ解シテ宜シウゴザイマス、私ノ言フコトハ裏ガアルト御思ヒ下サル必要ハ毛頭ゴザイマセヌ、オ互ヒニ一緒ニナツテ本條文ヲ正シイモノニシテ、此ノ業界及ビ此ノ業界ヲ中心トスル此ノ種方面ノ革正ヲ圖リタイ、肅正ヲ圖リタイ、其ノ目的ヲ達成スルニ便宜ナ法文ニシタイト云フコトヲ目的ニシテ居ルノデアリマスカラ、何等心配ナク御答辯願ヒタイ、若シ其ノ點ガドウモ分ラヌト云フコトデアリマスレバ、明日質問ヲ續行スルコトニ致シテ留保致シテモ宜シウゴスイマス。

○三宅政府委員 今ノ牧野委員ノ仰セラレルコトハ、餘リ吾々ニ其ノ方面ノ專門ノ知識ガアリマセヌカラ了解シクイノカモ知レマセヌガ、アナタノ言ハレルコトトドウ違フノデセウカ、コチヲノ申上ゲルコトト牧野委員ノ仰シヤルコトトドウ違フノカ、違フ所ヲモウ少シハツキリ説明シテ下サイ。

○牧野(良)委員 餘リ物ヲ知ツタヤウニ言ツテハ恐縮デアリマスガ、實際業界ハ官廳ノ競争入札制度ノ濫用ニホト／＼困リ切ツテ居ル、サウシテ是ハ主トシテ官廳ニ限ラレタコトデアリマシテ、事務クモ會社ニナリマス、國策會社デスラモ官廳ノヤウナコトハシナイ、然ラバ官廳ハドウ云フ濫用ヲスルカト申シマス、値段ヲ叩クノデアリマス、サウシテ出來ルダケ最低ノ値段ニ出デ、豫定價格トドシナ開キガアルカト云フコトヲ考ヘナイ、ソレデ仕事ガ欲シト思フ者ハ無暗ナ不合理ナ最低價格ヲ申立テルノデアリマス、如何ニスレバ自分ガ落札ヲ得ル最低價格ヲ作り得ルカト云フコトニ苦心スルノガ現狀デアリマス、ソコデ鐵道疑獄ノヤウナモノガ起ルノデアリマス、サウ

云フ考ヘデヤツテ居リマスカラ、檢事局ガ御取調ベニナルト總テガ疑獄ダト見エルノデアリマス、所ガ何ゾ知ラン、本當ノ所ヲ調ベルト、上ノ方ノ人ハサウ云フコトニ關係シテ居ナイト云フコトニナル、ソコデ世間デ所謂談合、私ノ言フ協定行爲ト云フモノハ實ハ官廳ノ競争入札制度並ニ競賣ノ制度ノ濫用ニ堪リ兼ねテ公ノ手段デ之ニ對抗手段ヲ執リタイト云フ心持ニナツタ、サウシテ自ラモ其ノ爲ニ一ツノ請負團體ヲ以テ、公ノ認可ヲ受ケル定款ヲ以テ之ニ對抗シタイト思フノデアリマス、所ガ斯ウ云フ條文ガ出來テ、此ノ條文ニ對スル司法當局ノ御考ヘガ其ノ點ニ於テ徹底致シマセスト、可哀サウナ者ヲ新シイ條文ヲ作ツテ罰スル、サウシテ依然トシテ不正ニ偉力ヲ發揮シテ居ル官廳ダケハ涼シイ額ヲスルト云フコトニナル、此ノ條文ハ其ノ意味ニ於テ私ハ危險ダト思フ、官廳ニ反省サセルト云フコトハ出來マセヌ、ト云フノハ主トシテ會計ニ關スル實務當局ガサレノデアリマスカラ、反省ト云フ言葉ヲ用フルコトガ既ニ不適當ナノデ、ソコデ法規ヲ以テ豫定價格若クハ適正價格ト云フコトニ統制サレナケレバिकास、今ハ各方面ニ統制法規ガ出テ、適正價格ト云フモノガ統制法規ノ中心ノ言葉ニナツテ居ル際ニ競賣及ビ競争入札ニダケハ、適正價格ガナイノダ、ソレニ依ラナクテモ、競争入札デ一番高イ者ニ落札サセルト云フコトデ足ルノダト云フ、此ノ條文ハ私ハ害ガアツテ益ナイコトニナルト思ヒマスカラ、ソレデ本條ニ所謂談合トハ、斯ウ云フモノヲ言フノデアル、隨テ斯ウ云フコトノ爲ニ談合シタ者ニハ、談合ヲ協定行爲トシテ是認スルト云フ態度ヲ明瞭ニ執ツ

テ、本條制定ノ趣旨ヲ貫徹スルト共ニ、本條ノ偉力ヲ發揮シテ、社會ヲ肅正シ、國家統制ノ徹底ヲ期スル上ニ貢獻スルコトニシタイト云フノガ、私ノ質問ノ趣旨デアリマス

○三宅政府委員 先ツ御質問ノ點ノ第一カラ申シマス、談合トハ何ゾヤト云フ談合ノ定義ヲ、先ツ申上ゲルノガ順序カト思フノデアリマス、ソコデ談合ト云ヒマスノハ、入札者又ハ競賣ノ申込者ガ、互ヒニ通謀ノ上或ル特定人ヲシテ、契約締結者タラシムル爲メ、他ノ者ハ一定ノ價格以下又ハ以上ニテハ、入札又ハ附値ヲナサザルベキコトヲ協定スル行爲ヲ云フ、斯ウ云フヤウニ定義致シタイノデアリマス、

○牧野(良)委員 私ハ談合ト云フモノハサウ云フモノデナイト思フ、サウ云フ風ニ談合ヲ解シテ居ラレマスカラ、正シイ協定行爲ヲナシテ居ル者ヲ、本條ガ出來マスルトドウシテモ被告ニシナケレバナラナクナル、サウデハナイノデアリマス、協定行爲ト云フモノハ、不當若クハ不正ナル競争入札制度若シクハ競賣制度ノ濫用ニ對抗スル爲ニ發生シタモノデ、其ノ正シイ協定行爲ノ中ニ、名ヲ正シイ協定行爲ニ藉リテ、公正ヲ害スル談合ガ生ジテ來テ居ル、取締ラルベキモノハ、其ノ公正ヲ害スル行爲ヲ目的トスル談合デアリマシテ、其ノ他ノモノハ御取締ノ範圍外デアルコトハ、只今マデノ質問應答デ明瞭ニナツテ居リマスガ、ソコニ全ク談合ト云フモノノ實質並ニ言葉、業界ノ實情、官廳入札ノ現狀、ソレニ對スル御理解ガナイ、司法當局ガナイノミナラズ、是ハ警察官及ビ檢事ハアリマセヌ、ソコデナイ人ヲシテアラシメルヤウニ、此ノ委員

會デソレヲ明カニシテ行キタイ、ソレハ茲ニ政府ノ答辯ダケデ、法律ノ解釋ト云フモノガ決定スルモノデナイケレドモ、少クトモ良イ參考ニナリマスカラ、是ハ此ノ程度デ私ノ質問ヲ留保スルコトヲ御許シ下サイマシテ、政府當局ト懇談シマシテ、内容ヲ明カニシテ行キタイト思フノデアリマス

委員長、此ノ點ニ關シテ委員會ニ御諮リヲ乞ヒタイノデアリマス、此ノ條文ハ重要ナ條文デゴザイマス、舊刑法ニハ之ニ該當スル條文ガアツタノデゴザイマスガ、現行刑法ニ至リマシテ、之ニ該當スル條文ヲ削除致シタノデゴザイマス、而シテ各國ノ立法例ニハ、ソレノ「ソレニ該當スル條文ガアルノデアリマス、舊刑法デハ其ノ第二百六十八條ニ「偽計又ハ威力ヲ以テ贖賣又ハ入札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス」トアルノデアリマス、所ガ今回ハヤハリ此ノ條文ヲ持ツテ來テアルノデアリマス、「偽計若クハ威力ヲ用ヒ又ハ談合ニ依リ公ノ競賣又ハ入札ノ公正ヲ害スヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス」刑ガ非常ニ重イノデアリマス、而シテ新タニ談合ト云フ言葉ガ入ツテ來マシタガ、談合ト云フ言葉ヲ立法當局ガ深く御承知ノナイコトハ、是ハ無理ガナイ、而シテ談合ニ關シマシテハ各國ニ其ノ事例ガ多イノデアリマス、サウシテ之ニ關シ最モ適切ナル判例ヲ示シテ居ルノガ「ドイツ」デゴザイマス、競争入札制度ト云フモノハ、自由主義經濟時代ノ一番寵兒トシテ、到處ニ行ハレテ來テ居ルノデゴザイマス、サウシテ各國トモ其ノ弊害ニ堪ヘ得ナカツタノデアリマスガ、遂ニ之ニ對シ

テ協定行爲ト云フモノガ現ハレ、ソレガ即チ世間デ所謂談合ト云フノデアリマスガ、之ニ關シテハ千九百八年三月七日「ドイツ」大審院民事部ノ判決ガ、頗ル適切ニモノヲ言ツテ居ルノデアリマス、今政府當局者ノ御考ヘニナツテ居ル談合ト云フモノガ、不公正デアアルベキ筈ガナイト思ヒマスコトハ、「ドイツ」ノ判例ニ斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス、凡ソ談合ハ「健全ナル經濟政策ノ見地ヨリ承認スベキモノナルヲ以テ善良ノ風俗ニ反スルモノニアラス」斯ウ斷ジテ居ルノデアリマス、而シテ曰ク「契約擔任者カ事實上談合ノ行ハレ居ルコトヲ知ラスト云フカ如キハ、自ラ經濟關係ヲ知ラサルノ責ニ歸セサルヘカラス」談合ガ行ハレルナント云フコトハ知ラスト云フヤウナコトヲ以テ、抗辯トスルコトハ怪シカラス、民事部マデガ斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマス、而シテ朝鮮ノ高等法院ハ、昭和六年ニ聯合部ノ決定ヲ以チマシテ、談合ヲ是認シテ居ルノデアリマス、「凡ソ請負業者モ、營業ニ伴フ自存ノ行爲ハ許サルヘキヲ以テ(中略)入札ヲ爲スニ際リ、單ニ營業上適正ナル請負價格ヲ維持スル趣旨ノミノ談合ヲ爲シ、之ニ基テ入札ヲ爲スカキハ(中略)請負業者ノ營業權ノ範圍内ニ於テ許サレタル行爲ト認ムルヲ妥當トスヘク、從ツテ公序良俗ニ反セス、刑法第三十五條ノ認ムル正當行爲ト謂フヘシ」斯ウ言ツテ居リマス、只今ハ極メテ御不用意ノ間デアリマスカラ、言葉尻ヤ色々ナコトヲ取ツテハ、ソレハ宜シクナイ、サウ云フコトハ致シマセヌ、只今次官ノ仰シヤツタ行爲ノ如キハ、刑法第三十五條ニ認ムル行爲ニ屬スルモノガ非常ニ多クナル、ダカラアア云フ風ニ解シテ行カレテハ、之

ニハ當嵌マラナイ、ダカラ何處マデモ本條ニ所謂談合、世間ニ所謂談合ト云フコトト同時ニ、本條ニ取締ル談合ノ内容如何ト云フコトニ對シマシテハ、モウ少シ正確ニオ互ニ進メテ行キタイト存ジマス、是ハ私ハ土木建築ノ請負及ビ官廳ノ拂下物ノ競賣ニ參加スル人ノ爲ニ言フノデゴザイマセズデ、私共ガ物ヲ賣ツタリ買ツタリスル行爲ヲ指ス場合ニ於ケル、實際ノ實情ヲモツト公正ニ規律スルコトニ努メナケレバナラナイト思フノデアリマス、今回御提案ニナリマシタ刑法改正案ノ中ノ九十六條ノ三ト云フモノハ、此ノ統制經濟ノ嚴密ニ行ハレントスル今日ノ社會ニ於キマシテ、此ノ規定ヲ設ケラレルト云フコトハ、私ハ極メテ適切ナコトト思フノデアリマス、隨テ是ハ統制經濟ノ見地ヨリ、今日ノ時代ト云フモノニ即應シテ、此ノ解釋ヲ一定シテ、之ヲ以テ一般社會ノ生活ノ實情ト云フモノヲ律シテ行カナケレバナラスノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテ、政府當局ニ對シテ本條制定ノ趣旨内容ニ關シテ、實情ノ方面カラ御質問申上ゲテモ、殘念ナガラマダ御答辯ノ用意ノ整ツテ居ナイ點ガアルヤウニ思フノデゴザイマス、デアリマスルカラ、許サレバ委員會ハ一時間程懇談會ヲ催シテ戴キタイト存ジマス同時ニ、此ノ程度デ私ハ私ノ質問ヲ中止致シマシテ、協議シテカラ續行スルコトノ御許シヲ乞ヒタイト思ヒマス、委員長並ニ委員諸君ノ御同意ヲ得タイト思ヒマス

○江原委員長代理 懇談シマスカラ、一寸速記ヲ止メテ下サイ

○江原委員長代理 速記ヲ始メテ……

○三宅政府委員 牧野委員カラ御尋ネノ點ハ、他省トノ關係モゴザイマスノデ、尙ホ他省トノ間ニ色々相談ヲ致シマシタ上デ、御返事ヲ申上ゲタイト存ジマス

○牧野(良)委員 此ノ程度デ私ノ質問ヲ一時打切りマシテ、アトハ留保スルコトヲ御許シ願ヒマス

○江原委員長代理 次ハ菊地君

○菊地委員 私ハ借地法第四條、借家法第一條ノ二ニ所謂「正當ノ事由」ニ付テ御伺ヒスルノデアリマス、先ヅ第一ニ正當ノ「事由」トハ如何ナルコトヲ言フカ、此ノ點ヲ御伺ヒシタイトデアリマス

○坂野政府委員 御尋ネノ借地法第四條ニ申シマス「正當ノ事由」、ソレカラ借家法第一條ノ二ニ申シマス「正當ノ事由」之ヲ纏メテ申上ゲマス、「正當ノ事由」ニ該當スルモノハ例ニ出シテゴザイマスヤウニ、先ヅ自ラ使用スルコトヲ必要トスル場合ガ入リマス、其ノ次ハ賃料不拂ガゴザイマシテ、ソコデ契約解除ノ前提トシテ催告ガアルト、賃料支拂ヒヲスルガ、又賃料ヲ滞納スル、サウ云フヤウニシテ賃貸人ニ迷惑ヲ及ボシテ居ル場合ガ入ル、其ノ次ガ土地ノ賃貸借ニ於キマシテ、賃貸人ノ同意ヲ得ズシテ、土地ノ原狀ヲ甚ダシク變更シタル場合、普通建物ノ賃貸デアルニ拘ラズ、地下ヲ掘下ゲタリスル場合、其ノ次ハ賃借人ガ賃貸人ノ同意ヲ得ズシテ、建物ノ原狀ヲ甚ダシク變更シタル場合、無斷デ建増シタリ、改造ヲスル場合、次ニ賃貸人ノ同意ナクシテ、土地又ハ建物ノ賃貸權ヲ讓渡シタル場合、其ノ次ガ賃借人ガ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ト云フヤウナモノガ、正當ノ事由ニ該當致シマス、又正當ノ事由ニ當ル場合トシテ考ヘ

ラレルノハ、土地又ハ建物ヲ自己ノ家族、又ハ親族ニ使用セシムル必要ガアル場合、家族ガ増加シテ家ヲ分ケナケレバナラス必要ナル場合、又建物ノ保存上移轉、改築ヲ必要トスルヤウナ場合、其ノ他借地、借家條件ノ違反——是ハ輕微ノ違反ハ、直チニ正當ノ事由ニナルトハ考ヘラレマセヌシガ、違反ノ場合ニ正當ノ事由ニナルコトガ多クアルダラウト思ヒマス

○菊地委員 大體分ツタノデアリマスガ、第二ノ賃料不拂ノ場合、契約解除ノ前提トナル場合ト申サレマシタガ、モツト詳シク御説明願ヒタイ

○坂野政府委員 賃料ノ支拂ガ遲滞ニ陥ツタ場合、賃料支拂債務ノ遲滞ニ陥ツテ、ソコデ解除スル前ニ其ノ金ヲ直グ持ツテ來ル、ソレデ解除ヲ致サズニ濟ム、サウスルト又期間ガ來テモ支拂ヒヲシナイ、サウシテ解除ニハサセナイヤウニシテ居ナガラ、續ケテ支拂ヲシナイ、サウ云フヤウナ場合ヲ考ヘテ居リマス

○菊地委員 今ノ御答辯ニ依リマス、賃借人ガ惡意ヲ以テ解除ニサレナイヤウニ、引延シテ行ツタ場合ダケヲ指スノデスカ、ソレトハ又本當ニ生活ノ狀態カラ支拂フトトガ困難ナノデ、催告ガ來タル場合調達シテ支拂フ、モツト適切ナ例ヲ擧ゲルト、働キ手が病人デアルトカ、或ハ出征シタトカ、斯ウ云ツタ特別ノ事情ガアル場合デモ、正當ノ事由トシテ所謂更新ガ出來ナクナルモノデスカ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイ

○坂野政府委員 此ノ債務不履行アリヤ否ヤト云フコトハ、ヤハリ信義誠實ノ原則ニ從ツテ判斷スベキモノデアリマシテ、單ニ其ノ期日ニ支拂ヲシナカッタト云フ事實ダ

ケデ、直チニ債務不履行アリト云フ觀念モ出テ參ラナイト思ヒマス、今御尋ネノヤウナ事情ハ、相當斟酌サレルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○菊地委員 能ク分リマシタ、サウアルベキコトト思フノデアリマス、此ノ「正當ノ事由」ノ例トシテ、貴族院ノ本案ノ特別委員會デモ、坂野政府委員カラ御説明ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ中ニ賃借事項ニ違反シタル場合ニハ「正當ノ事由」トシテ、更新ヲ拒絕スルコトガ出來ル、斯ウ云フヤウナ御答辯ガアルヤウデアリマスガ、此ノ所謂賃借事項ト云フノハ、ドウ云フ事ヲ御指定ニナツテ居ルノデセウカ、ト申シマスノハ第二回速記録ノ十一頁ニ、佐々木八十八君ガ斯ウ云フ質問ヲシテ居ルノデアリマス「其ノ他正當ノ事由アル場合」トゴザイマスガ、其ノ「正當ノ事由」ノ中ニデゴザイマスネ、賃借人ガ賃借事項ヲ履行シナイ場合ニ、之ガ履行ヲ迫リマシテモ、賃借人ガ履行シナイト云フ時ニハ、此ノ「正當ナル事由」ト云フノハドンナニ適用ガ出來ルモノデゴザイマスカ」ソレニ對シテ坂野政府委員ハ「其ノ場合ニハ「正當ノ事由」ニナルト思ヒマス」斯ウ答ヘラレテ居ルノデアリマス

○坂野政府委員 御尋ネノ點デゴザイマスガ、私共ノ考ヘテ居ルノハ、先程御引用ノ貴族院ノ速記ハ稍、明確ヲ缺キマスカラ、茲デ改メテ申上ゲマス、要スルニ御手許ニ配付致シマシタ宅地賃貸借ノ條件、或ハ建物賃貸借ノ條件ノ中ノ、違背ト考ヘテ居ルノデアリマシテ、ソレモヤハリ信義誠實ノ原則ニ依ツテ判斷シナケレバナラスノデ、此ノ違背デアツテモ非常ニ輕微ナモノハ、此ノ正當ノ事由ニハ入ラスト考ヘテ

居ラス次第アリマス

○菊地委員 斯ウ承ツテ宜イデセウカ、賃借條件ノ中ニ、賃貸借契約ノ要素トナルヤウナ重要ナモノニ付テハ、正當ノ事由ナリトシテ、其ノ違背ハ更新ヲナス理由ニナルケレドモ、重要ナラザル輕微ナモノハ、ソレニ當嵌ラナイ、斯ウ云フコトデアリマス

○坂野政府委員 輕微ナモノハ當嵌ラナイノデアリマスケレドモ、其ノ輕微ト云フ觀念ハ、要スルニ信義誠實ノ原則ニ從ツテ判斷スベキモノデアラウト思ヒマス

○菊地委員 其ノ點ハ分リマシタ、ソレカラ借地法ノ第四條第一項デス、「借地權消滅ノ場合」斯ウアルノデアリマスガ、其ノ借地權消滅ノ場合ノ中ニ、民法五百四十一條ニ依ル所謂法律上ノ告知デスガ、此ノ告知ニ依ツテ借地權ガ消滅シタ場合モ、包含スルデアリマセウカ

○坂野政府委員 其ノ場合ハ包含サレナイト解釋シテ居リマス

○菊地委員 ソレハドウ云フ譯デセウカ

○坂野政府委員 其ノ場合ハ所謂債務不履行ニ依ツテ、解除ガサレタノデアリマス、債務不履行ニ依ツテ解除ヲサレタト云フヤウナ場合ノ時ニ、尙ホ且ツ此ノ更新ヲ認メルト云フノハ、信義誠實ノ原則ニ反スルノデアリナイカ、斯様ニ考ヘラレノデアリマス、是ハ現在ノ借地借家兩法ニ、其ノ判例ガ出テ居リマシテ、サウ云フヤウニ解釋シテ居リマス

○菊地委員 借地權消滅ノ場合デアリマスガ、建物ノ朽廢ハ借地權ノ決メ方ニ依ル所デアリマスガ、數棟ノ建物ノ敷地ノ賃借權ニ於テ、其ノ一棟ガ朽廢シタ場合ニ、其ノ

一棟ダケノ敷地ノ借地權ガ消滅シテ行クノデアルカ、ソレトモ全體ニハ何等ノ影響ヲ及ボサナイモノデアルカ、其ノ點ヲ承リタイ

○坂野政府委員 此ノ場合ハ賃借權、或ハ地上權ノ設定契約ノ趣旨ニ依ツテ、決マルノデアラウト思ヒマス

○菊地委員 賃借權契約ニ何等ノ意思表示ノナイ場合ニハ、ドウナルカガ一應法律上ノ問題トナルト思フノデアリマスガ、此ノ場合ハドウ解釋スベキデアリマセウカ

○坂野政府委員 色々ハ契約ノ解釋問題ニナリマスガ、其ノ建物ノ種類、ソレカラ其ノ土地ノ借り方ニ、一筆ノ土地ヲ借ルトカ、或ハ其ノ土地ノ一部ヲ借ルト云フヤウナ借り方、色々借り方ガアルドラウト思ヒマス、一應ハ一箇ノ契約數箇ノ建物ノ爲ノ借地權ヲ設定致シタ致シマスレバ、一棟ガ朽廢シテモ、其ノ朽廢シタル建物ノ敷地ニ對スル賃借權ガ、分割的ニ消滅スルモノデアナイ、先ツ斯ウ解釋シテ宜シイト思ヒマス

○菊地委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○江原委員長代理 ソレデハ野口君

○野口委員 私ハ只今ノ御質問ニ關聯シタモノカラ先ヅ申上ゲマシテ、後デ簡單ニ吾等ノ法的生活カラ來ル具體的ノ事實ヲ舉ゲテ、此ノ法律上ノ疑問ヲ解キタイト思ヒマス、借地法第四條第一項ニ「借地權消滅ノ場合ニ於テ借地權者ガ契約ノ更新ヲ請求シタルトキハ建物アル場合ニ」トアリマスガ、其ノ「建物」ノ解釋デアリマスガ、斯ウ云フ事實ノ場合ニハ、借地權ガ繼續スルカドウカ疑問ガアル、菊地サシハ只今ハ或ル集團ヲナセル獨立家屋ノ例ヲ引カレマシタガ、私

ハ工場ニ例ヲ引イテ申上ゲタイ、吾々ガ日夜體驗シテ居ルコトデアリマスガ、例ヘバ千坪ノ工場デ總建坪ガ五百坪、其ノ中デ三百坪ノ工場建築物ハ燒ケマシタガ、後ニ殘ツタ煙突、機關庫、不燃燒物ヲ入レタ倉庫、周圍ヲ取巻ク垣ト云フヤウナモノガ、火災ノ消滅ヲ免レタ、サウ云フ場合ニ建物ハ消滅シマスガ、工場經營ノ上カラ見テ工場敷地ハ完全ニ區切ラレテ居ルシ、機關室、煙突ノ如キハ殘ツテ居ル斯ウ云フ場合ハ建物ガアル場合トシテ解釋シテ、借地權ハ繼續スルモノト見テ宜シウゴザイマス

○坂野政府委員 只今ノ御尋ネハ火災ヲ前提ト致シテ居リマスガ、此ノ朽廢ハ自然力ニ依ル朽廢ヲ前提ト致シテ居リマスカラ、此ノ場合ハ消滅致シマセス

○野口委員 家屋ニ未登記物件ト登記物件トガアリマスガ、未登記家屋ヲ何等土地所有者ノ同意ヲ得ズシテ讓受ケテ居リマス場合、借地權ガアルモノトシテ、對抗ガ出來ルノデアリマセウカ

○坂野政府委員 對抗ハ出來マセス

○野口委員 此處デ私ハ日本ノ登記制度ノ上ニ於テ大キナ疑問ガアリマス、是ハ家屋、土地、不動産全體ヲ引括メテ言フノデアリマスガ、不動産登記ニ依ツテ生ズル不動産取得者ハ、土地所有者ノ同意ナクシテ、家屋ヲ賣買スルコトハ出來マス、登記モ出來マス、隨テ土地所有者ハ何ニモ知ラザル内ニ、自分ノ土地ノ上ニアル家屋ガ第二、第三、第四ト轉賣サレテ居リマシテ、地代ノ請求權ヲ何處ニ持ツテ行ツテ宜イカ分ラナイヤウナ實情ガ全國ニ溢レテ居リマス、是等ハ何トカ防止スル方法ヲ、中央當局トシテ御考ヘニナツテ居リマセウカ、ソレヲ承

リタイノデアリマス

○坂野政府委員 只今ノ場合土地所有者ノ承諾ガアリマセスケレバ、其ノ讓渡ハ、土地所有者ニ對シテハ、對抗出來ナイノデアリマスカラ、ヤハリ借地料トシテハ、第一ノ建物ノ所有者ニ對シテ、請求出來ルコトニナル譯デアリマス

○野口委員 サウシマス最初ノ所有者ニミ出來ル、併シ物件ノ眞ノ所有者ハ、轉々トシテ居ルト云フ實情ナノデアリマス、所ガ第一ノ所有者ガ海外ナドヘ移轉、旅行シテ家族全部ガ行方不明ニナルコトガ、繁華ナ都會ニハ隨分アリマス、其ノ場合土地所有者ハ法律上現在ノ所有者ニ請求權ガナイトシマス、救済ノ方法ガナイト思ヒマスガ、如何デスカ

○坂野政府委員 借地權ガ對抗出來ナイノデアリマスカラ、現在ノ建物ノ所有者ニ、土地所有者ガ土地所有權ニ基イテ、明渡シノ請求ガ出來マス、ソレカラ土地ノ不法占據者トシテ、損害賠償ノ請求ガ出來マス

○野口委員 成程法律ノ上カラ見ルト、サウデゴザイマセウガ、土地所有者ト致シマス、非常ニ複雑ナ手續ヲ履ンデヤラナケレバナイマセス、而モ現實ニ立派ナ家ガ其ノ上ニ建ツテ居ルコトハ、一ツノ法律上ノ缺陷デハナイカト思ハレル、隨テ所有權ノ移轉登記ノ場合ニハ、土地所有者ノ同意書ヲ添付シテ登記セシメルナラバ、サウ云フ爭ヒゴトハ未然ニ防ゲルト思フノデアリマスガ、サウ云フ點ノ御考ヘハ如何デスカ

○坂野政府委員 是ハ少シ理論的ニ申サウデアリマスガ、理論的ニ申シマスレバ、土地ノ所有者ト建物ノ所有者トハ、全然關係ガナイ譯デアリマス、建物ノ所有權ニ伴

ツテ、賃借權又ハ地上權ガ移轉スルト云フコトデアリマス、或ハ土地所有者ノ承諾書ト云フヤウナモノヲ付ケルト云フコトモ出來ルノデアリマスガ、其ノコトハ理論的ニ申シマスレバ、關係ガナイノデアリマス、建物ノ讓渡ニハ土地所有者ノ承諾書ヲ付ケルト云フコトハ、一寸困難デハナイカト考ヘルノデアリマス

○野口委員 土地ト建物ハ不可分の存在デアツテ、土地ガナケレバ家屋ガ建タスト云フ所ニ、所有權ノ觀念カラ見ルト、成程立派ナ獨立ノモノデアリマスガ、事實取引ノ上ニ非常ニ不便ガアルト思ヒマス、モウツ私ハ土地賣買ノコトニ關シマシテ、御意見ヲ承ハツテ置キタイノデスガ、是ハ土地ヲ讓受ケタガ登記申請ヲシテ、名義書換ノ登記ヲ完了致シマス、所ガ其ノ申請人ガ、現在ノ居所デ名前ヲ違ヘテ申請スルヤウナ、相當惡辣ナモノガアリマス、ソレハ結局惡「ブローカー」カ何カデ、目的ハ不動産取得稅脫稅ニアルノデアリマス、ソレガ爲ニ各公共團體ノ未收入カラ來ル缺損ハ、全國的ニ見ルト何百萬圓ト云フ巨額ニ達シテ居ハシナイカト思ヒマス、私ハ十年前縣參事會員ヲシテ居ル當時、會計檢査ニ行ツテ、斯ウ云フ事實ヲ到ル處見タノデアリマス、是ハヤハリ登記申請手續ノ上カラ來ル一ツノ缺陷デハナイカト思ヒマス、是ガ完全ニ出來得ル方法ヲ講ズルナラバ、國家收入ノ上ニ、大キナ影響ヲ生ズルト思フノデスガ、斯ウ云フ點ノ御調べガアルカドウカ、又御調べニナツテ居ナイナラバ、今後ニ對スル御考ヘヲ承ハツテ置キタイト思ヒマス

○坂野政府委員 私共法律的ニ考ヘテ居ルモノデゴザイマスカラ、一寸御趣旨ガ分リ兼ねルノデゴザイマスカ...

ネルノデゴザイマスカ...

○野口委員 細カク申上ゲルト、土地ノ讓受人ガ登記致シマスガ、其ノ時ニ自分ノ名前ト住所ヲ虚偽ヲ言ツテ登記出來ルノデス、隨テ不動産取得稅ノ徵稅書ガ參リマスガ、其ノ人ハ全然ソコニ住ンデ居リセマスカラ、徵稅不能ニナル、其ノ救済ヲスルコトハ國家收入ノ上ニ、大キナ收入ガアルト思フガ、ソレヲ防止スルコトニ付テ、何カ御考ヘハアリマセヌカ

○坂野政府委員 此ノ登記關係ハ、大體形式的審査ト申シマスガ、實質審査ヲ俟タズシテヤルト云フ組立ニナツテ居リマスノデ、事實其ノ名ト住所ナド全然違ツタモノデ讓受ケ致シマシテモ、登記ノ關係トシテハ之ヲ受付ケザルヲ得ナイコトハ、日本ノ登記ノ組立デガ、全體的ニ所謂形式審査主義ト云フ形ヲ採ツテ居ル關係上、サウ云フヤウニナツテ居リマス、只今仰セノヤウナ場合ハ、寧ロ大藏省ト申スカ稅關係ノ方デ、調査サルベキモノデハナイカト思ヒマス

○野口委員 ソコニ形式主義カラ來ル所ノ缺陷ガアツテイカスノデ、私ハソレヲ斯ウシタラドウカト思フノデス、私民間ノ經驗者トシテ一言申上ゲルノデスガ、本籍ノ身分證明ナドヲ添付サセルヤウニスレバ、サウ云フヤウナコトヲ防止出來ルノデハナイカト思ヒマス、ソレカラハハ不動産關係ノ思想ニ及ボス問題デアリマス、今日閣取引ニハ體刑マデ行フコトニナリ、是非非常ニ結構ナコトデアリマスガ、不動産賣買ハ今マデ閣ノ前驅ヲナシタモノダト言ハザルヲ得マセヌ、ソレハナゼカト申スト、登記價格ト事實ノ賣買價格トハ非常ニ違ツテ居リ、登記官吏モ亦之ヲ公然ト認メテ居ルト云フ

コトデアリマス、サウスルトソコニ聞其ノモノヲ認メテ居ルト云フヤウナ實體ヲ明カニ成スノデアリマス、而シテ是ハ今後各方面ニ重大ナ影響ヲ及ボシテ來ルト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ付テ司法當局ハドウ云フ御考ヲナサツテ居ルカ、一應伺ツテ置キタイト思ヒマス

○坂野政府委員 不動産賣買ノ登記價格ガ、實際ノ賣買價格ト間違ヒナク登錄サルベキモノデアルコトハ當然デゴザイマス、ソレガ若シ違ツテ居レバ、登記官吏ハ訂正サセル譯デアリマス、其ノ訂正サセルコトガ適正ニ行クカドウカト云フコトニ付テハ、登記官吏ノ平生ノ心構ヘ或ハ色々ノ知識ヲ取ルヤウニ努力スベキコトデアリマスシ、又是ハ鑑定人モ使ヘルノデアリマス、其ノ他ニ吾々ノ方トシテハ、最近大藏省關係ト連絡ヲ取ツテ、所謂土地賃賃價格ヲ全部報告シテ貰フコトニシテ居リマス、ソレカラハ登記官吏ガ實際ヤツテ居ルノデアリマスガ、休暇ノ日ナドニハ自分デ其ノ實地ヲ廻ツテ、サウ云フヤウナ訂正ニ付テノ知識ヲ豫メテ居ル次第デアリマス

○野口委員 成程日曜、祭日ニ廻ツテ見タリ、或ハ賃賃價格見ルト云フコトデアアルガ、才役人トシテハ非常ニ事實ニ即シナイコトガアル、所謂賃賃價格ハ「ストツプ」令前トハ、非常ニ違ツテ居リマス、ソレデ賣買價格ヲ唯賃賃價格ヲ標準ニシテヤルトコトデハ、其處ニ大キナ事實ニ即シナイコトガ起リマス、「ストツプ」令前ハ例ヘバ坪十錢デアツタガ、其ノ後ハ色々ナ意味ニ於テ十五錢、十七錢ニナツテ居ルト云フヤウナコトデアリマス、ソレノ何倍カラ土地賣買價

格ノ標準トシテ取締ツテ居リマスカラ、隨テ同地同番地ノ爲ニ南向ノ立派ナ道路ニ直面シテ居ツテモ、法律上安ク見ナケレバナラス、北向ノ不利益ナ場所ニアツテモ、法律上ハ高く見ナケレバナラスト云フヤウナ事實ニ即應シナイ矛盾シタ結果ガ到ル處ニ暴露シテ居リマス、ソレカラ登記官吏ガ唯廻ツテ見テ價額ヲ見ル、是ハ專門家ガ見ルノデアリマスカラ、過失ハ先ヅナイト思ヒマスガ、徒ラニ事實ノ賣買價額ヲ上ゲヨウトシテ、自己ノ登記事務ノ成績ヲ上ゲヨウトスル爲ニ、是亦民間ノ事實ニ即應シナイコトガアリマス、ソレハ友人同士ガ助ケ合ツテ、或ル土地ナリ家屋ナリヲ買ツテヤルト云フ場合ニハ、事實上相當安クスル場合ガアリマス、然ルニ其ノ番地其ノ附近ハ、實ハ以前調査シタ上カラ見ルト、是ハ何十圓ニ値スルト云フコトデ、事實ニ即應シナイ、事實ヨリモズツト高イ登記料ヲ拂ハナケレバナラスト云フ事實ガ又到ル處ニアルノデアリマス、是等ハ形式主義カラ來ル一ツノ大キナ缺陷デ、事實ト即應シナイコトガアリマス、是等ヲ今後不動産賣買ノ所謂經濟情勢ヲ圓滑ニ發展セシメルニハ考慮シナケレバナリマセヌ、是等ニ對スル立派ナ更正ヲシナケレバナラスト私ハ思フ、事實ニ即應シテ正シク改メテ行ク方法ヲ講ジナケレバナラスト思ヒマス、是等ハサウ云フ事實カラ見マシテ司法當局ノ御考ヘヲ一言承ツテ置キタイノデアリマス

○坂野政府委員 御尋ネノヤウナ事實ニソグハナイコトガアルト云フコトハ、非常ニ遺憾デアリマシテ、是ハ吾々ノ方トシテハ成タケサウ云フ風ニ導イテ行キタイト思ツテ努力致シテ居ルノデアリマスガ、制度上

ニモハ大イニ考ヘナケレバナラヌコトガ
アルダラウト思ヒマス、若シ斯ウ云フ實際
ノ點ニ付テ色々民間ニオイデニナル方デモ
御氣付キノ點ガアツタナラバハ御注意下
サツテ適正ニ行クヤウニ運ビタイト思ヒマ
ス

○野口委員 私ノ御尋ネハ一々具體的ナ例
デ簡單デアリマス、是ハ大藏省ト農林省ト
司法省ニ跨ガツタ事務管轄ノ複雑カラ來ル
所ノ民間ノ色々ナル事業ヲ助長シナイト云
フ點デアリマス、是ハ都會生活並ニ都會ヲ
中心トスル其ノ近郊ニアル大キナ不利益ナ
ル事實ノ點デアリマスガ、耕地整理ノ問題
デアリマス、例ヘバ十五年前カラ耕地整
理ヲヤツテ完成シテ、既ニ事實ハ市街地ヲ
成シテ居リ、ソレカラ耕地整理ノ事實上ノ
事務モ完了シテ居ル、然ルニ管轄ガ三省ニ
跨ガツテ居リ、複雑多岐ヲ極メテ中々認可
ニナラナイト云フヤウナ爲ニ、街ハ立派ニ
市街地ヲ成シテ居ルガ、從來ノ地番デ所謂
本當ノ法律上ノ清算ガ出來ナイ、斯ウ云フ
ヤウナコトモ事實郵便ノ配達ナド一番困ル
ノデアリマス、是ハ實ニ管轄官省ノ事務複
雜ノ結果カラ來ル、民間生活者ノ不便ヲ如
實ニ物語ツテ居ルト思ヒマスガ、地番ガ作
レナイ、隨テ俗稱ノ地番ハアリマスガ、土
地臺帳ニ依ル所ノ地番ガ出來ナイモノデス
カラ、千九百何十番ト云フヤウナ明治三十
年時代カラノ地番ヲ付ケテ居ツテ、非常ナ
不便ガ到ル處ニアリマス、是ハ殷賑産業地
帶ノ特ニ發達シテ來タ地區ノ最モ不便トス
ル所デアリマシテ、是等ノ各省ニ跨ガツタ
事務ヲ統一シテ、各方面ノ事務ノ刷新ナリ
進捗ナリヲ速カニヤルト云フヤウナ御考ヘ
ハナイデセウカドウカ、一寸承ツテ置キタ

イノデアリマス

○坂野政府委員 御尋ネノ點、實際吾々ガ
登記ノ方カラ見マシテ、サウ云フヤウナ事
實モアルノデハナイカト考ヘマスガ、唯私
共ノ關係致シテ居リマスノハ、所謂地番割
ガ出來マシテ完全ナモノダケ管理致シテ居
ルノデアリマシテ、其ノ前ノ耕地整理ノ運
行、ソレカラ其ノ地番割ト云フモノニハ、
私共ノ方ハ關係ガアリマセヌノデ、一寸之
ニ付テハ何トモ御答辯ヲ申上ゲ兼ネルノデ
アリマス

○野口委員 局長トシテノ御立場カラ見レ
バ御尤モト思ヒマスガ、唯斯ウ云フ話ガ強
クアツタト云フコトヲ御考慮ノ中ニ入レテ
下スツテ、何カノ機會ニ御話合ヒヲ願ヒタ
イト思フノデアリマス

ソレカラサウ云フ御願ヒヲ致シ、或ハ御
意見ヲ伺フ序ニモウ一ツヤハリ斯ウ云フ方
面カラ又一ツノ缺陷ガアルノデアリマス、
公共團體ガ色々ナ財政計畫ノ上カラ見テ、
道路ノ擴張、學校ノ敷地其ノ他ノ全部ヲ、
其ノ敷地所有者ニ受益者負擔ノ名ヲ以テ無
償的寄附ヲサセマス、是ハ所謂公益優先ノ
上カラ喜ンデ皆寄附シテ居リマス、併シナ
ガラ其ノ事務ガ完了シテ後ニ初メテ公共團
體ノ名義ニ名義書換ヲ致シマス、其ノ時カ
ラ公課ハ免除サレマスガ、ソレ以前十年モ
公共團體ノ用ニ供シテ居ツテ、ソレガヤハ
リ私人ガ所謂公課負擔ヲシテ居リマス、是
等ニ對スル特殊ノ免除方法ヲヤハリ御考ヘ
戴ク方宜イデハナイカト思ヒマスガ、一
應承ツテ置キタイノデアリマス

○坂野政府委員 御趣旨ノアル所ハ能ク了
承致シマシタ、是ハ主トシテ大藏省關係デ
ゴザイマシテ、何カノ機會ニ能ク打合セヲ

スルヤウニ致シマス

○野口委員 私ノ質問ハ是デ終リマス
○江原委員長代理 此ノ程度デ休憩致シマ
ス、午後一時ヨリ引續キ會議ヲ開キマス
午前十一時五十七分休憩

午後一時十四分開議

○江原委員長代理 午前中ニ引續キ會議ヲ
開キマス——松永君

○松永(東)委員 私ハ内務當局ニ對シテ此
ノ借地借家法ト、内務當局ガ從來計畫シテ
居ラレマス防空防火計畫トノ關聯性ニ付
テ、少シバカリ御伺ヒシテ見タイノデアリ
マス、私ノ質問申上ゲル中ニ、本法案トノ
關聯性ガ多少濃厚ヲ缺クヤウナ點ガアルカ
モ知レマセヌケレドモ、是ハ今期議會モ御
承知ノ通り、實質ハモウ本日ト明日限リノ
ヤウニ承ツテ居リマスノデ、此ノ機會ニ於
テ承ルヨリ外機會ヲ得ルコトガ出來マセヌ
ノデ、此ノ際承ツテ見タイト存ズルノデア
リマス、甚ダ恐縮デアリマスケレドモ、
少シバカリ時間ノ割愛ヲ御願ヒシタイノデ
アリマス、私ハ借地借家法ノ兩案中ニ思ヒ
付イタ點ヲ、順序ヲ置カズニ御質問申上ゲ
テ見タイト思フ、先ヅ借家法改正ニ際シテ、
家主ガ防火改修ヲナス場合ニハ、借家人ハ
之ヲ拒絶シ得ナイト云フヤウナ規定ヲ設ケ
ル必要ガアルノデハナカラウカト云フ風ニ
考ヘテ居ル、ト申シマスノハ、此ノ借地借
家法ハ都會地ノ土地並ニ家屋ノ所有權ヲ極
度ニ制限シテ、時局柄住宅難ヲ緩和シ、併
セテ不自然ナル建物ノ潰滅ヲ防止シヨウト
云フ點デアリマシテ、洵ニ結構ナル法律ダ
ト思フ、而シテ此ノ委員會ニ於テ論議セラ
レテ居リマス改正ノ趣旨モ亦、此ノ目的ヲ

強化スルノデアリマシテ、頗ル時節柄時ヲ
得テ改正デアルト私ハ信ジテ居リマス、殊
ニ私ノヤウナ在京三十五年、殆下自分ノ地
所ノ上ニ住ンダコトモナケレバ、自分ノ家
屋ニモ住ンダコトモナイ、謂ハバ借地借家
ヲ宿命付ケラレテ居ルヤウナ者ニ取ツテハ、
一層其ノ感ヲ深クスルノデアリマス、併シ
ナガラ近時ノ社會情勢、國際情勢カラ觀察致
シマス、凡ユル事物ニ付テ今日マデノ考
ヘ方ヲ一變シナケレバナラヌト云フ風ニ考
ヘラレル、特ニ空襲ノ危險ニ曝サレテ居リ
マス所ノ家屋問題ニ付テハ、平常時ノ考ヘ
方ニ基ク立法ノミデハ、到底満足スル譯ニ
ハ行カヌノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘ
ルノデス、申スマデモナク、本邦都市ノ防
空上最モ弱點トスル所ハ、木造建物ノ密集
團デアリマシテ、而シテ借家法ノ對象トナ
リマス所ノ家屋ノ大部分ハ木造家屋デス、
是ハ東京、大阪其ノ他大都市ノ中ノ殆ド九
割ト言ツテモ宜イ位ガ木造家屋ダト思フ、
是等木造家屋ノ改修ニ付テ、即チ防火建築
ニシナケレバナラヌト云フコトニ付テハ、
先年來政府當局ニ於テ色々努力シテ居ラレ
ルヤウニ承ツテ居リマス、併シ何等適當ナ
法の根據ガナイ爲ニ、此ノ事業ニ付テハ相
當困難ヲ伴ツテ居ルヤウデアリマス、而モ
他面ニ於テ本法ニ依ツテ借地借家法ノ權利ガ
益、強化ヲ加ヘテ參ル、即チ借家法第二條以
下所定ノヤウニ、一度土地賃貸人ガ建物ヲ建
築シマシタ以上ハ、其ノ家屋ノ朽廢スルマ
デ半永久的ニ、防空防火ノ見地カラ見テ最
モ危險視サレマス所ノ木造家屋モ、是ガ改
修スルコトハ思ヒモ寄ラヌト云フヤウナ狀
況ニナルト思フ、全ク土地ノ所有者ハ、自
分ノ所有地ノ上ニ防火建築ヲ計畫致シマシ

テモ、一指モ染メルコトが出来ナイヤウニナルノデハナイカト思フ、更ニ家屋ノ所有者モ借家法改正法ノ第一條ノ二以下ノ規定ニ依リマシテ、借家人ヲ立退カシムルコトガ不能ニ陥リマスガ爲ニ、防火建築ニ改修スルト云フ機會ヲ得ナイコトニナツテシマフト思フ、即チ現在ノヤウナ、而シテ是カラ此ノ本法ガ施行サレルヤウナコトニナリマサル後ニ於キマシテハ、政府ノ力ヲ以テシマシテモ、民間ノ企テ致シマシテモ、現在都會地家屋ノ、先程申上ゲル通り殆ド九割近キ多數ヲ占メル所ノ木造家屋ヲ防火建築ニ改修スルト云フヤウナコトハ不可能ノ状態ニナルノデアリマス、内務當局ニ於キマシテハ之ニ對シテドウ云フ御對策ヲ有シテ居ラレマスカ、之ヲ一ツ承リタイ、聞ク所ニ依リマス、政府ハ防火改修法ヲ今議會ニ御提案ナサルコト云フコトヲ曾テ承ツタコトガアルノデアリマスガ、今ニ其ノ實現ガゴザイマセヌ、恐ラク是ハ今期議會ニハ提案セラレナイコトデアラウト存ズルノデアリマス、隨テ此ノ借家法改正ニ際シマシテハ、地主又ハ家主ガ防火改修ヲナス場合ニ於テハ、何等カノ規定ヲ其ノ中ニ織込シテ、幾分デモ防火改修促進ニ寄與スル所ガアツテモ當然デヤナイカト云フ風ニ考ヘラレルガ、此ノ點ニ付テ内務當局ノ御意向ヲ先ヅ承ツテ見タイ

○藤岡政府委員 御答申上ゲマス、御説ノヤウニ現在ノ大都市ノ防空上ノ最も大キナ弱點ハ、木造家屋、即チ可燃焼家屋ガ櫛比シテ居ルト云フ點デアリマシテ、防空體制ヲ擴充致シマス上ニ於テ先ヅ第一ニ解決シナケレバナラヌ問題ハ、此ノ問題デアラウト考ヘテ居リマス、私共モ、新聞ニモ見エテ居リマシタ通り、今議會ニ防火改修法ヲ提案致シタイト實ハ準備ヲ進メテ居ツタノデアリマスルガ、會期等ノ關係デ準備ガ整ハナクテ、提案ノ運びニ至ラナカッタコトハ洵ニ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ防火改修ト借家借地法案トノ關聯ニ於キマシテ、家主ガ防火改修ヲ希望スルニ拘ラズ、借家人ガソレヲ希望シナクテ防火改修ガ出來ナイヤウナ場合ガアツテハナラヌカラ、ソレヲ解決スルニ何等カノ法條ヲ設ケレバ宜イデヤナイカト云フ御説ノヤウデアリマスガ、私共ノ見解ト致シマシテハ、防火改修法デ以テ強制スルノガ根本的ナ問題デアリマスルガ、併シ此ノ借家法ニ左様ナ條文ヲ置キマシテ、借家人ガソレヲ拒ムコトガ出來ナイト云フヤウニ規定シナクモ、實ハ此ノ防火改修ヲ施シマシテ利益ヲ受ケル者ハ勿論家主モ其ノ利益ヲ蒙ルノデアリマスルガ、中ニ住ム借家人ノ方ガ最も痛切ニ空襲カラ免レル利益ヲ受ケルノデアリマシテ、サウ云フ利益ヲ自ラ拒ムト云フヤウナコトハ豫想シナクテモ宜イデヤナイカト考ヘテ、此ノ法案ニ左様ナ條文ヲ入レルコトハ實ハ私ノ方デ希望ヲ致シテ居ラナイノデアリマス、何分現在ノ防火改修ハ僅カニ補助金ト勸奨ノ方法ヲ以テ進シテ居ルノデアリマシテ、是ガ所期通り進メバ宜イノデアリマスルガ、進マナケレバ何トカ法的根據ヲ以テ強制シ得ルヤウナ方法モ講ジナケレバナルマイト考ヘテ、先般申上ゲマシタヤウニ實ハ防火改修法ト云フ法律案ヲ出ス必要ガアルノデハナイカトマデ考ヘタノデアリマス、此ノ點十分研究致シマシテ、現在ノ時局下ニ於ケル大都市ヲ空襲カラ免レルト云フ方途ニ關シマシテ、將來ノ方針トシ

テ善處シテ參リタイト考ヘテ居リマス
○松永(東)委員 今藤岡政府委員カラノ御答ヘノ中ニ、防火改修ヲスルコトニ依ツテ借家人モ當然利益ヲ受ケルノデアルカラ、隨テ其ノ改修ニ付テハ何等ノ支障ヲ來サナイデアアラウ、隨テ此ノ借家法ノ儘ヲ行ツテモ差支ヘナイデハナイカト云フヤウナ御答辯デアリマスガ、成程借家人モ當然利益ヲ受ケル、併シ其ノ利益ヲ受ケルマデノ道程ニ即チ改修ヲシナケレバナラヌ、建替ヘシナケレバナラヌト云フヤウナ場合ニ、ドウシテモ之ヲ立退カシムルコトガ出來ナイ、恐ラクハ債務不履行ニ依ラザル限りニ於テハ、立退キヲ強制スル途ガゴザイマセヌ、ソコデサウシタ空襲ニ準備シ對應スル爲ニ家屋ヲ建替ヘナケレバナラヌ、木造建築ヲ更ニ他ノ建築ニ致サナケレバナラヌト云フヤウナ必要ノアル場合ニ、ドウシテモ其ノ企畫ヲ達スルコトガ出來ナイト私ハ思フ、此ノ點ニ付テ、サウ云フ必要ト借家法トノ關係ヲ今一度承リタイ
○藤岡政府委員 現在勸奨シ、又私共ノ期待シテ居リマス防火改修ハ、改築ヲ要シナイ現住ノ儘デ施ス改修ノ方法ヲ實ハ勸奨シ、ソレヲ期待シテ居リマス、防火改修ノ爲ニ改築スルトカ、一時立退カシテ新シク建替ヘルト云フヤウナ方法ノ改修ヲ實ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス
○松永(東)委員 防火建築物ニ改修スルト云フヤウナコトハ御考ニナツテ居ラナイノデアリマスカ

○藤岡政府委員 全然不燃焼ノ建物ニ建替ヘテシマフト云フコトハ望マシイコトデアリマスガ、相在ノ資材ノ關係等カラ致シマシテ、左様ナコトヲ期待スルコトハチヨツト望ミ難イコトノヤウナ氣ガ致シマスノデ、私共ノ今最も力ヲ入レテ居リマス防火改修ハ、現在ノ可燃焼建物ヲ防火的ニ改修スルト云フコトデアリマス、例ヘテ申セバ、外部ヲ「ラス・モルタル」デ仕上ゲマシテ、外カラ燃エ移ツテ來ル火ヲ防グヤウニ改修スル方法ガ最も行ハレ易ク、又實效ガアル方法デアルト考ヘテ居リマス、而モ資材等モソレ程澤山要シナイノデアリマス、ソレガ最も時宜ニ適シタ方法デアラウト、其ノ方法ヲ勸奨シテ居ルヤウナ次第デアリマス
○松永(東)委員 大體内務當局ノ御意向モ分リマシタ、現在ノ資材ノ拂底ノ上カラ已ムヲ得ヌコトハ考ヘマス、更ニ私ハ内務當局ニ御尋ネシテ見タイ點ハ、此ノ火災上危險地區内ノ借地ノ整理統合ヲナサル御意向ハナイカ、御承知ノ通り大都市ニ於キマシテハ、現在消防自動車モ入ラスヤウナ狹隘ナ道路ニ面シテ居リ、長屋アタリガ非常ニ密集シテ居ル所謂火災上ノ危險地區ガ相當澤山アリマス、東京市内ダケデ數百箇所アルト記憶致シテ居リマスガ、斯ウ云フ所ノ借地ニ期限ガ到來シマシタ時、之ヲ現狀ノ儘デ契約ヲ更新シテ行クト云フヤウナ此ノ借地法ノ建前カラ行キマス、何時ニナツテモ所謂不良地區ガ其ノ儘取殘サレルコトニナルノデアリマス、仍テ政府ト致シマシテハ斯ウシタ場合ニハ豫メ其ノ地區ヲ整理シ、サウシテ斯ウ云フ地區ニハ此借ノ地法、借家法等ヲ適用シナイト云フ風ニデモサレヌケレバ、所謂鯨ヶ橋トカ昔ノ萬年町トカ、アア云フ貧民窟ノ集團ノ代表的場所アタリガ、イツマデモ取殘サレルト云フ風ニ考ヘラレルノデスガ、之ニ對シテ内務當局ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマ

スル

○藤岡政府委員、防火的ニ申シマシテモ非常ニ宜シクナイ場所ノ存在致シマスコトハ、今松永委員ノ仰セノ通りデアリマシテ、私共モ一日モ早く其ノ改善ヲ希望致シテ居ルノデアリマスガ、併シ其ノ問題ハ、都市計畫ノ問題デ解決シテ行クベキデアラウト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ借地法或ハ借家法デ以テサウ云フ場所ヲ改善スルト云フ風ニ考ヘテ参リマスコトハ、多少無理ガアルノデヤナカラウカ、ドウシテモ是ハ公ノ權力關係ニ基ク都市計畫デ解決シテ行クベキ問題デアアル、又都市計畫デ解決シテ参リマスレバ現在ノ借家法、借地法ガ現存致シテ居リマシテモ、何等ノ支障ニハナラナイト考ヘマシテ、此ノ兩法案ニ付テ私共左様ナ考ヘテ、入レル積リハナカッタノデゴザイマス

○松永(東)委員 其ノ點ハ能ク分リマシタ、更ニ私ハ此ノ防空施設ニ關シテ内務當局ノ御所見ヲ承リタイト存ズルノデアリマス、申スマデモナク現在ノ戰爭ハ立體戰爭デアリマス、又國家總力戰デアリマス、若シ戰爭ガ始マリマスト國內ノ重要都市ガ空襲ヲ受ケルコトハ、是ハ必至ノ狀況デアリマス、此ノコトハ如何ニ其ノ國ノ空軍ガ優勢デアリマシテモ到底免レ得ナイト云フコトハ、是ハモウ空中作戰ノ本質上當然デアラウト思フ、翻ツテ我が國都市ノ現狀ヲ見マス、防空的ニハ何等ノ考慮ヲ拂ハレテ居リマセヌ、全ク無防備都市ト云ツテモ差支ゴザイマセヌ、假リニ防火ニ付テ考ヘテ見マシテモ、若シ敵ガ數機デモ潛入シテ焼夷彈ヲバラ撒イタト云フコトニナリマシタナラバ、其ノ損害ハ殆ド測リ知ルベカラザルモノガ

アラウト思フ、洵ニ一たび其ノ對策ヲ誤リマシタ時ニハ、都市ハ一朝ニシテ灰燼ニ歸シテ、戰爭遂行ヲ不可能ナラシムルヤウナコトニナラストモ限ラナイ、洵ニ時局ハ極メテ重大デアリマス、故ニ速カニ萬難ヲ排シテ、防空ノ完成ニ邁進ヲセネバナラス時デアラウト存ズルノデアリマス、先般新聞紙ノ傳フル所ニ依リマス、去ル一月十日デアリマシタカ閣議ニ於テ、陸、海、内務ノ三大臣カラ國土防空強化ニ關スル件ヲ閣議ニ上程セラレテ、東條陸相ガ之ヲ代表シテ詳細ナル説明ヲセラレタ、其ノ説明ノ中ニ斯ウ云フコトガ載ツテ居リマシタ、即チ第一ニ「時局ニ鑑ミ緊急必要ナル防空施設ヲ行フ、是ガ爲必要ナル資金及ビ資材ニ關シ、爾他ノ重要問題ト密ニ調整ヲ圖ル」第二ニ「今後凡ニル施策ニハ強度ノ防空上ノ要求ヲ透徹具現ス」云フ此ノ二要項ヲ決定セラレタト云フコトガ、新聞紙上ニ載ツテ居ッタノデゴザイマスガ、其ノ後政府ハ此ノ閣議ニ取上ゲラレタ問題ニ付テ、ドウ云フ對策ヲ御執リニナリマシタカ、之ヲ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマス、先般本院ニ提案セラレマシタ追加豫算中ニハ、軍防空費ト申シマスカ、即チ軍ノ防空——例ヘテ言ヒマスト防空飛行隊或ハ高射砲隊、防空氣球隊ト云フヤウナモノデアリマス、之ニ對スル經費ニ付テハ相當ノ數額ガ計上サレテ居ルノデアリマスガ、國民防空所謂官民ノ空襲ニ因ル危害ヲ防遏シ、又輕減スル爲ニ監視、通信、警報避難、防衛、救護、配給ト云フヤウナコトデアリマスガ、此ノ國民防空ニ關スル經費ノ計上ガナイ、是ハ洵ニ寒心ニ堪ヘナイ所デアリマスガ、國民防空施策ハ軍防空ト唇齒輔車ノ關係ニアル、其ノ重要部分ヲ整備スルト云フコトハ即チ兵器彈藥ヲ整備スル

ノト同様ノモノデアラウト存ズルノデアリマス、若シ此ノ國民防空ニ缺陷ガアツテ、重要都市竝ニ要地ガ大ナル被害ヲ蒙ルト云フコトニナリマス、洵ニ由々シキ結果トナルコトハ申スマデモゴザイマセヌ、所ガ我が國ノ國民防空ハ、今尙ホ其ノ施設ニ於キマシテモ、資材ニ於キマシテモ極メテ不十分デアアル、此ノ現狀ヲ以テシタナラバ明日ノ防空ニ完全ナル確信ヲ持ツト云フコトハ、是ハ何人モ言ヒ得ナイコトデアラウト存ズルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付テ政府ハドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレルノデアリマセウカ、之ヲ一ツ承ツテ見タイト思フノデアリマス

○藤岡政府委員 我ガ國ノ國民防空ノ體制ガ極メテ脆弱デアリマスコトハ、只今松永委員ノ御指摘ニナツタ通りデアルト私共モ考ヘテ居リマス、就キマシテハ、今御説ニアリマシタ通り、先般閣議ヲ以テ國土防空強化ニ關スル施策ヲ決定ガアツタ次第デゴザイマス、軍ニ於キマシテモ追加豫算ニ於テ軍防空ノ擴充ノ經費ヲ組ンデ居ルノデアリマス、軍防空ニ即應シテヤラナケレバナラナイ民防空ニ於キマシテモ、相當行フベキモノガアルコトハ、是ハ現實ノ事實トシテ私共モ其ノ必要ヲ痛感致シテ居ル、就キマシテハ實ハ追加豫算ニ必要ナル經費ヲ計上シタク準備ヲ進メテ居ッタノデアリマスルガ、遽カニ違法デナイ限リ追加豫算トシテ組ムモノハ第二豫備金ノ方ニ繰入レテ、其ノ代リ第二豫備金ノ方ニ繰入レテ其ノ代リ第二豫備金ノ方ヲ相當額増額シテ計上スルト云フ方針ガ決マリマシタノデ、追加豫算トシテ民防空ノ擴充ノ豫算ヲ本議會ニ提

案シナカッタノデアリマスガ、閣議決定ノ次第モゴザイマスノデ、此ノ各項目ヲ實際ニ具現シテ参リマスル爲ニ、豫備金等ノ支出ヲ願ツテ時局ノ要求ニ應ジテ参リタイト思フノデアリマス

○松永(東)委員 サウシマス大體第二豫備金カラ支出サレル御考デアルヤウニ承リマスガ、ドノ位ノ額ヲ全國ノ國民防空費ニ割當テルト云フ御考ヘデアリマスカ、ソレヲ一ツ承リタイト思ヒマス

○藤岡政府委員 防空ノ施設ニ關シマシテハ洵ニ廣汎多岐デアリマシテ、色々ナ資材ガ必要デアリマスノデ、其ノ資材ノ見透シヲ付ケテ掛リマセヌト、唯金ダケデハ解決ガ致シマセヌノデ、物動計畫ト配合セテ考ヘマシテ、豫備金支出等ヲ願ヒマスル場合ニモ、先決問題トシテ此ノ問題ヲ解決シテ参ラナケレバナラヌノデアリマスガ、何セマダ物動計畫ハドレダケ此ノ方面ニ掛ケ得ルカト云フ見透シガ付キマセヌノデ、今茲ニドレダケノ額ヲ豫備金カラ支出ヲ願フト云フコトヲ申上ゲル時期ニ達シテ居リマセヌコト、洵ニ遺憾ナ點デアリマス、此ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

務當局ニ於キマシテハ左様ナ計畫ガ立ツテ居ルノデアリマセウカ、ソレヲ一ツ承リタイノデアリマス

○藤岡政府委員 防空ノ對策ト致シマシテハ、抽象的ニハ是ハ計畫ガ立ツテ居ルノデアリマシテ、毎年年度計畫トシテ其ノ地方ニ適應シタ防空計畫ヲ立テ、所謂永年ノ根本計畫トシテ對策ヲ立テ、其ノ對策ヲ內務省ニ稟議サセマシテ、サウシテ能ク其ノ內容ヲ檢討シテ、是デ宜カラウト云フ指導方針ハ決定致シテ居ルノデアリマス、併シ斯ウ云フ風ニ時局ガ緊迫シテ參リマスルト、今マデノヤウナ指導方針ノ仕方デ以テハ、時局ニ副ハナイノデハナイカ、所謂緊急對策ト云フモノヲ立テナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ緊急ノ對策ト致シマシテハ、全國ノ如何ナル地方ニ於キマシテモ、同様ノ方策ヲ立テルト云フコトハ、是ハ宜シクナイノデアリマス、防空上最モ重要ナ都市、所謂防空重要都市ト云フモノガアルノデアリマス、防空重要都市ヲ選定致シマシテ、其ノ防空重要都市ノ中ニ於キマシテ、何ガ最モ弱點アルカト云フコトヲ見マシテ、サウシテ其ノ弱點ヲナクスルヤウナ方策ヲ、實ハ指導シテ居ル次第デアリマス

○松永(東)委員 御尤モデアリマシテ、斯ウ云フ緊迫シテ居リマスル所ノ情勢下ニ於ケル防空ニ付テハ、內務當局トシテモ相當御苦心遊バサレテ居ラウト信ズルノデアリマス、所ガソレニ致シマシテモ政府當局ガ國民防空ニ關スル經費トシテ、當初豫算ニ計上サレマシタ額ガ頗ル少額ニ失シハシナイカ、斯ウ云フ風ニ私共ハ考ヘルノデアリマス、此ノ僅カバカリノ金額デ全國國民

ノ防空ヲ賄ツテ行クト云フコトハ、到底國民ヲシテ安ンゼシメルコトハ出來ナイト私ハ思フノデアリマス、而モ此ノ經費ヲドウ云フ風ニ配分セラレルカ、是ハ餘程實情ニ即シテヤランケレバナラストデアリマスガ、此ノ問題ニ付テハ只今藤岡政府委員ヨリ御話ガアリマシタ通り、洵ニ其ノ土地土地ニ依ツテ、所謂防空重要都市ニ對シテハ、其ノ重要都市ニ對スル通りノ、即應スル施設ヲヤランケレバナラスト云フコトモ、能ク分ツテ居リマス、所ガ今日マデハサウ云フモノガナカツタ、是ハ一例ヲ申上ゲマス、私ノ郷里ハ九州ノ長崎縣ノ雲仙山ノ中腹デスガ、昨年モ一昨年モ此ノ雲仙山ノ中腹デ一町離レテ所ヘ一軒家ガ立ツテ居ルトカ、二町離レテ居ル所ヘ二、三軒バラ／＼ト立ツテ居ルト云フヤウナ村方デ防空訓練ヲヤツテ居ル、サウシテ村ノ青年其ノ他殆ド全部ガ總出ニナリマシテ、一昨年モヤリマシタガ、昨年モ一週間バカリ防空訓練ヲヤツタ、而モ其ノ時期ハ丁度田ノ草取ノ眞盛りデ洵ニ俗ニ謂フ猫ノ手デモ借りテ仕事ヲシナケレバナラスト云フ時分デアツタ、ソレガ朝カラ晩マデ一週間モ防空訓練ヲヤツタ、丁度其ノ時私ハ行合ハセマシタ、所ガ村長及ビ村會議員等ガ集マツテ來マシテ、一體斯ウシタコトヲ政府デ吾々ニヤラセルト云フコトガドウニモ腑ニ落チヌ、成程東京デアルトカ或ハ重工業ノ都市デアルト云フコトナラ、是ハモウ至レリ盡セリノ訓練ヲヤツテ居ランケレバナラストケレドモ、此ノ雲仙山ノ中腹ノ一町離レテ家ガ一軒二軒シカナイ所ニ人間ヲ驅リ集メテ、サウシテ一週間モ防空訓練ヲヤラレテ見タツテ、敵機ガ假ニ此ノ上空ヲ來マシ

タ場合ニ、ドウゾ拜ミマスカラ、頼ミマスカラ此ノ上空ニ爆彈ヲ落シテ下サイト言ツテ頼ンデ見マシタ所ガ、爆彈一箇數千圓カ數萬圓カスルト思ヒマスガ、幾ラ醉興ナ敵機ダツテ落シツコナイ、ソレダノニ斯ウシテ吾々一生懸命ニ働カナケレバナラスト人間ニ、一週間モ五日間モ朝カラ晩マデ防空訓練ヲヤルト云フコトハ、ドウシテモ吾々ハ腑ニ落チヌト云フコトヲ私ニ懇ヘテ來タ人ガアツタ、正ニサウデアル、斯クノ如ク全國畫一的ニ防空訓練ヲサセルナント云フコトハ、是ハ當局トシテモ相當ニ御考ヘニナラナケレバナラスト私ハ思フ、ソコデソレハ兎ニ角ト致シマシテ、內務當局ト致シマシテハ此ノ緊迫化ノ情勢ニ於テ、當初豫算ニ本年度御要求ニナリマシタ位ノ少額ノ經費デ、國民防空ガ足レリト御承知ニナツテ居ルノデアリマセウカ、ソレヲ一ツ承ツテ見タイ

○藤岡政府委員 防空ノ問題デゴザイマシテ、是デ以テ十分ダト云フ限度ハ、恐ラクナイノデハナイカト思ヒマス、多々益、辨ズルコトハ申スマデモナイノデアリマス、併シ先般モ申上ゲマシタヤウニ資金計畫、資材計畫等ニ製付セラレマシテ、消化シ得ル限度ガアリマスカラ、本年度ノ當初豫算ハ、大體昨年度ノ倍額ヲ計上シタヤウナ次第デアリマス、而モ此ノ豫算ノ配付ノ方法ニ關シマシテハ、昨年度ハ大體ニ全國ニ平均ニ參ツテ居ツタノデアリマスルガ、十六年度豫算ハ防空重要都市ニ重點ヲ置イテ、豫算ヲ配付シテ參リタイト思ツテ居リマスノデ、少クトモ防空重要都市ニ於キマシテハ、諸般ノ施設ハ、餘程躍進スルデアウト思ヒマス、ノミナラズ此ノ緊迫シタ時局ニ、是

非緊急ニ實施シナケレバナラスト云フ問題ニ付キマシテハ、先般申上ゲマシタヤウニ資材、資金等ノ關係ヲ能ク見定メマシテ、豫備金ノ方カラ支出ヲ願ツテ、其ノ要求ヲ充シテ行キタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○松永(東)委員 私ハ次ニ斯ウ云フコトヲ御尋ネシテ見タイノデアリマス、現在各都市トモソレ／＼時局ニ鑑ミマシテ、應急對策ヲ樹立シマシテ、現ニ各市會ニ於テ審議中デアル、東京市ノ如キモ五箇年間ニ、ザツト三億圓ノ經費ヲ投ズルヤウニ決定致シマシテ、差當リ第一年ノ分トシテ目下開會中ノ市會ニ、追加豫算トシテ千六百萬圓ヲ提出シテ居ルノデアリマス、然ルニ此ノ計畫ヲ實行致シマスノニハ、總テ政府ノ協力援助ガナカツタナラバ、到底遂行スルコトガ出來ナイノデアリマス、政府ノ協力援助トハ一體何ヲ言フカト云フト、即チ國庫カラ補助金ヲ出シテ戴ク、第二ニ起債ノ認可ヲ急速ニシテ戴ク、資材ノ配給ヲ極メテ迅速ニシテ戴ク、斯ウ云フコトデアリマスガ、先ヅ補助ニ付テ申上ゲマス、各都市トモ防空ノ爲ニ相當多額ノ經費ヲ負擔シテ居リマスノデ、之ニ對シテ國庫ヨリ防空法ニ依ツテ、二分ノ一以內ノ補助ヲナスヤウニ定メラレテ居ルノデアリマスケレドモ――二分ノ一以內ト云フコトニナツテ居リマスカラ、是ハ法規上差支ヘノアルコトデアリマス、ケレドモ、二分ノ一以內ト規定シテアル中デ、實際ハ三分ノ一ハオロカ、二十分ノ一位ナ少額ノ補助ヲ與ヘテ居ラレル、試ミニ之ヲ東京市ノ例ニ依ツテ見マス、貯水槽設備費補助ガ五分ノ一、消化栓設備費補助ガ十分ノ一、小型消防ポンプ設備費補

助ガ十分ノ二・九、随用「ポンプ」設備費補助
ガ百分ノ五・三、防毒面設備費補助ガ三分ノ
一、以下色々アリマスガ、洵ニ少額ナ補助ヲセ
ラレテ居ル、甚ダシキニ至ツテハ今申上ダ
タ通り二十分ノ一トカ、二十分ノ一ニモ足
ラヌ位ナ少額ナ補助ヲシテ居ル、輦轂ノ下
ノ東京市デアリマス、申スマデモナク政治
經濟ノ中心地トシテノ東京市ニ對シマスル
所ノ政府ノ補助ハ、サウ云フ少額ナ補助ヲ
以テシテ、是デ十分ダト云フ風ニ御考ヘニ
ナツテ居ルデアリマセウカ、長多イコト
デアリマスケレドモ、皇居ノ在シマス都市
デアリマス、此ノ東京市ノ防空施設ヲ、自
治體ニダケ任セテ置クト云フ譯ニハ到底行
カナイト、私ハ考ヘルデアリマス、寧ロ

ソレカラ次ハ資材ノ配給デアリマス、御
承知ノ通り資材ノ配給ハ、先ズ軍需ヲ第一
ニシ、其ノ次ガ官需デアリマス、其ノ次ニ
民需ト云フヤウナ順序ニナツテ居ルヤウデ
アリマスガ、此ノ順序デ此ノ事業ニ對スル
所ノ資材ヲ配給致スト云フコトニナリマス
ト、到底完全ナ施設ハ出来マセヌ、此ノ事
業ニ限ツテハ政府當局ニ於カレテハ、軍需
ト同一ノ御見解ノ下ニ、優先的ニ配給ヲシ
テ戴クト云フコトデナケレバ、完全ナ防空
施設ト云フモノハ、思ヒモ寄ラヌコトダト
考ヘルデアリマス、此ノ點ニ對スル内務
當局ノ御意見ヲ承ツテ置キマス

トシタ建前ニナツテ居ルデアリマス、此
ノ方針デ進ム以上、全部防空上ノ經費ヲ、
國庫デ負擔スルト云フコトハ出来ナイコト
ハ申スマデモアリマセヌ、併シ國庫ニ於テ
補助ヲ増額スレバ、ソレダケ實現ガ可能デ
アルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、
法ノ許ス範圍ニ於テ、國庫ノ補助ヲ増額シ
テ行クヤウニ、私共將來トモ努力ヲ續ケテ
参リタイト存ジテ居リマス

テ居ルヤウナ現状デゴザイマスノデ、御示
シノ通り防空ハ非常ニ差迫ツタ問題デア
ルト、吾々モ痛感致シテ居リマス、將來ハ關
係筋ニ對シマシテ、出来ルダケ防空ニ對ス
ル資金ヲ潤澤ニシテ貰フヤウニ、努力ヲ致
シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ起債ガ非常
ニ遅レルト云フ御話ガゴザイマシタガ、昨
今ハサウ云フコトハナイト思ヒマス、若シ
アリトスレバ、只今御話致シマシタ資金ト
カ、或ハ物資ノ見透シガ付カナイ爲ニ、其
ノ見透シヲ待ツテ許可スルト云フノモゴザ
イマスガ、御話ノ通り遅レマスコトハ甚ダ
不都合デゴザイマスノデ、此ノ點ニ付キマ
シテハ十分督勵ヲ致シマシテ、早く認可致
スヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○松永(東)委員 兩政府委員ノ御答辯デ此
ノ點ハ私満足致シマス、モウ一ツ最後ニ承
ツテ置キタイノハ、政府補助ノ對象トナツ
テ居リマスル事業ガアリマス、即チ先程一
寸申上ゲタ色々ナ貯水槽トカ、消火栓トカ、
小型消防「ポンプ」トカ云フヤウニ、色々補助
ノ對象トナツテ居ル事業ガアリマスガ、是
ダケガ防空設備デハゴザイマセヌ、マダ呼
水裝置モアリマセウシ、或ハ防火用水道ヲ
造ルトカ、或ハ隧道ヲ造ルトカ、或ハ電氣
トカ、水道下水等、斯ウ云フモノノ防空對
策トシテノ補助ヲセナケレバナリマセヌ、
サウシタ事業ニ對シテモ、ヤハリ補助ヲシ
テ戴クヤウニ、此ノ補助ノ對象タル事業ヲ
擴張スル必要ガアルデアリナイコト云フ風
ニ、私ハ考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ對ス
ル當局ノ御意向ヲ承リタイ、而シテ右申上
ゲマシタ此ノ補助ノ對象トナツテ居リマス
ル事業ヲ擴張シテ、サウ云フ擴張セラレタ
部分ニ對シテ、ヤハリ政府ノ力ニ依ツテ國

更ニ又起債ノ認可ニ付テ御心構ヘヲ承ツ
テ置キタイノデスガ、此ノ事業ハ性質上極
メテ急速ノ完成ヲ必要トスルノハ勿論デア
リマス、即チ先般ノ當院ノ祕密會ニ於テノ
總理大臣、陸軍、海軍兩大臣ノ御話ニ依リ
マシテモ、イツ何時戰爭ガ起ラヌトモ限リ
マセヌヤウナ緊迫セル狀態ニアルノデゴザ
イマス、斯ウ云フ緊迫下ニ於ケル此ノ防空
事業ヲ達成スルノニハ、起債ノ認可ヲ仰ギ
マス時ニハ、急速ニ許可ヲシテ戴カナケレ
バ到底事業ヲ完成スルコトハ出来マセヌ、從
來ノ例ニ依リマス、内務省大藏省アタリ
ガ——是ハドナラノ御都合デアアルカハ、
色々其ノ時其ノ場合ニ依ツテ違ヒマセウケ

達ノ村ハ自分達ノ守ルト云フコトヲ、精神
達ノ村ハ自分達ノ守ルト云フコトヲ、精神

達ノ村ハ自分達ノ守ルト云フコトヲ、精神

達ノ村ハ自分達ノ守ルト云フコトヲ、精神

達ノ村ハ自分達ノ守ルト云フコトヲ、精神

庫カラ補助シテ戴クト云フコトノ外ニハ、到底此ノ儘デハ東京ハ勿論ノコト、其ノ他ノ六大都市ニ於ケル完全ナル設備ハ出来ナイト存ズルノデゴザイマスガ、之ニ付テノ當局ノ御意向ヲ承リタイ

○藤岡政府委員 現在補助ヲ致シテ居リマスル種目ハ、是ハ差當リ其ノ促進ト完成ヲ俟チマス爲ニ、サウ云フ種目ニ補助ヲ致シテ居ルノデアリマシテソレ以外ノモノニ補助シナイト云フ趣旨デナイノデアリマス、他ノ重要ナルモノニモ、國庫ノ財政ノ許ス限リ補助ヲ擴張シテ行キタイト存ジテ居リマス、元々防空ノ根本目標ハ、空襲下ニアリマシテモ、又空襲ヲ受ケタ後ニ於キマシテモ、國家社會ノ機能ガ、チツトモ支障ナク行ハレルト云フコトニ、主眼點ヲ置イテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニハ凡ユル施設ガ、假令空襲ヲ受ケマシテモ、少シモ機能ニ影響ノナイヤウニスルノガ、防空ノ本體デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、左様ニ考ヘテ參リマス、防空ノ施設シナケレバナナイ對象トフモノハ、非常ニ廣汎ニ考ヘラレルノデアリマス、併シ總テノモノヲ一度ニ理想人域ニ持ツテ參ルコトハ、不可能デアアルコトハ申スマデモナイノデアリマス、入刻申上ガマシタヤウニ、先ヅ敗ズ何ヲ措イデモ、早く實現シナケレバナラヌト考ヘマスルモノカラ、逐次補助ヲ致シマシテ、其ノ完成ヲ促シテ居ルヤウナ次第デアリマス、就キマシテハ今後補助ノ對象ハ、相當擴張セラレデアラウト云フコトハ、當然豫想シテ宜イ譯デアリマス

○松永(東)委員 大體内務當局ノ御意向モ能ク分リマス、而シテ防空事業ニ對スル御熱意ノ程モ、能ク諒承致シマシタ、更ニ最後ニ御尋ネヲシテ置キタイノデスガ、私ハ東京市ノ現在ノ防空計畫、竝ニ此ノ計畫ニ要スル本年度ノ豫算、先程申上ガマシタ此ノ位ノ計畫デハ——是ガ完全ニ政府ノ御協力ニ依ツテ實現シタト致シマシテモ、到底此ノ程度デ、帝都ノ防衛ヲ全ウシ得ラレルモノデアルトハ考ヘラレナイノデアリマス、申スマデモナク帝都ノ死活ガ、皇國ノ興廢タルコトハ、是ハモウ言フヲ要シナイ、洵ニ考ヘレバ考ヘル程、非常ニ心痛シナケレバナラヌ問題ダト思フノデス、私ノ考ヘ方カラシマス、東京市ノ此ノ位ノ計畫ハ、是ハ餘リニ少キニ過ギルト思ツテ居ル、モウ少シ之ヲ強化シ、倍加シテ行ツテ、皇居ノ在シマス都市デアルニ相應シイ施設ヲシナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、政府トシテハ先程一寸申上ガマシタヤウナ、五箇年三億圓程度ノ計畫位ノ防空施設デ、完全ダト云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカドウカ、更ニ今一步強化スルト云フ風ニ考ヘテ居ラレルカ、ソレヲ一ツ最後ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○藤岡政府委員 東京市デ考ヘテ居ラレマスル五箇年三億圓計畫ト云フモノノ内容ハ實ハ私共存ジテ居リマセス、是デ以テ完全デアルトカ、或ハモツト進メナケレバナラヌト云フヤウナ批評ハ、内容ヲ知ラナイデ申ス譯ニハ參リマセヌカラ、此ノ點差控ヘマス

○松永(東)委員 御尤モデス、私ガ内容ヲ細カニ申上ガマセデシタカラ、御分リニナラヌノハ當リ前デスガ、併シマダ御質問ヲナサル人ガ澤山居ラレルノニ、私ガソナ風ナ細カナコトヲ申上グル餘裕ガアリマセデシタノデ、唯ソレヲ斯ウ云フ風ニ承ツ

テ置キタイノデアリマス、東京市ノ特殊性ヲ御認メニナルカ、即チ各都市——大都市ニ拘ラズ小都市ト雖モ、防空重要都市デアルトハ是ハ御承知ノコトデアリマス、其ノ重要性ニ從ツテソレノ施設ヲナサラナケレバナラヌコトハ、申スマデモナイコトデアリマスガ、其ノ中ニ、先程申上ガタ通り、東京市ハ、畏多イコトデアリマスケレドモ、陛下ガオイデニナル所デアリマス、經濟ノ中心地デアリ、文化ノ中心地デアリ、總テノ中心地デアルト云フコトニ依ツテ特ニ特異性ヲ御考ヘニナツテ居ルカドウカ、更ニ之ニ付テハ自治體ニ任シテ居ルベキデハナイ、政府ガ手ヲ出シテ殆ド政府ガ主體トナツテ、防空施設ヲシナケレバナラヌト云フ程度マデ御考ヘニナル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御考ヘヲ伺ヒタイ

○藤岡政府委員 東京ハ帝都デアアル、且ツ政治、文化、經濟、總テノ中樞デアアルノミナラズ、我が國高度國防國家ノ建設上最モ重要ナ役割ヲ演ジテ居ル軍需工場ニ於キマシテハ、最モ多ク此ノ地方ニ存在シテ居リマス關係上、勿論他ノ諸地方ト特異的ノ扱ヒヲシナケレバナラナイモノデアルト云フコトハ私モ深く信ジテ居ル所デアリマス、就キマシテハ此ノ重要ナ東京ノ防空ニ關シマシテハ政府ト致シマシテモ一段ト力ヲ入レテ參ラナケレバナラナイモノデアルト信ジテ居リマス

○松永(東)委員 諄々シク申上グル時間ガアリマセヌノデ、私ハ之ヲ以テ質問ヲ打切リマス

○江原委員長代理 仲井間君

○仲井間委員 刑法ノ改正案ニ付テ二、三

簡單ニ御伺ヒ致シマス、最初ニ御伺ヒ致シマスルノハ、改正案ノ百九十七條ノ四ニ「公務員其地位ヲ利用シ他ノ公務員ノ職務ニ屬スル事項ニ付」ト書イテアル、其ノ最初ノ「公務員其地位ヲ利用シ」ノ公務員ト「他ノ公務員」トノ關係デアリマス、本會議ノ次官ノ御答辯デハ同僚ダト云フコトヲ言ハレテ居リマシタガ、其ノ同僚ダケデハ納得ガマダ行キニクイノデアリマス、公務員ト云フ資格ノ付クアリト凡ユルモノガ今日此ノ改正ヲ見テ、非常ニ疑惑ト言ヒマセウカ、非常ニ恐怖ヲ感ジテ居ルノデアリマス、此ノ範圍ヲ明確ニシテ戴カナイトイケナイト思ヒマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○大竹政府委員 次官ガ本會議デ御答ヘ申上ガマシタノハ、此ノ規定ノ中ノ最モ典型的ノ場合ヲ例示的ニ舉ゲテ御答ヘニナツタモノデアラウト推察シテ居リマス、茲ニ公務員トアルノハ、ソレハ申上グルマデモナク刑法第七條ニ書イテアル公務員デアリマス

○仲井間委員 公務員ノ定義ヲ御聽キスルノデハナクシテ、或ル公務員ガ或ル公務員ニ對シテ「斡旋ヲ爲シ又ハ爲シタル」行爲ニ付テ賄賂ヲ收受スル、實例ヲ申シマスレバ衆議院議員モ公務員デアリマス、衆議院議員ガ司法省ニ就職ノ交渉ヲ頼マレマシテ、是ハ人事關係デアリマスガ、其ノ人ヲ採ツテ貫フノハ司法省ノ役人デ、詰リ職務ニ關係ガアル、採用サレマシタ後、或ハ採用サレテ前ニ其ノ斡旋ヲシタ議員ガ御馳走ヲ戴クト云フタ場合ニモ、其ノ衆議院議員ハ其ノ地位ヲ利用シタト云フ公務員ノ範圍ニ入ルカ入ラナイカ

○大竹政府委員 公務員ト云フモノノ中ニハ司法省ノ官吏モ衆議院議員ヲ入ルト思ヒ

マス、併し其ノ今ノ御引例ノ場合ニ於キマシテハ、斡旋ヲナスコト自體ヲ決シテ本條ハ犯罪ト見テ居ナイノデアリマス、斡旋ヲナシタコトニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求シタリ約束スルコトヲ犯罪ト見テ居ル次第デアリマス、而シテ只今ノ御引例ノヤウナ場合ニ於キマシテハ是ハ賄賂性ヲ持ツテ居ナイノデヤナイカ、社交的儀禮ノ範圍内ニ入ルコトハ、是ハ賄賂トハ稱シ得ナイモノデアアル、斯フ云フヤウニ解釋致シテ居リマス

○仲井間委員 説明ガ拙カツタカモ知レマセヌガ、御馳走デハナイ、從來ノ法律ノ見解カラ云ヘバ十分ニ賄賂トナルベキ金錢ノ授受ガアツタ場合、議員ガ役人ニ就職ノ紹介ヲスル場合ニ、其ノ運動費ト云フカ、報酬ト云フカサウ云フモノヲ賁ツタ場合賄賂ガ成立スルカ、斯フ云フ條件ガ成立スルカ

○大竹政府委員 斡旋自體ヲ犯罪ト見テ居リマセヌカラ、其ノ犯罪デナイ行爲ヲナス爲ニ必要ナル費用、例ヘバ旅費デアルトカ宿泊料トカ云フモノハ當然許サレタ範圍ニ入ルト思ヒマス、寧ロ御尋ノ問題ハ「其ノ地位ヲ利用シ」ト云フコトニモ重大ナ關係ガアルノデヤナイカト思ヒマスガ、此ノ意味ハ或ル一ツノ公務員ノ持ツテ居ル所ノ地位ガ乙ノ公務員ニ對シテ不當ナル威力ヲ及ボシ得ルヤウナ地位ノ關係ニナツテ居ル場合ヲ言フノデアリマシテ、兩者ガ公務員デアレバ直チニソレガ此ノ條文ニ當ルトマデハ考ヘテ居ナイノデアリマス

○仲井間委員 是非非常ニ解釋或ハ又運用ノ範圍ガ漠然トシテ廣イノデゴザイマス、只今ノ政府委員ノ御答辯デハ、具體的ノ場合ニ其ノ地位ヲ利用スル——公務員ガ地位

ヲ利用スルダケノ威力ヲ持ツカ持タヌカト云フコトヲ先ツ前提トシテ、其ノ資格ヲ決メル一ツノ條件内容ヲナスカノヤウニ御答ヘガアツタノデアリマスガ、法ヲ運用スル場合ニハ常ニ其ノ人ガ同ジ衆議院議員デアツテモ、威力ヲ發揮シ得ル地位デアルカドウカト云フコトハ、相手方ノ主觀的心理狀態マデモ考ヘテ見ナケレバ分ラヌノデ、ソレヲ摘發スル所ノ官廳ノ方デハ客觀的ニ中々ソコハ分リニクイ、ソコヲ法文デ判然ト決メテ置カナケレバ、非常ナ不公正ナ遺憾ナ點ガ出テ來ルノデハナイカ、サウスルト謂ハバ衆議院議員デモ官廳ニ人事ノ紹介ヲスル、其ノ他陳情ナリ或ハ色々民間カラ頼マレテ仕事ヲヤツテ、其ノ報酬ヲ賄賂ト見ラレル、利益ヲ得タ場合ニハ先ツ一應ハ皆賄賂ヲ收受シタノダ、斯ウ云フ結果ニナルノデハナイカト思ヒマス、サウシテ具體的ニ是ガ威力ガアルノカドウカ、斯ウ云フヤウナ調べニ入ツテ來ル譯デアリマスガ、衆議院議長位ヘドンナモノデアリマセウカ、豫算委員長トカ、總務トカ、幹部ヲヤツタ、サウ云フ人ノ言フコトヲ聽カナケレバ、一寸議會デ政府ノ豫算アタリデ工合ガ惡イデヤナイカト云フヤウナ、一々威力ト云フモノヲ調べ上ガテ來テ、ソレデ賄賂ガ成立スルカシナイカラ決メルノダト云フ御答辯デハ、司法官ノ裁量ト云フモノハ安定シナイヤウニナルノデアリマス、本當ノ立法ノ精神ト云フモノハ、サウ云フ所ハソレト少シ變ツテ居ルノデヤナイカト思ヒマスガ、モウ一遍其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○大竹政府委員 此ノ「地位ヲ利用シ」ト云フ文字ノ解釋ハ、御説ノ通り極メテ嚴正ニシテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、

此ノ文字ガ假ニナイト致シマス、他ノ公務員ノ職務ニ屬スル云々ト云フコトニシテ考ヘテ見マス、非常ニ又ソレガ廣クナリ過ギテ困ルノデアリマス、何等カソコニ制限ヲ附サナケレバナラナイト思フノデアリマス、ソコデ考ヘ出シタノガ、「其ノ地位ヲ利用シ」ト云フ言葉デアリマスガ、其ノ甲ト云フ公務員ノ地位ガ乙ト云フ公務員ノ職務執行ニ關シテ、或ル種ノ影響力ヲ持チ得ル關係ニアル場合ヲ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○仲井間委員 此ノ法律ノ改正サレマシタ事由ハ、甚ダ僭越デゴザイマシテ、私ノ意見ヲ申上ゲルノハ恐縮デゴザイマスガ、例ヘバ司法省內ニ於テ或ル課長ヤ局長ニ人事ナリ色々御頼ミヲスル、直接御頼ミスルト職責ノ關係ガアルノデドウモ都合ガ惡イ、其ノ法網ヲ潛ツテ、權限デナイ所ノ別ノ課長ヤ局長ノ方ニ御頼ミスルト、其ノ方ノ權限ニ屬シナイ局長、課長カラ、權限ノアル局長、課長ニ交渉スル、サウスルト是ガ實際ニ於テハ非常ニ效キ目ガアル、普段親シク御交リハシテ居リ、能ク事情ガ分ツテ居リマスカラ、本當ノ權限ヲ持ツテ居ル局長、課長ニ御頼ミヲスルト、權限ヲ有セザル同僚ノ他ノ局長、課長ニ御頼ミヲスルト殆ド同様ノ關係ガアリマス、若シ此ノ規定ガナカツタナラバ、他ノ權限ヲ有セザル局長、課長ノ方ハ犯罪ガ成立シナイ、此ノ規定ニ依ツテ成立スル、斯ウ云フヤウナコトヲ對象トスル法意デハナイカト思ハレル、之ヲ廣ク衆議院議員ダトカ、衆議院議員ト司法省トノ關係デアルトカ云フヤウナ漫然タル公務員デアルト云フト、威力ト云フコトハ社會的威力ヲ云フノカ、其ノ人ノ個人

個人——此ノ課長ナラバ其ノ人ノ威力ハ響キガアル、此ノ局長ナラバ響カナイトカ、或ハ大臣ニハ響カナイト云フヤウナ、個々依ツテ違フト思フノデアリマス、ソレヲ取混ゼテ、唯當時ノ其ノ具體的ナ問題ニ付テ客觀的ニ之ヲ判定サレルト、今ハ非常ニ幣害ガアルト思フノデアリマス、今ノ御答辯デ宜イノデアリマセウカ、例ヘバ私ガアタノ方ニ何カ職務ニ關係ノアル賄賂ヲスル、頼マレタ本人カラ私ハ賄賂ヲ受ケタトスル、私ノ賄賂ヲ受ケタコトガ其ノ地位ヲ利用シタカシナイカト云フコトヲ判定スル爲ニ、私ガアタニ對シテ威力ヲ持ツノカ持タヌノカト云フコトヲ、起訴サレタ法廷デソレヲ判定シナケレバナラヌ、ソコヲ狙ツテ居ル法律デアリマスガ、次官ハ本會議同僚ノ間ヲ言フノダト云フ意味ヲ言ハレマシタガ、アノ答辯トアタノ方ノ只今ノ答辯ト、少シ趣旨ガ違ツテ居ルト思フノデアリマス、ソコハ非常ニ重大ナ關係ニナリマスカラ、其ノ點ヲハツキリ伺ツテ置キタイト私ハ思フノデアリマス

○大竹政府委員 次官ガ答ヘラレマシタノハ、本條ノ中最モ典型的ナ、最モ狙ヒトシテ居ル所ヲ例ニ擧ゲテ御答ヘニナツタモノト思ヒマスガ、併シ此ノ條文ヲ前ニ置イテ、此ノ公務員、他ノ公務員ノ職務ニ關シト云フ此ノ二ツノ公務員ノ同僚タル官吏ニ限ルカ、此ノ以外ノモノハ入ラナイカ、斯ウ云フヤウニ御尋ネテ受ケマス、ソレハドウモ入ラナイト云フコトハ申上ゲ兼ネルノデアリマス

○仲井間委員 他ノ同僚ノ方ハ此ノ公務員トシテハ勿論入ルモノダト私モ思フノデアリマスガ、之ヲ飛躍的ニズツト延シテ行ツ

テ、農會ト司法省、衆議院議員ト大藏省トカ、或ハ警視廳、凡ニル公務員ガソレニ網羅サレテ、サウシテ判定サルベキ基本ガ「地位ヲ利用シ」、其ノ「地位ヲ利用」シト云フコトハ威力ガアルカナイカト云フコトニ依ツテ決メルノダト言ハレテハ、是ハ兎ニ角金錢ノ授受、利益ノ授受ガアレバ、皆ソレニ引掛ツテ來テ調ベラレ、ソレハ犯罪ガアレバ勿論調ベラレテモ構ハナイノデアリマスガ、地位ヲ利用シト云フコトハ、其ノ時々、其ノ人ハニ依ツテ違フコトデアリマス、併シ文句ハ兎ニ角ト致シマシテモ、百九十七條ノ四ノ御改正ノ御趣旨ト云フモノハ、ヤハリソコヲ御狙ヒニナツタノデアリマスガ、其ノ凡ニル公務員ノ地位ヲ利用スルコト云フコトハ、其ノ人ノ地位ガ利用サルレバソレハ犯罪ヲ成立スル、サウ云フ御解釋ニナリマス、公務員デナクテモ威力ヲ持ツテ居レバ宜イデアラウ、ナゼ公務員ダケヲ罪スルカ、公務員デナイ威力ヲ持ツテ居ル人ガ公務員ノ職務ニ關シ紹介ヲスル、斡旋ヲスルノト同ジ注意ニナルノデハナイカト思フ、若シサウ云フアナタノ御答辯ノヤウナ趣旨ガ此ノ法意デアリマシタラバ、公務員デナイ威力ヲ持ツ人ガ利益ヲ收受スルコトモ亦一ツノ弊害ニナル、之ヲ此ノ法文カラ抜カシタ理由ハ何處ニアルデアリマセウカ

○大竹政府委員 是ハ贈收賄ノ規定デアリマシテ、贈收賄ハ公務員ト云フコトヲ前提ニシテ來テ居ルコトハ、現行法デモ其ノ通りデアリマシテ、ヤハリ公務ノ廉潔ヲ期スル、斯ウ云フ趣旨カラ出テ、公務員ト云フコトニ限定シテ居ル次第デアリマス

○仲井間委員 公務員ノ職務ヲ公正ニ維持シテ行クト云フコトガ本條ノ法益デアル、

サウ致シマス、公務員ノ地位ニ在ル人ガ斡旋ヲシテモ、公務員デナイ人ガ斡旋ヲシテモ、此ノ公務員デアル人ノ職務ニ關係ヲ及ボスト云フヤウナ傾向デアル、職務ノ公正ヲ維持スルコトガ出來ヌト云フ事情ハ同一デハアリマセヌカ、唯賄賂ヲ收受スルコト云フ資格ガ、公務員ノ收受スルノミガ賄賂デアツテ、公務員以外ノ者ハ收受シテモ賄賂罪ハ成立シナイノデアリマスガ、サウ云フコトカラスルト、公務員デナイ地位ノ人ガ、公務員ノ職務ノ公正ヲ維持シ得ナイ如キ行爲ニ對シテ、制裁ヲシナケレバナラヌト云フ他ノ法律ノ要求ガ茲ニ現ハレテ來ルノデハナイカト思フ、ソコニ少シ矛盾ヲ感ズルヤウニ思フ

○大竹政府委員 御設例ノヤウナ場合ニ於キマシテ、結果トシテ所謂他ノ公務員ノ職務ニ不當ナル勢力ノ及ブト云フコトハ、場合ニ依ツテハアルカト考ヘマス、併シ是ハ贈收賄ノ規定デゴザイマシテ、贈收賄ト云フノハ、ヤハリ公務員ガ取ツタ場合ニ之ヲ罰スルト云フノガ、本來ノ趣旨ノヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○仲井間委員 此ノ點ニ付テノ御答辯ニ對シテハ、ドウモマダ満足シ兼ねル所ガアリマス、モウ少シ私モ研究致シマシテ——公務員ト名ノ付ク範圍ノ者ガ、其ノ地位ヲ利用シト云フ判定トナルベキ根據ト云フモノニ付テ、マダドウモ私ノ疑ヒヲ氷解スルコトガ出來マセヌ、併シ幾ラ御尋ネ致シマシテモ、ソレ以上ニハ出ナイト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ私ハ此ノ程度デ質問ヲ打切りマスガ、マダ他ノ點ニ付テはカラ續行致シタイト思フ

○佐竹委員 一寸關聯シテ……私モ本會議

デ此ノ點ヲ御尋ネ申上ゲタ所、直接ノ御答辯ヲ戴イテ居リマセヌ爲ニ、此ノ際關聯シテ御尋ネヲ申上ゲルコトガ經マツテ都合ガ好イト考ヘマスノデ、御尋ネヲ致シタイト存ジマス、先程御話ニ依リマスレバ、例ヘバ代議士等ガ——勿論第七條ニハ代議士等ガ含マレルコトハ明定致シテ居リマス、其ノ公務員ノ範圍ニ屬スル代議士ガ、他ノ公務員、詰リ役所ナラ役所ノ職務ニ屬スル事項ニ付テ斡旋ヲスル、ソコデ金品ヲ收受シタリ、御馳走ヲ頂戴シタナラバドウナルカ、此ノ質問ニ對シマシテ、例ヘバ晚餐ヲ頂戴スル程度ノモノハ社會的儀禮デ、所謂收賄ニハ相成ラヌダラウト思フ、斯ウ云フ御答辯デアリマシタガ、實際ノ裁判例ヨリ致シマスレバ、例ヘバ五圓、十圓程度ノ御馳走ヲ頂戴シ、晚餐ニ參加致シマシタ等ハ、皆是ハ賄賂ト致シマシテ一般賄賂ニ關シマスル犯罪ニ付テハ、殆ド判例ガ悉ク異例ナク罰セラレル實情ニアリマスガ、只今此ノ御答ヘハ、ハツキリト此ノ案件ニ付テハサウシテ場合ハ社會的儀禮トシテ猛罪デナイモノト、ハツキリ仰セニナルノデゴザイマセウカ、尙ホ確カメテ置キタイト思フ

○大竹政府委員 其ノ饗應ノ金額ナリ、其ノオ五ノ社會的身分ナリ、其ノ他諸般ノ事情ニ依ツテ、社交的儀禮ニ屬スル場合モアリマセウシ、其ノ範圍ヲ脱シテ居ル、即チ賄賂性ヲ持ツテ居ルト解釋サレル場合モアラウカト考ヘマス、本條ニ付テハ饗應ハ賄賂ニアラズ、斯ウ云フ趣旨申上ゲタ積リデハナカツタノデアリマス

○佐竹委員 僅カニ晚餐程度ノモノデモ、殆ドモウ悉ク是ハ饗應ト云フコトニ判定サレテ居リマスコトハ、實例ガ之ヲ示シテ居

リマスノデ、其ノ實例ヨリ致シマスレバ、代議士ガ陳情ニ附イテ行ツテヤツテ、口ヲ利イテヤツタ、ソレデ晚餐ヲ頂戴シタ、是ハ賄賂罪デアルト言ツテ引張ルデアラウト云フコトハ、當然想像シナケレバナラヌコトダラウト考ヘマス、隨ヒマシテ此ノ問題ニ付テハ可ナリ深刻ニ各方面論ゼラレテ居リマスコトモ、私ハ當然ノコトト思フノデアリマス、今一ツ歩ヲ進メテ考ヘマスル時ニ、權限ヲ有スル公務員ニ對シテ、其ノ職務ニ屬シナイ他ノ公務員ガ斡旋ヲ致シマシテ、金品ヲ授受シタナラバ、贈收賄ニナルガ、之ヲ更ニ間接ニ持ツテ行キマシテ、例ヘバ代議士ト云フ公務員ガ直接其ノ職務ニ關與致シテ居リマセヌ例ヘバ局長サンナラ局長サンニ頼ム、其ノ局長サンガ、他ノ課長ニ頼ムダト致シマス、ソレデ成就シタト致シマス、局長サンハ何等ノ收受ヲ致シマセヌ、ソレヲ頼ミマシタ代議士ハ成功ヲシタト云フノデ、例ヘバ金品ヲ頂戴致シマス、此ノ場合ニハ當然罰セラレナイコトニナルダラウト思ヒマスガ、左様解釋シテ宜シイデゴザイマセウカ

○大竹政府委員 局長ヲ通ジテ主管ノ課長ニ斡旋スルト云フコトハ、是ハ斡旋行爲ノ一ツノ方法ト考ヘマス、隨テ本條ニ當ルヤウニ思ヒマス

○佐竹委員 百九十七條ノ四ニハ「公務員其ノ地位ヲ利用シ他ノ公務員ノ職務ニ屬スル事項ニ付」トアル、他ノ公務員ノ職務ニ屬スル事項ニ付テ斡旋ヲシタ、所ガ其ノ代議士ノ頼ミマシタ局長サンハ、直接其ノ事務ニ何等關係ヲシテ居ラヌト致シマス、サウ云ツタ者マデモ悉ク之ヲ罰スルト云フコトニナリマス時ニハ、公務員ガ一ツノ名刺

ヲ付ケル、其ノ名刺ヲ更ニ次ニ付ケル、段
段紹介ヲ經テ、最後ニソレガ成就シマシ
タ時ニハ、全部罰セラレト云フコトニ相
成ルノデアラウト存ジマスガ、如何デゴザ
イマセウカ

○大竹政府委員 只今御尋ネノ例ハ、最初
ノ公務員其ノ人が中間ニ數人ノ人ヲ介スル
ト云フコトハ、其ノ最初ノ公務員ノ斡旋行
爲ノ一ツノ方法ト考ヘルノデアリマス、隨
テ第二、第三ノ人モ、假ニソレガ公務員デ
アツテ、サウシテ斡旋ヲスルト云フコトニ
順次ナツテ行キマスレバ、無論ソレハ賄賂
ヲ貰ツタ場合ノ話デアリマスガ、ソレハ全
部本條ニ當ルコトニナツテ居リマス

○佐竹委員 商工省アタリヘ物資ノ配給ニ
付テ、一ツアナタモ一緒ニ行ツテ貰ヒタイ
ト云フノデ、例ヘバ臺灣カラ熊、付イテ來タ
ト致シマス、旅費、宿泊料程度ハ宜イトシテ、
一箇月モ家ヲ留守ニスルノデハ到底私ハ行
カレナイ、イヤアナタノ一箇月ノ生活ノ補
償ハ致シマスカラ、ト云フノデ、一箇月ノ
生活費ニ相當致シマス日當ヲ受ケタ場合ニ
於テハ、如何相成リマセウカ

○大竹政府委員 御質問ガ甚ダ具體的ニナ
ツテ來マシタノデ、即答申上ゲルト一寸危
イノデハナイカト云フ感ジガ致スノデアリ
マスガ、要スルニソレハ不法ナル金品ノ授
受、即チ賄賂性ヲ有スルカ否カト云フ點ニ
繫カルト思ヒマス、而シテ其ノ賄賂性ヲ有
スルヤ否ヤト云フコトハ、ヤハリ社會通念
ニ依ツテ判定スル外ナイト考ヘマス

○佐竹委員 所謂賄賂ト云フモノノ中ニハ
金品モ含マレマセウシ、或ル地位ノ如キモ
含マレレデアリマセウ、ソコデ例ヘバ商工
省ヘ物資ノ配給ヲ御相談ニ行ツタガ、中々

貰ヘナイ、所ガ或ル代議士ヲ通ジテ相談シ
タ所ガ巧ク貰ヘテ會社ガ成立シタ、ソコデ
オ蔭サマデ會社ガ成立シタカラ、アナタモ
重役ノ中ヘ入ツテ貰ヒタイ、或ハ將來宜シ
ク頼ム、顧問ニナツテ戴キタイと言ツテ、
重役トカ顧問ト云ツタヤウナ地位ヲ與ヘラ
レマシテモ、ヤハリ同様本條ニ依ツテ取締
ヲ受ケルモノダト解スベキダト思ヒマスガ
サウデゴザイマセウカ

○大竹政府委員 ソレモ結局ハ社會通念上
許サレタ程度ノモノト見ルカ、賄賂トシテ
ノ不法性ヲ持ツタモノト見ルカニ依ツテ決
マルベキ問題ト考ヘマス

○佐竹委員 本當ニ依頼ヲ受ケタ場合、例
ヘバ議員等ガ知識や經驗や信用等ヲ持ツテ
居リマシテ、其ノ人ノオ蔭デ仕事ガ成就シ
タヤウナ場合ニ、洵ニオ蔭デ以テ仕事ガ巧
ク出來タ、是非將來トモ何分宜シク頼ム、
斯ウ言ツテ顧問ニサレテ居ル場合、或ハ會
社ノ一ツノ椅子ヲ與ヘラレテ、其ノ會社カ
ラ適當ノ報酬ヲ受ケテ働イテ居リマスヤウ
ナ人々モ、現在可成リアルト思ヒマス、若
シ今ノ御答辯ノヤウニ、サウシタ場合ニ是
ガ罰セラレルコトニ相成リマスレバ、其ノ
及ボス影響ハ實ニ甚大デアルト思ヒマス、
ソコデ私ハ斯ウシタ場合ヲ尙ホ一ツ御尋申
上ゲテ置キタイト思ヒマス、此ノ法律ノ出
來ナイ以前ニ斡旋シ努力ヲシテ、巧イ工合
ニ成功シテ重役ニナツテ居ル、或ハ顧問ニ
ナツテ居ルヤウナ人ガ、本法實施後引續キ
顧問料ヲ受ケ、重役ノ地位ヲ利用スルコト
ニ依ツテ俸給ヲ受ケテ居ツタ場合、實施以
前ニ斡旋シタル行爲ニ基イテ實施後ニ報酬
ヲ受ケタ場合ニハ、如何相成リマセウカ

○大竹政府委員 ソレハ罰則ハ遡及シナイ
ト云フ原則ニ當ルカト思ヒマス

○佐竹委員 此ハ此ノ贈收賄ノ罪ハ所謂濱
職罪デアツテ、賄賂罪ノ公正ヲ害スル
罪デアルト考ヘテ居リマス、然ルニ此ノ百
九十二條ノ四ニ於テ今回新設サレル所ノ罪
ハ、公務員ノ職務ノ公正ヲ賄賂ニ依ツテ害
スルコトヲ取締ル規定デハナイト思ハレマ
ス、只今ノ政府委員ノ御説明ノヤウニ、其
ノ地位ヲ利用スルコトニ依ツテ、其ノ威力
ニ依ツテ職務ノ公正ヲ害セラレル場合ヲ豫
想スルノデアリマス、賄賂自體ニ依ツテ公
正ヲ害シマセヌ、其ノ職務ヲ扱フ當該官吏
ハ聊カモ金品ヲ受ケルコトハゴザイマセ
ヌ、金品ヲ受ケルコトニ依ツテ職務ハ害セ
ラレテ居リマセヌ、他カラ加ハル威力、或
ハ情誼其ノ他ノ力ニ依ツテ職務ノ公正ヲ害
セラレル場合、唯ソレヲ利用シテ金品ヲ受
ケタ他ノ公務員ヲ害スルダケノコトデアリ
マスト致シマスレバ、本來贈收賄ノ罪トシ
テ罰セントスル所ノ精神ハ、元贈收賄ノ罪
トシテ規定シテ居ル刑法ノ贈收賄ノ罪ト、
茲ニ新設スル所ノ此ノ罪トノ間ニハ、根本
的ニ性質上ノ相違ガアルノデハナイカト存
ジマスガ、如何デアリマセウカ

○大竹政府委員 從來ノ觀念ヲ少シ擴ゲテ
居ルト云フコトハ御説ノ通りト考ヘテ居リ
マス、併シナガラ公務員ノ其ノ職務ニ關ス
ルモノデアルト云フ意味ニ於テ、是モ亦廣
イ意味ノ濱職行為ノ一種ト思ヒマス

○仲井間委員 一寸思出シマシタノデ、質
問ヲ打切ツタノデアリマスガ、一二點意見
ハ述べナイデ、唯政府ノ御意見ダケヲ承ツ
テ置キタイト思ヒマス、勿論私達モ公務員ガ
利權屋ヲ防グト云フ意味ニ於テハ政府ノ御
同感デゴザイマスガ、適用上ノコトニ付テ

同ヒタイト思ヒマス、役人ノ退職ノ後ニ或
ル重役ニ就任セシメルト云フヤウナ約束ノ
下ニ、物資ノ配給カ何カ便宜ヲ計ツテヤツ
タ、サウシテ後デ重役ニナツタト云フノハ
疑ヒモナク濱職罪ヲ成立致シマス、同様ニ
衆議院議員ガ何カ物資ノ配給ヲ斡旋シテ、
ソレガ容レラレルナラバ、一ツノ會社ガ出
來ルカラ、君ニソラ社長カ取締役カ何カ重
要ナ職務ヲ充ガツテヤルノダト言ツテ請託
ヲ受ケテ當局ニ交渉致シマシタ、所ガ、豫
定ノ如クニ配給ヲ得ラレテ會社ガ出來タト
云フヤウナ場合モ、同様ニナル譯デアリマ
スカ

○大竹政府委員 左様デゴザイマス

○仲井間委員 サウスルト斯ウ云フ場合ハ
ドウナリマスガ、辯護士ハ普通民事事件、刑
事事件ヲ取扱ツテ報酬ヲ取リマスガ、交渉モ
ノヲ取扱ツテ報酬ヲ取ルト云フ慣習モアリ
マス、或ハ行政的ニ何處ノ土地ノ權利ヲ取
ルトカ、何カ權利關係ヲ設定シテ報酬ヲ貰
フト云フヤウナコトモ度々行ハレテ居ルヤウ
デアリマスガ、辯護士ハ公務員デアリマ
セスカラ、勿論此ノ條文ニハ觸レマセヌガ、
代議士デアツテ辯護士デアル場合、其ノ代
議士ハ辯護士ヲ兼ねテ居ルノデアリマスガ
ラ、代議士トシテ役所ヘ斡旋スルト、辯護士
ト云フ資格ヨリモ代議士ト云フ資格ガ威力ヲ
發揮スルト云フノデ、交渉モノヲヤツテ成功
スルト何割トカ、着手金幾ラトカ實ハ報酬
ヲ貰ツテ居ル、サウスルト辯護士ヲ開業シ
テ居ル人ハ代議士デアツテモ贈收賄ニハナ
ラナイ、辯護士ト云フ資格ガナイカラ贈收
賄ニナルト云フ、斯ウ云フヤウナ區別モ實
際ハ出テ來ルノカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○大竹政府委員 辯護士ト云フ資格ニ於テ

ヤリマシタ場合ハ、是ハ公務員デアリマセヌカラ贈收賄ト云フコトニナラナイト思ヒマス、代議士兼辯護士デアル場合ニ、代議士ト云フ地位ヲ利用スルト云フヤウナ状態ニアツタ、サウシテ其ノ斡旋ヲナシタト云フヤウナ條件ガ備ハリマスカラバ、其ノ場合ハ本條ニ當ルト思ヒマス

○仲井間委員 辯護士兼代議士デアル場合、自分ハ代議士トシテノ威力ガアルカラ出來ルノダト云フ氣持ヲ持ツテ居ル、所ガ頼ム人ハアレハ辯護士ト代議士ヲ兼ねテ居ルカラ、アレヲ頼メバ巧ク行クニ違ヒナイト云フノデサウシテ成功シ、相當ナ報酬ヲ貰ツタ、サウシテ檢舉ヲナス當局ノ方ハ、アレハ辯護士ト云フヨリ實ハ代議士ノ方デアツテ居ルノダト云フコトヲ摘發スルト云フコトニナル譯ナノデアリマスカ、其ノ點モヤハリ今マデノ御答辯ノヤウニ答辯サレルノデスカ、結局ハサウ云フ風ニナル譯デスカ、其處ニマダ甚ダ理解シ兼ねル所ガアリマスカ、其ノ點ニ關シマシテハモウ少シ研究シテ暫ク質問ヲ留保サセテ戴キタイト思ヒマス

ソレカラ次ニ移リマス、此ノ沒收ノ規定ヲ改正サレテ居リマスカ、其ノ改正ノ理由ヲ伺ヒマス、犯罪ニ依ツテ得タル利益ハ犯人ノ手ニ殘サナイト云フコトガ言ハレテ居ルヤウデアリマス、成程御趣旨ハ洵ニ贊成デゴザイマスガ、公定價格違反、詰リ闇取引ニ依ツテ得タル利益ト云フモノハ、今マデ沒收サレテ居ラスヤウデアリマスカ、是モ犯人ノ手ニ殘ル所ノ利益デアリマスカラ、沒收サレルヤウニナサルノデアリマスカ

○大竹政府委員 現行法デハ「沒收スルコトヲ得」トナツテ居リマスノデ、果シテ其ノ得タル財物ガ犯罪行為ニ依リ得タルモノト云フコト、即チ現金ガ外ノ現金ト區別サレマシテ犯罪行為ノミニ依ツテ得タルモノデアカドウカト云フヤウナ點ニ付テノ解釋上ノ疑義ガアツタコトモ「ツツ原因」又「得」ト書イテアリマス爲ニ行ハレナカツタト云フコトモ「ツツ原因」ト考ヘテ居リマスカ、此ノ立案ノ趣旨ト致シマシテハ公定價格ヲ越エテ物ヲ賣ツテ得タルモノト云フコトハ、犯罪行為ニ依ツテ得タルモノト云フコトニ該當スルト思ツテ居リマス

○仲井間委員 全部該當スルノデアリマスカ、或ハ公定價格ヲ超過シタ、謂ハバ經濟的ニ言フ純利益ト云フヤウナ意味ニナルノデアリマスカ、其ノ範圍ニ付テ伺ヒマス

○大竹政府委員 公定價格ヲ越シタ部分ノミカ、ソレトモ全部カ、例ヘバ百圓ノ公定價格ノモノヲ百五十圓デ賣ツタト云フ場合ニ百五十圓全部カ或ハ五十圓カ、斯ウ云フ御尋ネト拜承致シマシタ、其ノ場合ニ於キマシテハ公定價格ヲ越エテ賣ルト云フコト自體ガ犯罪デアリマスカラ、沒收シヨウト思ヘバ百五十圓全部ヲ沒收シ得ルコトニハナルト考ヘマス、併シ實際ノ裁判デドレダケ沒收スルカト云フコトハ、必ズ沒收ストハ書イテナイノデアリマシテ「スルコトヲ得」トアリマスカラ、裁判所ガ適當ニ決メルモノト考ヘテ居リマス

○仲井間委員 沒收ニ關スル法律理論ヲ議論致シタイトハ思ツテ居リマセマ、
「得」トアリマス爲ニ色々過誤モ出來テ居ルヤウデアリマス、今後或ハ時勢ノ變化、時局ノ動向、人心ノ傾向等カラ考ヘテ、「得」ト云フモノガ非常ニ威力ヲ持ツヤウニナルノ

ダト吾々ハ想像スルノデアリマス、其ノ「得」ト云フモノガ今マデハ政治ノ「政」デアツタ、ソレガ今度ハ「力」ト云フモノニナツテ現ハレテ來ルモノダト思ヒマス、例ヘバ詐欺ノ場合、詐欺ニ依ツテ得タル物ハ從來沒收シテ居リマセマ、「得」トアリマスカレドモ、實際ハ發動シテ居ラナカツタ、詐欺ト云フ場合ハ全部ガ詐欺デアリマスカラ、今ノ話ノヤウニ分割ガ出來マセマ、ソレモヤハリ千圓ノ詐欺ヲスレバ千圓ノ沒收ヲナシ得ル、斯ウ云フ風ニナル譯デアリマスカ

○大竹政府委員 ソレハ裁判所ノ適當ナ判斷ニ俟ツ外ナイト考ヘテ居リマス

○仲井間委員 司法省デハ今ノ時局ノ推移、時勢ノ動向ニ鑑ミテ、從來ハ緩急サレテ居ツタガ、今後ハ嚴格ニ「得」ト云フコトデヤツテ行カウト云フヤウナ御方針ハナイノデアリマセウカ、勿論ハ法律ノ運用デスカラドウト云フコトハ言ヘナイデセウケレドモ、省ノ意向ガ地方ノ裁判所ニ非常ニ影響ヲスルノデアリマスカラ伺ヒマス

○大竹政府委員 ソレハ一般的な問題トシテサウ申上ゲルノデアリマセマ、各具體的な事件ニ付テ裁判所ノ判斷ニ俟チタイト云フ意味デアリマス

○仲井間委員 其ノ點ハ其ノ程度ニシテ、次ニ第九十六條ノ二デアリマス、強制執行ヲ免レル爲ノ隱匿行為、普通ヨリ隱蔽行為ト申シマスカレドモ、之ニ付テハ從來ハ負債ヲ持ツテ居ル者ガ財産ヲ處分スル時ニ、故ナクシテ財産ヲ隱匿シテ債權者ヲ迷惑サセテ居ルト云フヤウナ事情ガアリマシタノデ、私共ソレヲ何トカ救済スベキ適當ナ方法ガ現ハレテ呉レタラト思ツテ居ル時ニ此ノ法律ガ現ハレマシタノデ、私ハ非常ニ同

感デゴザイマス、唯運用ノ問題デゴザイマスカ、悪いモノヲ直ス爲ニ善イモノマデモ引掛ツテシマツテ苦シミヲ受ケルト云フコトハ甚ダ遺憾デゴザイマスノデ、其ノ點ハ運用ノ問題デアリマスルカラ、此ノ問題ニ付テハ非常ニ注意ヲシテ戴キタイト思ヒマス、大體債務者ガ財産ノ處分ヲスルト、善意動機デ處分シテモ債務者ノ財産ノ處分ト云フノハ、皆財産ノ隱蔽ノヤウニ見エルモノデアアル、刑法ノ毀棄ノ罪ノ中ニモ現行法デ規定シテ居リマスカ、物權ヲ負擔スルトカ、差押ヲ受ケテ居ルモノヲ處分スルト云フヤウナコトハ是ハ明カニ規定ガアリマスカ、マダ處分サレナイ先、強制執行ヲ受ケテカラ後ノ問題ハ明白デアリマスカ、未ダ強制執行ヲ受ケナイ前ノ財産ノ隱蔽ヲ指シテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、債務負擔後ハ、何時デモ斯カル私的な行為ヲナセバ、其ノ罪ニ問ハレルノデアリマスカ、成立ノ時期デアリマス

○大竹政府委員 第九十六條ノ二ノ冒頭ニ「強制執行ヲ免ル目的ヲ以テ」ト云フコトガ要件トシテ加ハツテ居リマス、隨テ強制執行ヲ免レル目的ヲ以テナス場合デアリマスカラ、例ヘバ訴訟ガ起ツタト云フコトデ、ドウシテモ強制執行ガ來サウダ、ヤラレサウダト云フヤウナ、何カ具體的な事情ノ發生シタ場合ニ「目的ヲ以テ」ト云フコトニナルト思ヒマス、併シ時期ノ問題トシテハ、法文上何等制限ヲ附シテ居リマセマカラ、民事訴訟ガ起ツタト云フコトハ、要件デハゴザイマセマ

○仲井間委員 此ノ法文カラ言ヒマス、ヤハリ非常ニ廣イ意味ニナリマス、政治家アタリハ大抵負債ヲ持ツテ居ルノガ多

イヤウデアリマスガ、生命保険デモ、或ハ郵便貯金デモ、強制執行ヲ免レル目的カラスルノデハナイ、唯子供ノ名前貯金ヲシテ居ルト云フヤウナ場合ガアル、或ハ假裝賣買——此處ニハ「假裝讓渡」ト書イテアリマスガ、何カ議員ノ資格ヲ得ルトカ、或ハ何カ役員ニナル資格ヲ作ル爲ニ、名義ヲ換ヘテ居ルト云フヤウナコトモ、實際アルヤウデアリマスガ、サウ云フヤウナ強制執行ヲ免レル目的デハナイケレドモ、之ニ書イテアルヤウナ行爲ヲナス場合ハ、債權者ハ皆告訴スルニ違ヒナイ、從來サウ云フ場合ハ、詐害行爲トシテ訴訟ヲヤツテ居リマシタガ、今度ハ總テ此ノ法文ニ依ツテ、苟クモ目的ガアルカ否カニ拘ラズ告訴スル、ソコデ此ノ告訴ガ非常ニ繁クナルト思フノデアリマスガ、其ノ場合ニ於テ、反面ニハ誣告罪ノ告發ガ現ハレテ來テ、自分ハ強制執行ヲ免レル目的ヲ以テ、財産ノ處分ヲヤツテ居ナイニ、此ノ條文ニ依ツテ告訴ヲ受ケタ、ソレハ自分ヲ苦シメルモノデアリ、誣告デアルト云フヤウナコトデ、色色複雑シテ混亂狀態ガ起ツテ來ルト思フガ、ソレニ對シテサウ云フヤウナコトヲ豫想サレタヤウナコトハナカタデアリマセウカ

○大竹政府委員 是ハ先程ノ御説ノ通り、廣ク裁判ニ御關與ニ相成ツテ居ラレル方々ノ、齊シク要望セラレテ居ル所デアリマシタノデ、斯ウ云フ規定ヲ設ケタ次第デアリマスガ、併シナガラ只今ノ御言葉ノ中ニアリマシタ通り、斯ウ云フ罰則ヲ設ケマス、宜イモノガ出來タ、是デ一ツヤツテヤラウト云フ輩ガ、ナイトモ限リスセヌ、ソコデ折角罰則ヲ設ケテモ、其ノ爲ニ却テ正シイ

者ガ迷惑ヲ蒙リ、又ハ罰則ヲ設ケタ趣旨目的ガ、達成セラレナイヤウニ動イテ行ツテハ大變デアリマスカラ、此ノ條文ノ運用ニ付キマシテハ、特ニ注意ヲ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○仲井間委員 次ニ第百五條ノ二乃至三ニ「虚偽」ト云フ文句ヲ使ツテアリマスガ、之ニ付テ字句ノ解釋ヲ御聽キスルノデハアリマセヌ、ヤハリ運用ノ點ニ付テデアリマスガ、虚偽ト云フコトヲ自ラ認識シテ、流布シタ場合ニ成立スル犯罪デアルコトハ勿論デアリマス、結局問題ニナリマスノハ、主觀客觀ノ問題ニナリマス、主觀的ニハ虚偽デナイト思ツタ、本當ダト確信シ得ル方面カラ聞イテ來テ、其ノ事實ヲ流布シタガ、客觀的ニハ虚デアツタ、斯ウ云フ場合ガアリマス、是ハ獨リ此ノ法律バカリデナク、刑法一般ニサウ云フ傾向ガアリマス、此ノ條文ノミナラズ、今改正ニナリマシタ分ダケノ條文ヲ見マシテモ、相當ニ其ノ運用ガ適切デナケレバ、却テ其ノ反射作用ヲ起シテ、色々ナ方面ニ其ノ害毒ヲ流スヤウナ點ガ多クアルノデハナイカト懸念スルノデアリマスガ、何カ其ノ點ニ付テ考ヘラレタコトハアリマセヌカ、新シイ法律ガ出マスト云フト——人間ハ新シイ着物ヲ作ルト云フト、古イ着物ハ良イモノデモ脱ギ捨テテ、新シイモノ質ノ惡イモノデモ、ソレヲ着タガルノデアリマスガ、法律ニモサウ云フ傾向ガアツテ、新シイ法律ガ出ルト直グソレヲ當嵌メヨウトスル、選舉法デモサウ云フ傾向ガアツタ、兎ニ角新シイモノヲ適用シタガル傾向ガアル、是ガ適切ナ運用デアレバ宜イノデアリマスガ、初物食ヒニモ少シ行過ギタ點ガアルヤウナ氣ガ致シマス、詰

リ法律ノ改正ヲ致シマシタ司法省ノ方針其ノモノガ——モウ少シ時局的ニシツカリト國民ハ氣ヲ引締メテ、苟クモ利權ナド取ツテハナラヌゾ、犯罪ニナル利益ナド一文タリトモ懷ロシテハイカス、債務ヲ踏倒シタリシテ、人ニ迷惑ヲ掛ケテハナラヌト云フ氣持ガ——國民教化ガ守立テラレテ來マスノデ、其ノ空氣ガ自ラ司法當局、或ハ檢察當局方面ヲ刺戟シテ來ルコト思ハレマス、ソレデ其ノ運用ニ付テモ、稍常軌ヲ脱シ勝デアツタ過去ノ經驗ニ鑑ミマシテ、何カ脱線ヲシナイヤウナ、適當ノ處置ガ願ヒタイノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ何カ考ヘラレテ居ルデアリマセウカ

○大竹政府委員 考ヘテ居リマス、ソレハ數年前カラ繰返シテ居ルコトデアリマスガ、議會ガ濟ミマシタ直後ニ於キマシテ、司法省ハ毎年各地カラ判檢事ヲ本省ニ招集致シマシテ、立案ノ趣旨ヲ説明ヲ致シテ居リマス、是ハ他ノ省デ作ツタ法律デモ、罰則ノ伴ツテ居ル重要ナ法律ニ付テハ、總テソレヲヤツテ居リマス、又其ノ場合ノ速記録ヲ作リマシテ、之ヲ各裁判所、檢事局ニ配付シテ適用上ノ參考ニ供シテ居リマス、殊ニ今度ハ自分ノ所ノ法律デアリマスカラ、無論ソレヲヤル積リデゴザイマス、尙ホ省内ニ司法研究所ト云フモノガアリマシテ、判檢事ガ來テ居リマスカラ、其處デモ新法律案ノ趣旨ヲ説明ハ致シテ居リマス、又本年御協賛ヲ願ヒマシタ只今ノ豫算ノ中ニ司法警察官吏ノ教養訓練ノ費用ト云フモノガ出テ居リマス、是ハ地方裁判所檢事局ガ中心ニナリマシテ、其ノ管内ノ司法警察官吏ヲ自分ノ所ニ召集シ、實務ヲ執ラシメ、又ハ講習會ノヤウナ恰好ニ致シマシテ、法律ノ

運用ヲ教ヘ込シテ居ルノデアリマスガ、今回斯ウ云フ新シイ法律ガ出來マスレバ、無論其ノ機會モ利用致シ、其ノ他色々ナコトヲ致シマシテ、今申上ゲタダケノコトハ必ズ實行致シマスガ、其ノ他適當ナ方法ヲ講ジマシテ、運用ノ適正ヲ期シタイト考ヘマス

○仲井間委員 一層御精勵ヲ御願ヒ致ス者デアリマス、一寸忘レマシタガ、一點ダケ最後ニ伺ヒタイト思ヒマス、百九十七條ニモアリマスガ、仲裁人ハ公務員ト同ジヤウニ賄賂罪ノ對象ニナツテ居リマス、此ノ改正案トハ直接關係ガナイヤウニ思ハレマスガ、親族會ノコトデス、大抵親族會ト云フモノハ相續人ヲ選定シタリ、色々人ノ身分ノ關係、財産ノ關係、サウ云フモノヲ決定スル極メテ重要ナル機關デアリマス、仲裁人ガ兩當事者ノ中ニ入ツテ權利關係ヲ決定スルニ最重要ナ地位ニアリマスル爲ニ、公務員ト同ジヤウニ制裁ガアル、親族會モソレト劣ナイ所ノ重要ナル地位ニアル譯デアリマス、所ガ親族會ヲ利用シテ金品ヲ授受スル、或ハ威壓ヲ加ヘル、色々干與ヲヤツテ其ノ決議ヲ不當ナラシムルヤウナ行動ガ、色々事件ニナツテ現ハレテ來テ居ル實情ニ在ル譯デアリマシテ、其ノ親族會ノ決議事項ガ實質ニ於テ仲裁人以上ノ立場ニ在ル者ニ對シテ其ノ職務ノ執行ヲ公正ナラシムル一ツノ刑法的ナ取締ノ處置ガ必要ダト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ、ソレカラ民事局長ニ伺ヒマスガ、今戶籍法ノ改正ダトカ或ハ民法中ノ改正ニモアリマスガ、軍人ノ後家サンヲ保護シヨウト云フ法律ガ出テ居ル、ソレニモヤハリ親族會ハ非常ニ關係ガアリマス、サウ云フ重要ナル機關ニ段々ナリツ

ツアル間ニ、ドウモマダ舊態依然トシテ、親族會ノ招集ナドニ付テ、餘リ完壁ヲ期シテ居ラナイ、親族ガ兩派相對立シテ、先ニ親族會ヲ招集シタガ者ガ勝ツテシマツテ、後ノハ出來テ居ルサウダカラ仕方ガナイト言ツテ、後悔先ニ立タナイデ、泣キ寝入りラシテ居ル、大抵ハ親族會ハ定員ヲ三名ニシテヤツテ居ル——何トカ、ソレヲ救済スル必要ガアル、親族中ニモ黨派ミタイナ者ガアツテ、後デ親族會ノ招集ヲシテモ、ソレガ容レラレナイコトニナリマス、ソコニハ調停トカ、色々機關モアリマスガ、サウ云ツタコトノ私ハ具體的ナ案ハ持ツテ居リマセスガ、親族會ノ處置ヲ眞ニ其ノ本人ニ適スルヤウナ制度ニ置換ヘテ行クト云フヤウナコトガ、非常ニ今切望サレテ居ルノデヤナイカト思ヒマス、其ノ點ニ付テ若シ御考ヘガアリマシタナラバ承リタイト思ヒマス

○坂野政府委員 御尋デゴザイマシテ私カラ申上ゲマス、刑罰ノコトハ拔キニ致シマシテ、現在ノ親族會ヲ相當監督シ適正ナ方向ニ指導シテ行カネバナラスト云フ御意見ハ、非常ニ御尤モナコトト思ヒマス、私共ノ方デモ其ノ點ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、現ニ民法親族編、相續編ノ改正ニ關スル臨時法制審議會ノ決議要綱ニモ、其ノ點ガ出テ居ル次第デアリマシテ、今回親族編ノ改正ヲ致シテ居リマスモノニ付テモ、其ノ點ニ付テハ相當緻密ナ考ヘヲ致シマシテ、大體總テ親族會ノ運行ニ付テ、家事審判所ガ常ニ之ニ觸レテ、監督指導シテ行クト云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、改正法ガ成立致シマス場合ニハ、此ノ邊ノ弊害ガ除ケルノデナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○仲井間委員 民事局長ノ御説明能ク分リマシタ、刑事局ノ方デモ仲裁人ヲ公務法トシテ制裁ノ對象ニナルナラバ、親族會モサウ云ツタヤウナ權利義務身分ニ關係スルモノハ、刑事的ニモソコヲ更生ノ途ニ導イテ行クヤウナ方法ヲ執ラナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、今御答辯ヲ求ムル譯デハアリマセスガ、是非其ノ點ニ付テ一ツ御考慮ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○大竹政府委員 民事局側ト能ク御相談シテ研究致シタイト思ヒマス

○仲井間委員 此ノ程度デ質問ヲ打切りマス

○江原委員長代理 佐竹君

○佐竹委員 私ハ總則ニ付テ司法當局ノ御方針ヲ承リタイ點ガ二三ゴザイマスルガ、是ハ出來マスナラバ次官又ハ刑事局長ノオイデヲ願ヒマシテ、御言明ヲ願ツテ置キタイト考ヘマス——此ノ會ハ明日モ續行致シマセウネ

○江原委員長代理 出來ルダケ今日中ニ濟マセタイト思ヒマス

○佐竹委員 ソレデハ條文ノ御制定ノ趣旨ニ付テ承ツテ見タイト考ヘマス、第九十六條ノ二ニ「強制執行ヲ免ルル目的ヲ以テ財產ヲ隱匿、損壞若クハ假裝讓渡シ又ハ假裝ノ債務ヲ負擔シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス」トアリマスガ、ドウセ強制執行ヲセラレルナラバ、イツソ之ヲ人ニ呉レテヤツタ方ガ宜イ、斯ウ思ツテ強制執行ノ目的トナリマスル物件ヲ、親戚縁者等ニ贈與シテヤツタヤウナ場合ニハ、處罰スルコトガ出來ナイモノデゴザイマセウカ

○大竹政府委員 此ノ條文ヲ作りマス時ニハ只今御説明ノヤウナ極メテ稀ナ例ガナイトハ斷言出來ナイト云フコトヲ考ヘテ見タノデアリマスケレドモ、現在最モ弊害トナツテ居リマスノハ強制執行ヲ免ルル目的デ假裝讓渡スルコト云フヤウナコトデアリマスノデ、ソレヲ狙ツテ規定シタ譯デアリマス、實際問題トシテハ假裝讓渡ノ場合ガ一番多ク且ツ一番弊害ヲナシテ居ルモノト考ヘテ居リマス

○佐竹委員 此ノ立案ノ御趣旨ニ照シマシテモ、財産ヲ隱匿、損壞若クハ假裝讓渡ヲシタト斯ウアリマシテ、損壞ナド殆ド想像サレヌヤウナ事態ニ付テマデ規定ノ中ニ織込メラレテ居リマス、強制執行ヲ受ケルノダカラト云ウテ叩キ壊シテシマフ、是ガ多イカ、イヤモウドウセサウスルナラバ親戚ニデモ呉レテヤレ、斯ウ思フノカ、誰シモ物ニ對スル執着ト云フモノガアリマスカラ、叩キ壊スヨリハ呉レテヤル方ガ多カラウト思ヒマス、損壞ノ方ヲ罰スル規定ヲ茲ニ御設ケニナリマシタノニ拘ラズ、贈與等ニ付テ何等規定ヲサレマセスコトハドウ云フ譯デゴザイマセウカ

○大竹政府委員 只今モ申上ゲマシタ通りニ強制執行ヲ免ルル目的デヤル場合ハ、假裝讓渡ノ場合ガ一番多イデアラウ、又ソレガ一番弊害デアルト云フヤウニ考ヘタノデアリマス、逆ニ申シマスレバ強制執行ヲ免ルル目的デ眞正ナル讓渡行爲ヲナスコト云フコトハ絕對ナイトハ申上ゲ兼ネマスガ、斯ウ云フ目的ヲ以テヤル場合ハ多クハ假裝讓渡デアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘタ次第デアリマス

○佐竹委員 此ノ御尋ネ致シマシタノハ損壞トノ比較對照ノ問題デアリマス、損壞マデモ茲ニ御規定ナサイマス以上ハ贈與ノ場合ヲ取締ル必要ハナイカ、斯ウ云フノデアリマス、即チ損壞ヲスル程ノ場合ヲ取締ル必要ガアルト致シマスレバ、所謂假裝讓渡ト極メテ紛ハシイ關係ニアリマス眞正ナル讓渡ハアルケレドモ、強制執行ヲ全然不能ナラシムル所ノ贈與行爲ヲ取締リマスコトガ、其ノ法ノ精神ヲ十分ニ發揮スル所以デハナイカト私共ハ思フノデアリマス、眞實ハ賣リマシタ、呉レテヤリマシタ、ハイ眞實實ヒマシタ、斯ウ言ツテ辯解ヲ致シマス時ニナカ——立證サレルモノデハゴザイマセス、隨ヒマシテ、損壞ノ場合ヲ規定致シマス以上ハ無償デ讓渡致シマシテ強制執行ヲ免ルル場合等ヲ御取締ニナリマスコトガ、却テ此ノ法ノ精神ヲ生カス所以デハナイカ、斯様ニ考ヘマスガ、如何デゴザイマセウカ

○大竹政府委員 損壞ト云フコトニナリマス、物ヲ壊シテシマフノデアリマカラ、ソレハ犯罪トシテ處罰シテ行カナケレバ、イカナイガラウト考ヘマシタ、讓渡ノ場合ニ於キマシテハ、成程只今御説明ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、結果ニ於テ強制執行ヲ免ルルコトニナツテ、取締ノ徹底ト云フ點カラ行ケバ多少如何カト思ハレルコトガアリマスガ、犯罪トシテ規定シテ行クノハ先ヅ假裝讓渡ノ程度——一番弊害ノ多イト稱セラレテ居ル所ヲ狙ツテ行クト云フ程度ニ止メタイ、斯様ニ考ヘタ次第デアリマス、

○佐竹委員 破産法三百七十四條ノ一項ヲ見マス、債權者ノ不利益ニ物ヲ處分致シマス時ニハ之ヲ如何ニ處理スルカト云フコトニ付テ規定ガ設ケラレテ居リマス、一般法制ノ上ニ於テ損壞ヲ規定致シマス一面、

債權者ノ利益擁護ト云フコトモ考ヘテ、ソ
レヲ不利ニ處分致シマシタ時ト、債權者
ニ及ボス影響ヲ相當ニ考ヘラレテ居ルノデ
アリマス、之ヲ本條ノ強制執行ヲ免ルル目
的ヲ以テ財産ヲ隱匿シタリ假裝讓渡シタリ
致シマシテ、所謂強制執行ヲ實際ノ上ニ於
テ效力ヲナクスル、或ハ殆ド強制執行ノ實
際上ノ目的ヲ達シ得ナイヤウナ状態ニ置ク
コトヲ取締ル爲ニ本條ガ設ケラレタモノト
考ヘマス、仍テ債權者ノ利益ニ物ヲ處分
致シマストカ、或ハ無償ノ物ヲ與レタル
トカ、斯ウ云フ工合ニ致シマシテ強制執行
ノ中味ヲ取ツテシマフ場合ニ於キマシテハ、
相當ニハ取締ノ對象トナルデハナイカ、私ハ
總テ此ノ無償讓渡等ヲ規定致シマセス爲ニ、
所謂損壞ト云フ文字ヲ擴ゲテ、損壞ト云フ
ノハ物質ノ破壞デアルト云フ風ニ解釋シ
テ居ルガ、總テ是ガ擴ツテ行ツテ無償ニ讓
渡ヲスル等、強制執行ノ中味ヲナクスルヤ
ウナ場合、是ハ所謂損壞デアルト云ツタコ
トニマデ自然解釋ガ進ンデ行クヤウニナル
デヤナイカ、例ヘバ封印損壞等ニ付テ之ヲ
考ヘマシテモ、封印ヲ有形的ニ破棄致シマス
場合ハ勿論デアリマスガ、其ノ中味ヲ取ツ
テシマツタトカ、或ハ繋留シテ居ル船ヲ海
ノ中ヘ押シヤツテ其ノ效力ヲナカラシムル
ト云ツタヤウナモノニ付テモ損壞ト一方解
セラレマスヤウニ、贈與ニ依ツテ全ク脫法
的行爲ヲナス者ガ段々殖エテ參リマス時ニ
ハ、總テ損壞ト云フ文字ヲ擴ゲテサウ云フ
解釋ヲスル者ガ或ハ出ルデヤナイカト云フ
風ニ私共豫想セザルヲ得ナイノデアリマス
ガ、今茲ニサウ云ツタ場合ハ寧ロ明確ニ規
定ヲ致シマシテ、之ヲ取締ノ對象ト致シマ
スルコトガ強制執行ヲ免ルル目的ヲ以テナ

ス所ノ犯罪ヲ取締ル、本當ニ效力ヲ十分ニ
發揮シ得ルモノデハナイカト考ヘマスノデ
諄イヤウデゴザイマスアレドモ、今一應御
意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○大竹政府委員 損壞ト云フ言葉ハ現行法
デ數箇所ニ用ヒラレテ居リマシテ、是ハ物
質ノ破壞行爲ト、毀損破壞ト云フヤウニ
解釋セラレテ居リマスノデ、此ノ第九十六
條ノ二ノ損壞ガ左様ニ廣ク解釋サレル心配
モナイノデヤナイカト云フヤウニ考ヘテ居
リマス、現行法ノ第九十六條ニハ「其ノ他ノ
方法ヲ以テ封印又ハ標示ヲ無効タラシメタ
ル者ハ」ト云フ規定ガアリマスノデ、只今御
說明ノヤウナ中身ヲ抜イタトカ、船ヲ放シ
テシマツタトカ云フモノガ之ニ入ルト云フ
コトニ解釋上ナツタノデアリマシテ、損壞
ト假裝讓渡トヲ並ベテ明記シテ置キマスレ
バ、此ノ間ノ區別ハ明瞭ニナルノデハナイ
カト、斯ウ云フヤウニ考ヘテ立案致シタ次
第デゴザイマス

○佐竹委員 私人質問セント欲シマスル所
ハ要スルニ無償讓渡ヲスルコトニ依ツテ、
殆ド強制執行ヲ無効ナラシムルト云ツタヤ
ウナ事態ニ付テハ相當考慮スベキ必要ガア
ルデハナイカト云フ點デアリマスガ、諄ク
ナリマスルノデ此ノ程度ニ措キマシテ、進
ンデ御尋ネ致シタイト思ヒマス、假裝ノ債
務ヲ負擔シタ時トゴザイマスガ、假裝ノ物
權ヲ負擔致シマシタ時ニハ如何デゴザイマ
セウカ、執行ノ目的物ガ留置權ノ目的物デ
アルトカ、或ハ質權ノ目的物デゴザイマス
ナドト主張致シマシテ、自分ノ占有デハナ
イガ、差押シテ貰ツテハ困ルト云ツタヤ
ウナ色々ノ方法ヲ講ジマシテ、執行ヲ妨害
スルヤウナ場合ガ出テ來ルト考ヘマス、其

ノ假裝ノ物權ヲ負擔致シマシタ場合ハ、如
何ナル結果ニナルデゴザイマセウ

○大竹政府委員 物權ヲ假裝シタト云フコ
トダケデハ、是ハ文字ノ解釋上當然入ラナ
イト思ヒマスガ、其ノ假裝シタ物權ノ前提
トシテ債權ガアルト云フ場合ニハ、假裝ノ
債務ヲ負擔シテ居ルト云フヤウニ解釋サレ
ルト思ヒマス

○佐竹委員 私人御尋ネ致シマスノハ眞實
ノ債權ガアル場合、併シ優先權ノナイ場合、
其ノ時ハ留置權ノ目的物デアルトカ、或ハ
質權ノ目的物デアルトカ、債權ハアルノデ
アリマスアレドモ、其債權者ガマダソレヲ
占有内ニ移シテ居ナカツタヤウナ場合ニ、
イヤハ私ノ質權ノ目的物デアツテ、債權
者ノ占有内ニナイノデゴザイマスナドト云
ツタヤウナ工合ニ假裝ノ物權ヲ主張致シマ
シテ、假裝ノ物權ヲ前提トシテ強制執行ノ
目的ヲ達セシメナイヤウニスル、斯ウ云ツ
タヤウナ場合デモ罰スルノ餘地ハナイデゴ
ザイマセウカ

○大竹政府委員 本條ヲ立案致シマス際ニ
ハ、現在最モ幣害アリト稱セラレテ居ル所
ヲ拾ヒ上げて條文ノ上ニ列擧致シタ次第デ
アリマシテ、此處ニ書イテアル以外ノモノ
ハ稀ナ場合トシテハ起リ得ル場合ガアルカ
モ知レマセスガ、ソレハ此ノ規定ノ範圍外
ニ屬スル次第デゴザイマス

○佐竹委員 強制執行ヲ免ルル目的デハナ
シニ、配當ノ一部債權者ニ有利ナラシムル
爲ニ假裝ノ債務ヲ負擔シテ不當ノ配當加入
ヲ致シマシタヤウナ場合ハ如何デゴザイマ
スカ

○大竹政府委員 ドウモ其ノ場合ハ入ラナ
イヤウニ思ヒマス

○佐竹委員 強制執行ヲ受クル者ノ承諾ノ
下ニ配當ノ條件ニ影響ヲ及シマスルヤウナ
申立ヲ致シマシタ時、譬ヘテ申シマス普通
通ノ貸借ノ貸金デアリマス場合ニ、是ハ日
用品供給ニ關スル先取特權ヲ持ツテ居ル所
ノ債權デアルト云フヤウナ申立ヲ致シマシ
テ、優先辨濟ヲ受ケ得ルヤウナ申立ヲ致シ
タヤウナ際ニハドウナルデゴザイマセウ

○大竹政府委員 ソレモ本條ニハ該當シナ
イヤウニ思ヒマス

○佐竹委員 司法當局ハ只今一、二ノ例ヲ
拾ツテ申上ゲタヤウナ場合、何レモ是ハ稀
レニ見ル事態ト仰セニナツテ居リマスガ、
吾々實務ニ當ツテ居ル者ニ取ツテ一番ノ惱
ミハ斯ウシタ所ニアルノデアリマス、差押
ニ行クト他カラ物權ヲ主張スル者ガ出テ來
ル、ヤレ／＼押ヘタ、スルト今度ハ假裝ノ
債務ヲ主張致シマシテ、不當ノ配當要求ヲ
シテ來ル、強制執行自體ハ是ハ免ルル目的
デハナイ、配當ノ條件ヲ良クシヨウトスル
或ハ優先ノ辨濟ヲ受ケルト云ツタヤウ
ナモノガ出テ參リマシテ中味ヲ取ラレテシ
マフノデアリマス、是ガ現在ハ非常ニ重大
ナ問題デアリマシテ、斯ウシタ場合ヲ取締
ル必要ハ極メテ重要デアル、取締ル必要ハ
切實ナモノガアルト私ハ考ヘマスガ、司法
當局トセラレマシテハ、其ノ邊何等サウ云
フ取締ノ必要ヲ御感ジニナラナイデゴザイ
マセウカ

○大竹政府委員 此ノ條文ハ今マデノ刑法
典ニナカツタモノヲ新シク作りマシタ次第
デアリマシテ、最初ニ作ル規定デゴザイマ
スカラ、最モ幣害アリト考ヘラレマスモノ
ヲ、罰則デゴザイマスカラ、明確ニ列擧シ
タ次第デアリマシテ、其ノ他ヲドウデモ宜

イ、必要ナイトマデ考ヘタ譯デモアリマセヌガ、兎ニ角犯罪トシテ新シク規定スルモノデアリマスカラ、之ニ列舉シテ次第デアリマス、將來ニ運用ノ狀況ヲ見マシテ、更ニドウシテモ弊害ガ除カレナイト云フヤウナ事態ガ假リニ發生致シマシタラバ、其ノ時ニ又適當ニ考慮致シタイト考ヘマス

○佐竹委員 司法當局ノ仰シヤイマシタ一番弊害ノ多イト云フノハ、強制執行ソレ自體ヲ前以テ不能ナラシムルコトニ付テ御心配ニナツテ居ル、所ガイザ押ヘタ時ニ其ノ中味ヲ取ツテシマツテ強制執行ノ實ヲ擧ゲシメナイト云フ點ガ私ノ御尋ネシヨウトスル所デアリマシテ、強制執行ヲ前以テ免レシメル方法ニ付テ御取締ノ必要ヲ感ゼラレマスナラバ、強制執行ガ始ツテ以後ノ中味ヲ抜クコトニ付テモ十分御考慮戴キマセヌ限り、折角此ノ法律ニ依リマシテ、九十六條ノ二ニ依ツテ強制執行ヲスルコトガ出タ、完全ニ押ヘルニハ押ヘタガ併シ中味ヲ取ラレシマツタデハ何等ノ——何等ノト

言ツテハ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、餘程實際ノ效力ヲ發揮スルコトガ困難デハナイカ、詰リ強制執行ヲ免ルル財産隠匿罪ト云フモノヲ規定致シマス限リハ、押ヘタ後ニ完全ニ各債權者ノ手許ニソレガ配當サレル、而モ公正ニ配當サレルヤウナ御心配ヲナサレナイ限リ、首尾一貫シタ法制トハ言ハレナイ、私ハ斯様ニ考ヘマスルガ故ニ、此ノ財産隠匿罪ヲ御規定ナサイマスコトニ付テハ敬意ヲ表シマス共ニ、此ノ實際ノ效力ヲ十分發揮致シマス爲ニ、尙ホ進ンデ強制執行ノ内容自體ヲ充足致シマシテ満足ニ強制執行ヲ終ヘシメ得ラレマシヤウニ、適當ナル取締法規ヲ必要トスルノデハ

ナイカト私ハ思フノデアリマス、尙ホ茲ニ御尋ネ申上ゲテ置キタイノハ、假裝債務ヲ負擔シタル時、其ノ債權者トナツタ者、或ハ假裝讓渡ニ付テ讓受人トナリマシタ者ガ、其ノ人トシテハ別ニ強制執行ヲ免ルル目的ヲ持ツテ居ナカツタ場合、斯様ナ時ニ是ハ共同正犯デアリマセウカ幫助ヲ以テ論ズベキモノデゴザイマスカ

○大竹政府委員 其ノ情ヲ知ラナイ場合ハ犯罪ヲ構成シナイと思ヒマス、其ノ情ヲ知ツテ居ル場合ニハ共同正犯ニナル場合モ、幫助ニナル場合モアルノデハナイカト思ヒマセヌト、共同正犯ノミトカ、幫助ノミトカ云フヤウニハ一寸御答ヘ致スノヲ躊躇致ス次第デアリマス

○佐竹委員 次イデ第九十六條ノ三ニ付テ御尋ネ致シマス、公ノ競賣又ハ入札ノミヲ保護致シマスル理由ヲ此ノ際御明示願ヒタイト思ヒマス、競賣又ハ入札ヲ以テ契約ヲ締結致シマス場合ハ、假令民間ニ行ハレルモノニ致シマシテモ、一般ニ及ボス影響ガ洵ニ大デアリマス、競賣又ハ入札ノ公正ナル遂行ヲ保護致シマス爲ニ、公私ヲ區別スベキ理由ハナイト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウ、殊ニ「偽計若クハ威力ヲ用ヒ又ハ談合ニ依リ」ト云フヤウナ、公正ヲ害スル場合ニ付テ嚴格ナ制限ヲ加ヘテ居リマス以上、之ヲ一般ニ適用シテモ宜イデハナイカト考ヘマスガ如何デゴザイマセウカ

致シタイト考ヘテ居リマス

○佐竹委員 例ヘバ國策會社ノ競賣、入札ト云フヤウナモノニ付テハ、是ハモウ公ノ競賣或ハ入札ニ讓ラナイダケノ大キナモノガアルヤウニ思ハレマス、民間ニ付テ考ヘマシテモ、大キナ會社或ハ大キナ商店ノ需給ニ付テハ、其ノ競賣、入札等ニ付テ公ノ競賣、入札ニ決シテ讓ラナイ大キナモノガ澤山ニアルヤウニ私共ハ考ヘテ居リマス、其ノ及ボス影響モ公ノ場合ニ決シテ讓ラナイ場合ガ多イ、今日時局ニ對處致シマシテ必要デアルト云フ點カラ、特ニ時局ヲ考ヘテ公ノ競賣ニ付テ之ヲ取上ゲニナツタト仰セラレマスガ、ソレナラ例ヘバ國策會社ノ必要ナル物資需給ニ關スル入札、競賣等ニ付テ、時局柄極メテ緊切デ、ソレノ公正ニ行ハレルヤウニ取締ルコトモ非常ニ必要ナコトヲ私共ハ痛感セザルヲ得ナイノデゴザイマスガ、如何デゴザイマセウ

○大竹政府委員 結局繰返シテ、御答ヘ申上ゲルコトニナルカト存ジマスガ、公ノ競賣又ハ入札ノ場合ガ最モ弊害ノ多イモノデアルカラ、先ヅ之ヲ第一ニ規定シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘタノデアリマス、實ハ此ノ立案ヲ致シマス途中ニ於テハ、御手許ニ差上ゲマシタ案ヨリ以上ニ、モウ少シ廣イモノヲ考ヘタノデアリマスケレドモ、今回ハ戰時ノ議會デモアリマス關係上、改正ハ已ムヲ得ザルモノダケニ止メヨウト云フヤウナ、上カラノ御方針モ承リマシテ、案ヲ縮メマシテ斯ウ云フ程度ニ止メタ次第デアリマス、是デ以テ總テノ弊害ガ除カレルト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマセヌ、貴族院ノ委員會ノ時、大臣モ將來刑法ノ改正ハ何等カノ形式ノ下ニ繼續研究ヲ續ケテ

行ツテ、成案ヲ得タイト云フヤウニ言ツテ居ラレマスコトハ、速記録御案内ノ通りト考ヘマス、隨テ差當リハ此ノ公ノ競賣又ハ入札ノ公正ヲ害スベキ行爲ダケヲ規定致シタノデアリマス

○佐竹委員 諄イヤウデスガ、先程ノ政府委員カラノ御答辯ニ依リマシテモ、例ヘバ茲ニ執達吏ガ差押ヘル百圓ノ物ヲ競賣スルト云フ場合ニ於テモ、此ノ規定ノ適用ガアリマス、サウ云ツタ場合ハ、其ノ公正ヲ期スル爲ニ此ノ法律ノ適用ガアリマスガ、一面國策會社ガ百万圓ノ入札ヲ致シマシテモ、其ノ取締ヲ受ケナイト云フコトニ相成リマシテハ——一體時局柄々々ト仰シヤイマスケレドモ、ドツチヲ御覽ニナツテ時局柄必要デアルト言ハルルノカ解スルニ苦シム場合ガ多ノデアリマス、寧ろ國策會社ヤ民間ノ大會社、大商店等ニ於キマス入札、競賣等ハ大規模ニ行ハレル、所ガ公ノ競賣ト云フモノハ、モウ法規ニ依ツテ明定サレテ居リマシテ、執達吏ノナシマス競賣等ハ、十圓ノ物デモ、二十圓ノ物デモ公ノ競賣トシテ其ノ手續ヲ經ナケレバナイ規定ニナツテ居ル、所ガ大會社或ハ國策會社ト云フヤウナモノハ、サウ云ツタ十圓ヤ二十圓ノ物ヲ或ハ入札ニシタリ、或ハ之ヲ競賣ニ掛ケタリスルコトハアリマセヌ、寧ろサウ云ツタ公ノ競賣或ハ入札等ノ取締ヲスルコトガ時局柄必要デアルト云フコトヲ御考ヘナリマスナラバ、國策會社其ノ他大會社、大商店等ノ今日ノ時局下極メテ必要ナル所ノ物資等ニ對スル或ハ競賣、入札ニ付テ、其ノ公正ニ遂行セラルルヤウニ十分ナル監視ヲスルコトガ時局柄必要デハナイカ、斯ウ云フ風ニ痛感スル者デゴザイマスケレドモ、

○大竹政府委員 今回ノ改正ハ、現在ノ犯罪狀態ニ鑑ミマシテ、最モ急速ニ改正ヲ要スルト考ヘマシタモノノミヲ拾ヒ上ゲテ立案致シタ次第デアリマシテ、私ノ競賣又ハ入札ノ場合ハ刑法ノ全部改正ノ場合ニ考究

此ノ點押問答ヲ致シマシテモ仕方ガゴザイマセヌノデ、此ノ程度ニ止メテ置キマス

次ハ第七章ノ安寧秩序ニ對スル罪ニ付テ御尋ネ申上ゲマス、本章ノ改正案文第百五條ノ三及ビ四ノ如キハ、戰時、天災其ノ他ノ事變ニ際シテ安寧秩序ヲ害スルノ罪ハ、一面國防保安ノ立場カラモ罰スベキハ當然デアリマスガ、之ヲ國防保安法ト區別致シマシテ、一方ハ特別法ニ依ツテ之ヲ規定致シマシテ、其ノ刑罰モ非常ニ重イノデアリマス、而シテ茲ニ一般刑法ノ改正トシテ取入レマシタ所ノ條文ノ罪ハ、一方ノ國防保安法ヨリモ餘程輕イノデアリマスガ、斯ウ云フ區別ヲ致シマシタ根本ノ理由ヲ承ツテ置キタイト存ジマス

○大竹政府委員 國防保安法ニ規定致シマシタ罪ハ、外國ト通謀シ又ハ外國ニ利益ヲ與フル目的ヲ以テト云フコトガ要件ニナツテ居リマシテ、斯ウ云フ犯罪ハ最も惡質ナモノデアルト云フヤウニ考ヘタ次第デアリマス、而シテ之ヲ刑法典ノ中ニ入レズニ、國防保安法ト云フ特別法ニ入レマシタノハ、國防關係、尙ホ詳細ニ申上ゲマスレバ、外國ト通謀シ、又ハ外國ニ利益ヲ與ヘルヤウナ目的デ、斯様な犯罪ヲ犯シタ者ハ特ニ重ク罰スルノミナラズ、直接國防關係ノコトハ全部一括シテ國防保安法ノ中ニ規定シテ置ク方が體裁トシテモ、又分リ易イ點カラ言ツテモ適當デアリマシテ、サウ云フ觀點カラ國防保安法ト、刑法ト兩方ニ分ケタ次第デゴザイマス

○佐竹委員 國內的ノ不安ハ、結局對外的ノ關係ニ於テ重大ナル國防保安ノ關係ニ相成ツテ參ル譯デハゴザイマセヌデセウカ

○大竹政府委員 結果ニ於テサウ云フ風ニナルカト考ヘマス、此ノ第七章ノ二ノ犯罪ハ反道義的ナ惡質ナル犯罪ノ主タルモノト考ヘマシテ、刑罰法令ノ基本法典タル刑法典ノ中ニ入レタ次第デアリマス、直接外國ト通謀シ云々ト云フ構成要件ノ加ハツタモノハ、是ハ明瞭ニ國防關係ガカラ、國防保安法ノ中ニ入レタ、斯ウ云フ次第デゴザイマス

○佐竹委員 改正刑法假案ノ二百三十九條以下數箇條、是モ此ノ時局下極メテ必要デアリマス、案ガ既ニ練ラレテ居リマシタノニ拘ハリマセズ、其ノ四箇條、五箇條程ヲ削リマシテ、僅カニ二三箇條ノミヲ今度ノ改正ニ取入レラレタノデゴザイマスガ、イツソ斯ウ云フ安寧秩序ニ對スル罪ヲ御改正ニナル以上ハ、セメデ安寧秩序ニ關スルモノダケデモ、假案ニアリマス數箇條モ十分御取入レニナツテ、時局下ノ安寧秩序ヲ保持致シマス爲ニ、今少シク徹底シテ改正ラナサルコトガ適當デハナカツタカト存ジマスガ、如何デゴザイマセウ

○大竹政府委員 改正刑法假案ノ第二百三十九條乃至二百四十三條ノ案ヲナゼ提出シナカツタカ、斯ウ云フ御尋ネト承致シマシタ、是等ノ罪ハ、例ヘバ二百三十九條ノ如キハ、治安維持法、治安警察法等ニ依ツテ取締ノ規定ガゴザイマス、尙ホ治安維持法ハ今回規定ノ内容ヲ擴ゲマシテ、先般衆議院ノ御協賛ヲ得タヤウナ次第デアリマス、其ノ他ノ犯罪煽動、獎勵、安寧秩序紊亂ノ目的ヲ有スル文書宣傳ト云フヤウナコトモ、今回ノ治安維持法ノ改正ノ中ニ一部分含マレテ居リマス、其ノ他ノ部分ニ關シマシテハ、十分ハ申上ゲ兼ネルノデアリマスケレドモ、新聞紙法、出版法、治安警察

法等、ソレトモ現行法ニモ其ノ規定ガゴザイマスノデ、差當リ斯様な廣イ部分ニマデ及バナクテモ、曲リナリニモ適用ハ出來ル、斯ウ云フヤウニ考ヘタ次第デアリマス、是ハ先程モ一寸申上ゲマシタヤウニ、實ハ此ノ部分ヲ入レタ案モ一應作ツテ見タノデアリマスケレドモ、戰時下ノ議會デ、必要已ムヲ得ザルモノニ限ルト云フヤウナ御方針ニナツテ來マシタノデ、割愛致シテ此ノ部分ハ刑法ノ全部改正ノ時ニ考究スルト云フコトニ致シタ次第デゴザイマス

○佐竹委員 ソレデハ贈收賄ニ關スル點ヲ一二點御尋ネ致シマシテ、アト總則ニ關スル質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、百九十七條ノ請託ヲ受ケタル場合ヲ、要求若シクハ約束ヲ致シマシタ場合ヨリモ、特ニ重ク罰シマシタ理由ハ何處ニゴザイマセウカ

○大竹政府委員 第百九十七條ノ第一項ノ前段ト後段ト分ケタ理由ノ御尋ネト承リマシタ、現行法ノ第百九十七條デハ、斯様な書分ケナイデ、職務ニ關シト云フコトデ一括致シテ居リマス、而シテ其ノ解釋トシテハ、是モ申上ゲルノモ却テ恐縮デスガ、請託行爲ノアル場合モ、ナイ場合モ含マレテ居ル、斯ウ云フヤウニ解釋致シテ居リマス、ソレヲ本案ニ於キマシテハ、請託行爲ノナイ場合ト、請託行爲ノアル場合ヲ書分ケマシテ、刑ニ差ヲ設ケタ次第デアリマス、是ハ請託行爲ノアル場合ガ、公務ノ廉潔ヲ害スル危險ガ一層大デアルト云フ意味ニ於キマシテ、刑罰ヲ加重シタ積リデアリマス

○佐竹委員 見様ニ依リマシテハ、俺ノ所ニ金ヲ持ツテ來イ、然ラバ之ヲ世話シテヤラウト云フヤウナハ、モツト惡質ノヤウニモ考ヘラレマスガ、如何デセウカ

○大竹政府委員 一寸私聽取リニクカツタノデアリマスガ、何カ具體的ノ頼ミ込ガアル、例ヘバ許可トカ認可トカ云フ問題ニ絡ンデ、賄賂ヲ取ツタト云フ場合ガ請託ヲ受ケタコトニナリマスノデ、今ノ御話ハ何カ具體的ノ頼ミ込込ノアツタ場合デゴザイマセウガ、ソレナラソレハ後段ニ入ルヤウニ考ヘマス

○佐竹委員 例ヘバ官吏ガアノ商人ニ斯ウ云フコトヲヤラシタナラ、アレハ儲カルノダト云フノデ、官吏ガ商人ヲ招イテ、君斯ウ云フコトガアルカラ一ツヤリ給ヘ、而シテ金ヲ持ツテ來イ、斯ウ云フ工合ニコツチカラ先ニ要求スルヤウナ場合ガ、頼マレタ場合ヨリモモツト輕イト云フコトハ、私共ハ考ヘラレマセヌ、ソシナ風ニ官吏ノ方カラ進ンデ惡イコトヲシタ場合ニハ、寧ろ強ク罰スベキデハナイカト考ヘマスガ、如何デセウカ

○大竹政府委員 成程サウ云フ場合モアルカト思ヒマスケレドモ、其ノ場合ニ於キマシテハ結局ニ於キマシテ、因ツテ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハト云フ第百九十七條ノ三ノ第一項ニ結局行クノデハナイカト云フ風ニモ考ヘマスガ……

○佐竹委員 ヤラウト思ツテモ結局邪魔ガ入ツテ出來ナイコトモアリマセウカラ、結果ノ關係ハ別ト致シマシテ、寧ろ請託ヲ受ケテ、情誼上仕方ナシニ斷リ兼ねテ、何ト言ヒマスカ、情ニ絆サレテヤツタヨリハ、寧ろ公務員ノ方カラ進ンデ惡イコトヲ企テタヤウナ場合、即チ要求致シマシタヤウナ場合ニ、モツト惡質ナ事例ガ出デ來ルンデヤナイカト心配ヲ致シマシタノデ、特ニ請

託ヲ受ケマシタ場合ノミヲ斯ウ云フヤウニ強ク罰シマス理由ニ付テ私共ハ解釋ニ苦シンダ譯デアリマスガ、ソレハ其ノ程度デ宜シウゴザイマス

百九十七條ノ二三「第三者ニ賄賂ヲ供與セシメ」トゴザイマスガ、其ノ第三者ガ賄賂デアルコトヲ知ラナイデ受取りマシテモ本罪ハ成立致シマセウカ

○大竹政府委員 其ノ場合ハ本條ニ該當スルト思ヒマス

○佐竹委員 先程ノ百九十七條ノ四ノ新設ニ付キマシテ、今一應私ハ茲ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス「公務員其地位ヲ利用シ他ノ公務員ノ職務ニ屬スル事項ニ付斡旋ヲ爲シ」是ハ代議士ガ斡旋ヲ致シマシタヤウナ場合ニ付テモ適用ガアルコトガ先程ノ御答辯ニ依ツテ大體明カニナリマシタ、所ガ我ル意味ニ於テ人ノ世話ヲスルコトガ一つノ仕事ニナツテ居リマス議員トカ、委員トカニ付キマシテハ、一般官吏ノ場合ト必ズシモ同様ニ考ヘルコトガ出來ナイ場合ガ多クアルンデヤナイカト私共ハ思フノデアリマス、ソレハソレニ致シマシテモ、兎モ角公務員ガ其ノ職務ニ關聯致シマシタリ、或ハ地位ヲ利用致シマシテ金品ノ收受ヲスルナドハ是ハ怪シカリマセス、斷乎處罰スルノハ結構デアリマス、私共モ是ハ大賛成デアリマスガ、併シ私共ガ特ニ考ヘナクテハナラスノハ、例ヘバ代議士デアルトカ、縣會議員トカ云フ人デ、其ノ地位ヲ利用スルコトニ依ツテ飯ヲ食ツテ居ルヤウナ人、詰リ其ノ地位ヲ利用スルコトニ依ツテ生計ヲ立テテ居ルト云ツタヤウナ、職業的ニ賄賂ヲ受ケル、其ノ賄賂ヲ受ケルコトニ依ツテ生活ヲシテ居ル、其ノ地位ヲ利用スルコトニ依ツテ生計ヲ居ルト云ツタヤウナサウ

トニ依ツテ生計ヲ居ルト云ツタヤウナサウ云フ人ヲ取締ルト云フ風ニ、寧ロ此ノ公務員ヲ議員吏員等ヲモ取締ルト云フ風ニ狭ク解釋致シマスル爲ニハ、職業的ニ他ノ公務員ノ職務ニ關聯シテ斡旋スルトカ、賄賂ヲ收受スルトカ云ツタヤウナモノダケヲ取締ル程度デ宜イデヤナイカト云フ風ニモ考ヘラレノデゴザイマスガ、如何デゴザイマセウカ、ト申シマスノハ、私共議員デアルトカ、詰リ公務員ヲ持ツテ居ル者ハ頼ミニ來ラレト義理合デモ出ナケレバナラヌヤウナ場合ガゴザイマス、先程ノ大竹政府委員カラノ御説明デハ、晩飯ヲ頂戴シタ程度デハ、是ハ儀禮ニ基クノデ、其ノ程度ハ罪ニナルマイト仰シヤイマスケレドモ、是ガ實際事件ニナツテ檢事局ニデモ現ハレマシタ時ニハ、是ハモウ有罪ト決定スルニ決マツテ居リマス、假令五圓ノ晚餐ニ呼バレマシテモ、是ハ恐ラクヤラウト思フナラバヤレマセウ、斯ウ云ツタ時ニ、實ハ頼マレタノダ、多勢デ陳情ニ來タノダ、ソレデ御苦勞様ト云フノデ晩飯ヲ頂戴シタ、所ガ儲テ會計ヲ拂ハウト思ツテ、所謂割勘デヤラウト思ツテモ餘リ水臭イ、其ノ内ニ宜シウゴザイマス、私ノ方デ、イヤ僕ノ方デト云ツテ、勘定ヲ迫ツテモ勘定ヲ持ツテ來ナイ、斯ウ云ツタ時ニビシビシヤツツケテシマフト云フコトニナルト、或ル意味ニ於テハ所謂議員ナドト云フモノノ公務員トシテノ活動ヲ殆ド大半削ツテシマフデヤナイカ、サウ言フト語弊ガアリマスケレドモ、成ベク人ニ會ハヌヤウニ、成ベク交際セヌヤウニ、或ル意味ニ於テ是ハ傳染病ノ保菌者ノ如ク向フカラモ扱ハレマセウシ、コチラトシテモ御遠慮申上ゲルト云フコトニナル、所ガ議員ナドト云フモノ

ハ、或ル程度ニ民衆ノ中ニ溶ケ込ンデ、或ル程度民衆ト共ニ生キテ行ク働キヲ持ツテ居リマス者デスガ、檢事局或ハ司法警察官ノヤウニ刑罰法規ノミヲ一生懸命ニ取扱ツテ居リマス人々ノ御氣持ヨリ致シマスナラバ、極惡人ノヤウニ見エル人モ多イデアリマセウ、私ハ是ハ程度ノ問題デアルト云フ先程ノ御答辯ハ、十分之ヲ明カニスルヲ得マセヌケレドモ、一體自分ノ仕事ヲ休ンデ、例ヘバ臺灣カラ又朝鮮カラ、吾々ノヤウニ高知カラ出テ來テ、殆ド一箇月東奔西走ヲシタ、其ノ月ハ少シモ收入ガナイ、ソレデセメテ日當程度ノモノダケデモ言ツテ差出サレタ時ニ、ソレモ受取ルコトガ出來ヌト云ツタヤウナコトニナルト、是ハ實際依頼ヲ受ケルコトハ殆ド不可能ニナリマセウ、或ル官吏ノ方ガ此ノ法律案ガ出タラ議員ハ何モ出來ヌヤウニナルゾト云ツテ豪語シテ居ツタト云フコトガ、控室デモ代議士ノ間デ相當話題ニナリマシテ、君ガ委員ヲヤルナラバ徹底シテ聽イテ置イテ呉レト云ツタヤウナ話スラモ出テ居ルヤウナ按配デアリマス、私ハ議員ナドノ活動ト云フモノハ、或ル程度民衆ノ中ニ溶ケ込ンデ、或ル程度ソコニ許サレタ範圍ガアルト云フコトデ、其處ニ私ハ一つノ妙味ガアルノデハナイカ、官吏ノヤウニ旅行スレバ旅費ガアル、宿泊スレバ宿泊料ガアリマス者トハ違ヒマス、隨ヒマシテ議員ナドノ行動ニ付テハ、所謂日當トカ云ツタヤウナモノガ多少交付サレマシテモ、是ハ解釋ノ餘地ガアルト云ツテヤツテ參リマス、其ノ解釋ノ餘地ヲ司法警察官ト檢事局ニナサセマス、是ハ有罪ト認定スルコトハ間違ヒナシデアリマス、私ハ斯ウ云フ規定ヲ是程廣イ範圍内ニビシ

ビシト適用致シマスコトハ、果シテ如何デアラウカ、尤モ先程申上ゲマシタ職業的ニ是デ飯ヲ食ツテ居ルヤウナ者ヲ取締ルトカ云ツタヤウナ御趣旨デゴザイマスナラバ、是ハ少シク解サレマスガ、餘リ廣イ範圍ニ互リマシテ議員委員等ノ行動全部ヲ縛ルヤウナ法律ヲ茲ニ作ラレマスコトハ、多少其處ニ弊害ヲ來スデハナイカ、官公吏等總テ押シナベテ少クトモ此ノ條文ニ付テ一律ニ之ヲ見マスコトハ、果シテ穩當カドウカ、今一應御意向ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○大竹政府委員 結局ハ賄賂性ヲ有ユル不法利益カドウカト云フ點ノ認定ノ問題ニ歸着スルノデハナイカト思ヒマス、此ノ賄賂ト見ラレルカ見ラレナイカト云フコトハ、結局ニ於キマシテ社會通念ガ基本ニナラナケレバナラヌト思ヒマス、社會通念上不法ナモノダト云フヤウニ考ヘラレル場合ニ於キマシテハ、是ハ賄賂性ヲ有スルト云フヤウニ考ヘナケレバナリマセス、而シテ只今御話ノアリマシタヤウナ社會ノ實情ト云フモノハ、其ノ社會通念ニ依リ判斷スル場合ニ、是ハ十分參考ニスルト申シマス、其ノ考慮ノ中ニ入レテ認定致サナケレバナリナイモノト考ヘテ居リマス、隨テ此ノ法文ガ假ニ成立致シマシテモ、眞ニ此ノ條文ガ狙ツテ居ル所、趣旨ノアル所ハ能ク實務ヲ執ル者ノ方ヘモ徹底セシムル方法ヲ執ツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○佐竹委員 ソレデハ總則ニ關シマシテ司法當局ノ御意向ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、此ノ點司法次官ヨリ御答辯ヲ戴キマスナラバ幸ヒデアリマス、是ハ本會議デモ御尋ね致シマシタケレドモ、大臣ヨリ十分ノ御答辯ヲ實ハ得ルコトガ出來マセヌデアリ

マシタ爲ニ、茲デ重ネテ御意向ノアル所ヲ承ツテ置キタイト考ヘマス、刑法總則ノ全般ノ改正ハ、時局下極メテ必要デアルト私共ハ思フノデアリマス、即チ時局ニ應ジテ各種ノ刑罰法規ガ頒發セラレマシテ、其ノ罰則ハ極メテ進歩的デアリマス、ニモ拘リマセズ、是ガ總元締デアリマス所ノ刑法總則ノ改正ガ全般的ニ行ハレマセヌ爲ニ、非常ニ茲ニ弊害ヲ生ジテ居ルデハナイカト考ヘマスルガ、此ノ點司法當局ト致シマシテハ如何ニ御考ヘデゴザイマセウカ

○三宅政府委員 只今佐竹委員ノ御言葉、全然同感デアリマス、刑法ノ總則ハ申スマデモナク明治四十一年ノ狀況ノ儘今日マデ推移シテ居リマスノデ、勿論現在ノ時代ニ向ツテ其ノ儘ビツタリト合ツテ居ルト申スコトノ出來ナイコトハ、洵ニ御言葉ノ通りデアリマス、隨テ之ニ對スル改正ト云フコトノ急務デアルコトモ、痛感致シテ居リマスガ、唯此ノ假案ニ一應纏マリマシタ總則ノ所ハ、是ハ御覽下サイマスルト分リマシマス、中々良イ條文モゴザイマシテ、先般本會議ニ於テモ佐竹委員ノ御指摘ニナツタヤウナ、中々珠玉ノ文字モアリマスケレドモ、何分ニモ此ノ總則ニ付テハ此ノ總則ノ假案ノ條文ガ出來マシタノガ、今カラモウ約七八年以前ノコトデアリマシテ、其ノ後ニ於テ各則ニ手ヲ着ケタノデアリマス、各則ガ出來マシテカラ更ニ改メテ總則ヘ戻ツテ、總則ニ付テノ種々ノ重要ナ點ニ付テノ評議ヲ致シテ居リマスル其ノ際ニ、昨年ノ委員會ノ整理デ調査會ガナクナリマシタ、實ハ調査會ニ於キマスル審議ノ模様ヲ伺ツテ見マシテモ、マダドウモ各委員ノ御考ヘガ、十二分ニ熟シテ居ナイ點ガ多クアルデア

リマス、サウ云フ關係デ洵ニ此ノ總則ハ、重要ナ規定ガ多イデアリマスシ、又其ノ關聯スル所ハ非常ニ廣イ關係ガゴザイマスノデ、輕々ニ之ヲ取入レマシテ急イデ總則ノ案ヲ作ルコトハ、刑法ト云フ大法院ノ面目カラ申シマシテモ聊カ考ヘナケレバナラヌ點ガゴザイマスノデ、總則ニ付キマシテハ今姑ク時期ヲ假シテ戴キマシテ、調査會ハナクナリマシテモ吾々ニ於キマシテ十分ニ調査會ノ意思ヲ尊重シ、又今後ノ研究調査モ致シマシテ、出來ルダケ完全ナ案ヲ作ツテ御覽ニ入レタイト思フデアリマス、何分ニモ非常ニ重要ナ簡條ガ多クアリマスノデ、殊ニ先程モ佐竹委員カラ申サレマシタヤウニ、今回ノ議會ハ成ベク必要已ムヲ得ザル程度ノモノニ止メテ貫ヒタイト云フ關係モアリマシタノデ、實ハ甚ダ御不満足ナ刑法改正案ニ止マリマシタケレドモ、是ハ私共ハ今後モ絶エズ調査研究ヲ續ケマシテ、出來ルダケ御期待ニ副フヤウナ總則ヲ、出來ルダケ早く作リタイシ、又全體ガ出來マセヌデモ、部分的ニモ改正ノ出來マシヤウナ條項ガ編出サレマシタラバ、出來ルダケ最近ノ機會ニ其ノ部分ダケデモ刑法ノ改正ヲ御願ヒヲ致シマシテ、サウシテ折角ノ佐竹委員ノ御希望ニ副ヒタイト思フ次第デゴザイマス

○佐竹委員 御熱意ヲ承リマシテ敬意ヲ表シマス、出來マスナラバ、出來ルダケ早イ機會ニ總般的ナ御改正ヲ熱望シテ已ミマセヌ、唯此ノ際承ツテ置キタイノハ、此ノ總則中デ委員會ノ議ガ十分熟セマセスト仰セニナリマス中ニハ、共犯ノ點ト未遂罪ノ點ニ付テ、相當考究ヲ要スルモノガアツテ、マダ十分結論ニ達シテ居ナイモノガアル、斯

ウ云フ風ニ仄聞ヲ致シマスガ、果シテ左様デゴザイマセウカ、若シサウダト致シマスナラバ、共犯及ビ未遂罪ニ付テ其ノ議ノ纏リマセヌ部分ノ主要ナル點ノミヲ、御示シ願ヒマスナラバ幸ヒト思ヒマス

○大竹政府委員 實ハ私、刑法改正調査委員會ノ幹事ヲシテ居リマシテ、議事ノ進行ノ狀況ハ存ジテ居リマスノデ、私カラ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス、一番問題ニナツテ居リマスノハ犯罪ノ成立ノ所及ビ未遂、共犯ノ所デアリマス、結局ニ於テサウ云フ風ニ問題ガ難シクナリマスノハ主觀客觀兩說ノ考ヘ方ガ根本的ニ違ツテ居ル、是ガ斯ウ云フ刑法總則ノ根本問題ニ觸レル度毎ニ、色々ナ形デ現ハレテ來ル、斯ウ云フコトガ重大原因ノ主タル一デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○佐竹委員 主觀客觀ノ觀察ノ相違ガ、ヤハリ難點ノ中心ヲナシテ居ルモノト致シマスナラバ、唯論ジ合ツテ居ルダケハ中々結論ハ得ラレナイモノト私共ハ思ヒマス、大正十五年ノ十一月ニ綱領四十項ガ決定サレマシテ以來、假案ノ成立ニ至リマスマデレマシテ以來、假案ノ成立ニ至リマスマデ既ニ十三年ト三箇月ヲ要シテ居リマス、是ダケノ長年月ヲ要シマシテ、漸ク假案ガ出來タノデアリマスガ、併シコシナ調子ニ又五年十年ト云ツタ工合ニ延ビテ行クノデハナイカト云フ風ニ考ヘマス、私共ハ不安ニ堪ヘラレマセヌ、ドウシテモ時局ニ對處致シマス爲ニ、此ノ時局ノ問題ヲ處理スルヤウニ、適當ノ機會ニ、極メテ近イ機會ニ、是ガ總般的改正、其ノ總般的改正ガ出來マセヌナラバ、今回ノ提案ヨリハ今少シ一歩ヲ進メタ、廣範圍ノ時局ニ對應致シマス適切ナ改正ガ速カニ斷行サレナケレ

バナラス、之ニハ主觀、客觀ノ兩論ヲ徒ラニ闘ハシテ居ルノデハ到底結論ヲ得ルコトハ困難ト存ジマスノデ、司法首腦部ニ居ラレマス政府委員ノ特ニ御教智ニ懇ヘマシテ、議論倒レニナラスヤウニ、或ル程度ニ一ツ決斷ヲ垂レラレマスルヤウニ切望シテ已ミマセヌ、所デ刑法改正委員會ガ昨年廢止サレマシテ、其ノ研究及ビ其ノ改正ニ非常ニ困難ヲ伴ツテ居ルヤウニ承知ヲ致シマスガ、私ハ是ガ存續ハ絕對必要デアルト思フ、一面民法ノ改正委員會ナドヲ存續ヲ致シテ居リマスルニモ拘ラズ、此ノ刑法改正委員會ヲ廢止サレマシタ理由ヲ解スルニ實ハ苦シムノデアリマス、ドウ云フ譯デ刑法改正委員會ノミガ廢止ニナツタノデゴザイマセウカ、又之ヲ廢止スルコトニ伴フ所ノ困難ヲ排除致シマシテ、速カニ刑法ノ全面的改正ニ到達致シマスルヤウニ進メテ参リマスル方法ト云フモノガ、他ニ考究セラレテ居リマセウカ、其ノ點ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

デハナイカト思フノデアリマス、サウ云フ關係モアリマスノデ、私共ノ決意ト致シマシテハ、兎ニ角此ノ總則ハ既ニ七、八年以前ニ出來上ツタモノデ、其ノ後ノ時代ノ推移、勢ヒト云フモノヲ取入レテハ居ラナイコトニナル譯デアリマス、然ルニ其ノ後ノ時代ノ推移ト云フモノノ非常ニ驚クベキモノデアリコトハ申スマデモナイコトデアリマシテ、寧ロ更ニモウ一遍考ヲ新タニシ、總則ノ規定ヲ時代ニ照シテ考ヘルト云フコトガ却テ此ノ解決ヲ速カニスル所以デハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、其ノ關係上丁度調査會モ終了致シタコトニナリマシタノデ、寧ロ此ノ際更ニ考ヘテ新タニシテ向フト云フノニハ一ツノ機會ガ與ヘラレタ、斯ウ考ヘテ居リマス、其ノ關係デ一ツ新タナ氣持デ進行シテ行キタイト云フコトガ吾々ノ念願デアリマス、實ハ刑法ノ假案ニ付テハ學者以外ノ方面カラモ、時代ニ照シテモウ少シ考ヘテ欲シイト云フ風ナ聲モ屢々吾々ノ耳ニスル所ナノデアリマシテ、是等ニ付テモ十分考慮シテ、本當ニ時代ニ副フ所ノ新シイ立法ヲ作リタイト思フノデアリマス、ドウカ當局ノ其ノ微意ヲ察シテ戴キタイノデアリマス、尙ホソレデハ民法ノ方ハドウシテ存續シテ居ルカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、民法ハ實ハ原則モ決マリ、只今ハ法律ノ文章ヲ拵ヘルコトダケガ仕事デアリマスカラ、モウ僅カニ完成一步手前デアリマス、然ルニ刑法ハ先程申上ゲマスウニ、主觀、客觀ノ議論附ナノデアリマシテ、マダ前途ガ一寸逆路シ難イ形モアルモノデアリマスカラ、ソコニ廢止ト廢止デナイトノ區別ガ出來上ツタコトト御諒承願ヒマス、併シ廢止サレタカラト云ツテ之ヲ打棄テル

譯デハナイノデアリマシテ、新タナル氣持デ本當ニ時代ニ副フヤウナ刑法ヲ作ツテ見タイト云フ大キナ野心ヲ持ツテ居ルノデゴザイマスカラ、ドウカ其ノ點ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○佐竹委員 洵ニ能ク分リマシタ、何卒熱意ヲ以テ一日モ速カニ進歩的ナ總般的刑法改正ノ行ハレンコトヲ熱望致シマス

此ノ點モ本會議デ御尋ネテ致シタノデゴザイマスガ、此ノ際尙ホ特ニ承ツテ置キタイノハ、最近經濟事犯ニ付テ頭カラ國賊呼バハリテ致シテ居ル向ガゴザイマス、私ハ是ハドウカト思フノデアリマス、或ル現職ノ判事ハ新聞ニ經濟事犯ハ國賊ナリト題シマシテ堂々タル論文ヲ發表致シマシタ、或ル檢事ハ法廷デ被告ヲ恰モ國賊ノ如ク罵リマシタ爲ニ、被告ガ國賊トハ何カト絶叫シテ紛糾ヲ致シマシ實タ例ガゴザイマス、私ハ本會議デ申上ゲマシタヤウニ、我が國悠久二千六百年ノ此ノ長キ歴史ヲ誇リ得ル所以ノモノモ、一ニ上 陛下ノ御後威ノ下ニ忠勇ナル國民ガ一致團結シテ來タカラデアルト私共ハ思ツテ居リマス、日本ノ國民ハ左程ニ國賊ノ集ヒデアルトハ私共ハ考ヘテ居リマセヌ、一人デモ多クノ國賊ヲ出スコトヲ欲シマセヌ、斯ウ云ツタ氣持ハ私ノミデハアルマイト私ハ思ヒマス、此ノ間「サンデー」毎日ヲ買ツテ參リマシテ一覽致シテ居リマシタ時ニ、「味讀戰陣訓」ト題シテ吉川英治氏ガ記事ヲ出サレテ居ル、私ハ之ヲ讀ンデ思ハズ自分ノ考ヘテ居ルコトト思ヒ合セテ胸打タルモノガアリマシタ、斯ウアリマス、「モウ去年ノコトダカラ言ツテモ宜カラウ、一大臣ガ放逐ニ當ツテ「閣」スル者ハ國賊ナリ」ト言ツタ、スルト翌朝ノ新聞ニモ「閣

スル者ハ國賊ダ」ト大標題ニ使ハレテ出タ、私ハ胸ガ痛ンダ、ソナニ國賊ガ居テ堪ルカ、彼等ハ尙ホ、各、自分ノ心ニモ正シク持ツテ居ル筈ノ日本人的ナ長所ヤ美點ヲ自身ノ胸奥カラ呼ビ醒マシ切レナイデ居ル魯鈍ナ者ヤ利己人ノ勝ツタ者ニハ違ヒナイガ、國賊ト斷ジテシマフニハオヒ 陛下ノ赤子デアルモノヲ餘リニ行過ギタ呼ビ方デハナイカト思ツタノデアル、尤モ「ドイツ」ノ如キデハ嚴令ガ布カレルト週間ノ中ニ違反者デアツタニ、三ノ民衆マデヲ銃殺ニ處シタ實例ナドモアルガ、「ドイツ」ノ嚴罰主義ニハ「ドイツ」建前ガアルコトデ、日本ノ皇民ハ陛下ガ呼バセ給ウテ居ル如ク 陛下ノ赤子デアル、國賊ナドト呼バネバ飽足ラス人間ハ古來滅多ニ現ハレナイノガ日本デアル」斯様ニ申シテ居リマスルガ、洵ニ私ハ左様デハナイカト思フ、霸道「ドイツ」王道日本トノ異ナル所ハ此處デアル、御仁慈深キ上皇室ノ下ニ忠勇ナル國民ガ玆ニ團結ヲシテ居レバコソ、二千六百年ノ世界ニ冠タル歴史ヲ誇リ得ルノデアル、徒ラニ現職判事ガ無差別ニ經濟事犯ハ國賊デアルト新聞ニ出シタリ、法廷デ檢事ガ被告ヲ國賊ト罵ツタリ致シマスコトハ、司法首腦部ノ方々ニ於カレマシテモ相當ハ御監督ヲナサルベキコトデハナイカラウカ、判決自體ニ關スル問題ハ之ニ關與スルコトガ出來ナイト致シマシテモ、司法部ノ爲ニ相當御考慮ナサルベキ事項デハナイカト私ハ思フノデアリマス、殊ニ本會議デ申上ゲマシタヤウニ、法ヲ知ラザルノ故ヲ以テツイ間違ツテ罪ニ陥リマシタ場合ガ相當アルノデアリマス、而モ法ノ周和徹底ト云フコトニ付テハ十分ハ申サレマセヌ、全ク善意ニ、全ク過チデ以テ

罪ヲ犯シテ無差別ニ國賊呼バハリサレマスコトハ是非非常ニ慎シムベキコトデアル、法ヲ以テ立ツテ居リマス職務ニアリマス人モ是ガ運營ニ付テハ相當御考慮ナサルベキコトデアルト存ジマスガ、司法當局ト致シマシテハ如何ニ御考ヘニナリマセウカ、此ノ際其ノ御氣持ヲ承ツテ置キタイト存ジマス

○三宅政府委員 御承知ノ通り現司法大臣ハ將軍トシテ軍ヲ指揮シ兵ヲ使フコトニ對シテ格別ナ手腕ヲ持ツテ居ラレル方ト云フコトデアリマス、司法大臣ガ屢々私共ニ申サレマスコトハ自分ノ部下ノ兵隊ノ中デ平素ドウモ言フコトヲ聽カヌ、素行ニ付テモ優良ト言ヘナイ者ガ、イザ戰爭トナツテ戰ヒニ臨ム場合ニ於テハ、ソレ等ガ驚クバカリノ忠勇ナル兵隊トシテノ功勞ヲ輝カスモノデアル、是ガ平素彼ハ忠義デナイ奴ダ、或ハ不良ノ奴ダト云フ風ニ言ツテ居ツタノデハ、ソレデハハイザト云フ時ニ其ノ者ハ本當ニ働ケナイ、デアルカラ多少平素ニ於テ素行ニ如何ハシイ所ガアツテモ、ヤハリ忠良ナル臣民トシテ扱フコトガ、本當ニ彼等ヲシテ忠良ナル臣民トシテ働カセル所以デアルト云フコトヲ懇々吾々ニ教ヘラレルノデアリマス、此ノ精神ハ只今御言葉ニアリマシタコトニ對シ、反對ノコトデアリマシテ、忠良ナル臣民ヲ國賊呼バハリマシテ其ノ者ヲ辱カシメルト云フコトガ甚ダ益ノナイコトデアリ、甚ダシキ害ヲ來スコトデアリマスノデ、是ハ切ニ戒メナケレバナラヌ點デアリマスシ、先程申シマシタ大臣ノ精神カラ云フテモ許サレナイコトデアリマス、御言葉ノヤウナコトガ今後起リナイコトヲ私トシテハ保證致シタイノデアリマス、唯恐

ラク國賊ナドト申シタ者ハ、一面ニ於テ出
來ルダケ斯ウ云フ經濟統制ノ違反ガ罪ダ、
犯罪デアルゾ、非常ニ國家ニ對シテ不利益
ヲ與ヘ、此ノ高度國防國家ノ體制ニ對シテ
害ガアルゾト云フコトヲ言ヒ聽カセルト云
フ意味ニ於テ、其ノコトヲ納意サセル必要
ガアルノヲ、ソレヲ誤解若クハ行過ギマシ
テ、忽チ國賊ナドト云フコトヲ申シタノデ
ハナйкаト思ヒマスガ、是ハ洵ニ行過ギデ
アリマシテ、眞ニ經濟統制違反ノ罪ノ結果
ニ於テ他ノ國民ニ迷惑ヲ與ヘ、國家ニ對シ
テ害ヲ與ヘル所以ヲ説キ諭スト云フコトノ
趣旨ヲ多少感達ヒシタ結果デアルト思ヒマ
スガ、今後左様ナコトノナイヤウニ十分ニ
注意致ス積リデ居リマス

定スルコトナシニ、斯ウ言フト語弊ガアリ
マスガ、糞モ味喰モ一緒ニ超過額ガ百圓ナ
ラ罰金二百圓、利得額百圓ナラ罰金二百
圓ト云フタヤウニ、何デモ彼デモ劃一的ニ
處罰致シテ居リマスノガ現在ノ御方針デア
ルカノ如ク見ラレルノデアリマス、地方ニ
居リマシテ仄聞スルノニ、司法省ノ方針ト
シテハ利得額モ超過額モ何等區別ハ設ケナ
イ、又實際其ノ罪ニ陥ル動機トカ犯狀トカ
云フモノハ一切見ナイ、兎ニ角現レタ金額
ノ二倍ナラ二倍、三倍ナラ三倍デ押シナベ
テ行クノダ、サウ云フ方針デアルト云フコ
トヲ承リマスガ、マサカ私ハ左様デハナカ
ラウト存ジマス、若シサウダト致シマシタ
ナラバ、是ハ洵ニ遺憾デアルト存ジマス、
改正刑法假案ノ五十九條ノ如キハ其ノ改正
ガ今日行ハレテ居ナイト致シマシテモ、其
ノ精神ヲ酌ンデ適當ニ酌量スルコトハ出來
ヌノデアリマセウカ、過日私ガ本會議デ御
質問申上ゲマシタヤウニ、私ノ方デ米ノ取引
等ニ付テ全ク人ノ犠牲ニナツテ自分ガ損ヲ
シテ、サウシテアノ米ノ不自由ナル飢餓ニ
瀕シテ居ル狀態ヲ救ツタ人モ、ボロ儲ケヲ
シテヤラウトシタ人モ同ジク、超過額或ハ
利得額ノ二倍トカ三倍トカ云フ工合ニ、十
把一束的ニ處罰サレマシタ結果、本當ノ法
ノ威力ト云フモノガ一體何處ニアルダラウ
カト云フコトヲ疑ハシメル程ノ氣持ヲ、一
般國民ニ與ヘテ居ルデハナйкаト私共ハ思
フノデアリマス、隨ヒマシテ若シモ私望ミ
得ラレマスルナラバ、是ハ中々多數ノ事件
デ、逐一一人々々ニ就テ此ノ人ハ性質ガ善
イ、是ハ犯罪ノ動機ガドウダ、利得額ガド
ウダトカ云ツテ、此ノ區別ヲ設ケテ、罰金額
ヲ決定スルコト等ハ、容易ナラヌコトハ存

ジマスガ、或ル程度ノ標準ト云フモノハ御
立デ下サイマシテ、サウシタ動機トカ、利
得額トカ、或ハ超過額トカ、或ハ又此ノ改
正假案ニアリマスヤウニ、其ノ事ガ社會ニ
及ボス影響トカ云ツタモノヲ十分御考察願
ヒマシテ、國民ヲ納得セシメ得ルヤウナ大
綱ダケデモ御決メ戴キマシテ、法ノ運用ニ
十全ヲ期セラレルヤウニ、司法當局ト致シ
マシテ下級裁判所其ノ他警察官等ヲ十分御
指導戴キタイモト思フノデアリマスガ、
如何デゴザイマセウカ

モ、相當ニ情狀ガ斟酌サレテ居ル跡ヲ窺
フニ足リマスシ、今後益々其ノ傾向ガ助
長サレテ行クモノデアルト思フノデアリ
マス、併シ御言葉モゴザイマスノデ、今後
ニ於キマシテハ一層注意致シマシテ、サウ
云フ唯徒ラナル劃一ト云フコトニ墮シナイ
コトヲ十分ニ要望シ、又訓示致シマシテ、
其ノ檢舉ニ當ル者ニ對シテ、求刑ニ付キ十
分ニ用意ヲ致サセ、又法ノ趣旨ノアル所ヲ
判事ニモ説明致シマシテ、決シテ劃一的ナ
コトヲ法ハ望ム所デナイト云フコトヲ、ハ
ツキリサシタイト思フ次第デアリマス

○佐竹委員 洵ニ熱意アル御答辯ヲ戴キマ
シテ満足致シマス、私ハ之ヲ以テ終リマス
○江原委員長代理 明日ハ午前十時ヨリ會
議ヲ開キマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後四時四十五分散會

○佐竹委員 御言葉ヲ承リマシテ涙零ルル
思ヒガ致スノデアリマス、司法最高首腦部
ト致シマシテ、洵ニ溫カキ御氣持ヲ持タレ
デ居リマス點、私共感激ニ堪ヘマセヌ、何
卒其ノ精神ヲ十分徹底サレマシテ、時ニ法
ヲ知ラザルノ故ヲ以テ罪ニ陥リマシタ場合
等ニ付テモ、例ヘバ假案十一條ノ如キ改正
ガ行ハレテ居ナイニ致シマシテモ、相當是
等ノ精神ハ取入レテ、或ハ起訴ヲ決スルナ
リ、其ノ他警察當局ニ於ケル取調ベニ際シ
マシテ寬嚴宜シキヲ得タ適當ナ方策ヲ立テ
マスル基本トナシテ戴キマスルナラ幸ヒ
ト存ジマス

モウ一點最後ニ御尋ネヲ申上ゲマシテ私
ノ質問ヲ終リタイト存ジマスガ、同ジク經
濟事犯ニ付テ、洵ニ十把一束的、劃一的科
刑ヲ致シテ居ルコトガ今日ノ實相デアアル
ウニ考ヘラレマス、犯罪ノ動機トカ犯狀及
ビ利得額或ハ超過額ニ付テ各區別スルコト
ナシニ、即チ是等ノ點ニ付テ適當ニ斟酌決

定スルコトナシニ、斯ウ言フト語弊ガアリ
マスガ、糞モ味喰モ一緒ニ超過額ガ百圓ナ
ラ罰金二百圓、利得額百圓ナラ罰金二百
圓ト云フタヤウニ、何デモ彼デモ劃一的ニ
處罰致シテ居リマスノガ現在ノ御方針デア
ルカノ如ク見ラレルノデアリマス、地方ニ
居リマシテ仄聞スルノニ、司法省ノ方針ト
シテハ利得額モ超過額モ何等區別ハ設ケナ
イ、又實際其ノ罪ニ陥ル動機トカ犯狀トカ
云フモノハ一切見ナイ、兎ニ角現レタ金額
ノ二倍ナラ二倍、三倍ナラ三倍デ押シナベ
テ行クノダ、サウ云フ方針デアルト云フコ
トヲ承リマスガ、マサカ私ハ左様デハナカ
ラウト存ジマス、若シサウダト致シマシタ
ナラバ、是ハ洵ニ遺憾デアルト存ジマス、
改正刑法假案ノ五十九條ノ如キハ其ノ改正
ガ今日行ハレテ居ナイト致シマシテモ、其
ノ精神ヲ酌ンデ適當ニ酌量スルコトハ出來
ヌノデアリマセウカ、過日私ガ本會議デ御
質問申上ゲマシタヤウニ、私ノ方デ米ノ取引
等ニ付テ全ク人ノ犠牲ニナツテ自分ガ損ヲ
シテ、サウシテアノ米ノ不自由ナル飢餓ニ
瀕シテ居ル狀態ヲ救ツタ人モ、ボロ儲ケヲ
シテヤラウトシタ人モ同ジク、超過額或ハ
利得額ノ二倍トカ三倍トカ云フ工合ニ、十
把一束的ニ處罰サレマシタ結果、本當ノ法
ノ威力ト云フモノガ一體何處ニアルダラウ
カト云フコトヲ疑ハシメル程ノ氣持ヲ、一
般國民ニ與ヘテ居ルデハナйкаト私共ハ思
フノデアリマス、隨ヒマシテ若シモ私望ミ
得ラレマスルナラバ、是ハ中々多數ノ事件
デ、逐一一人々々ニ就テ此ノ人ハ性質ガ善
イ、是ハ犯罪ノ動機ガドウダ、利得額ガド
ウダトカ云ツテ、此ノ區別ヲ設ケテ、罰金額
ヲ決定スルコト等ハ、容易ナラヌコトハ存

ジマスガ、或ル程度ノ標準ト云フモノハ御
立デ下サイマシテ、サウシタ動機トカ、利
得額トカ、或ハ超過額トカ、或ハ又此ノ改
正假案ニアリマスヤウニ、其ノ事ガ社會ニ
及ボス影響トカ云ツタモノヲ十分御考察願
ヒマシテ、國民ヲ納得セシメ得ルヤウナ大
綱ダケデモ御決メ戴キマシテ、法ノ運用ニ
十全ヲ期セラレルヤウニ、司法當局ト致シ
マシテ下級裁判所其ノ他警察官等ヲ十分御
指導戴キタイモト思フノデアリマスガ、
如何デゴザイマセウカ

○三宅政府委員 御示シノ假案ノ第五十七
條、第五十九條ノ如キ規定ハ、是ハ實際成
文ニナリマセヌデモ、苟クモ判事、檢事タ
ル者ハ是ダケノ考ヘガナクテ其ノ職務ノ
執レルモノデアナイノデアリマス、此ノ趣
旨ニ依ツテヤラナケレバナラヌ譯デアリマ
ス、只今御示シノヤウニ、徒ラニ劃一的ナ
十把一束ニ事件ヲ處理スルコトハ、結局法
ノ威信ト云フモノヲ失フ所以デアルコトハ、
洵ニ御言葉ノ通りデアリマス、勿論經濟事
犯、同種ノ事犯ニ付テ共通ノ要件ガアリマ
スレバ、其ノ間ノ均衡ヲ失ハナイヤウナ相
當ノ用意ハ必要デアリマスケレドモ、併シ
ナガラ決スル所ハ即チ其ノ情狀デアリマ
ス、其ノ情狀ノ如何ニ依ツテ處分スルコトヲ
忘レテハナラヌノデアリマスカラ、飽クマ
デモ情狀ヲ加味シテ、裁斷ヲシナケレバナ
ラスト思フノデアリマス、實ハ經濟統制違
反事犯ノ當初ニ於キマシテハ、ソレニ付
テ、色々不慣レナ點モアリマシタシ、又無
經驗ナコトモアリマシタ爲ニ、多少サウ云
フ點ニ付テノ用意ガ足ラナカツタコトモア
リマセウガ、最近ニ於キマシテハ、現ニ起
訴、不起訴ノ數字ナドガ示ス所ヲ見マシテ

昭和十六年二月二十四日印刷

昭和十六年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局